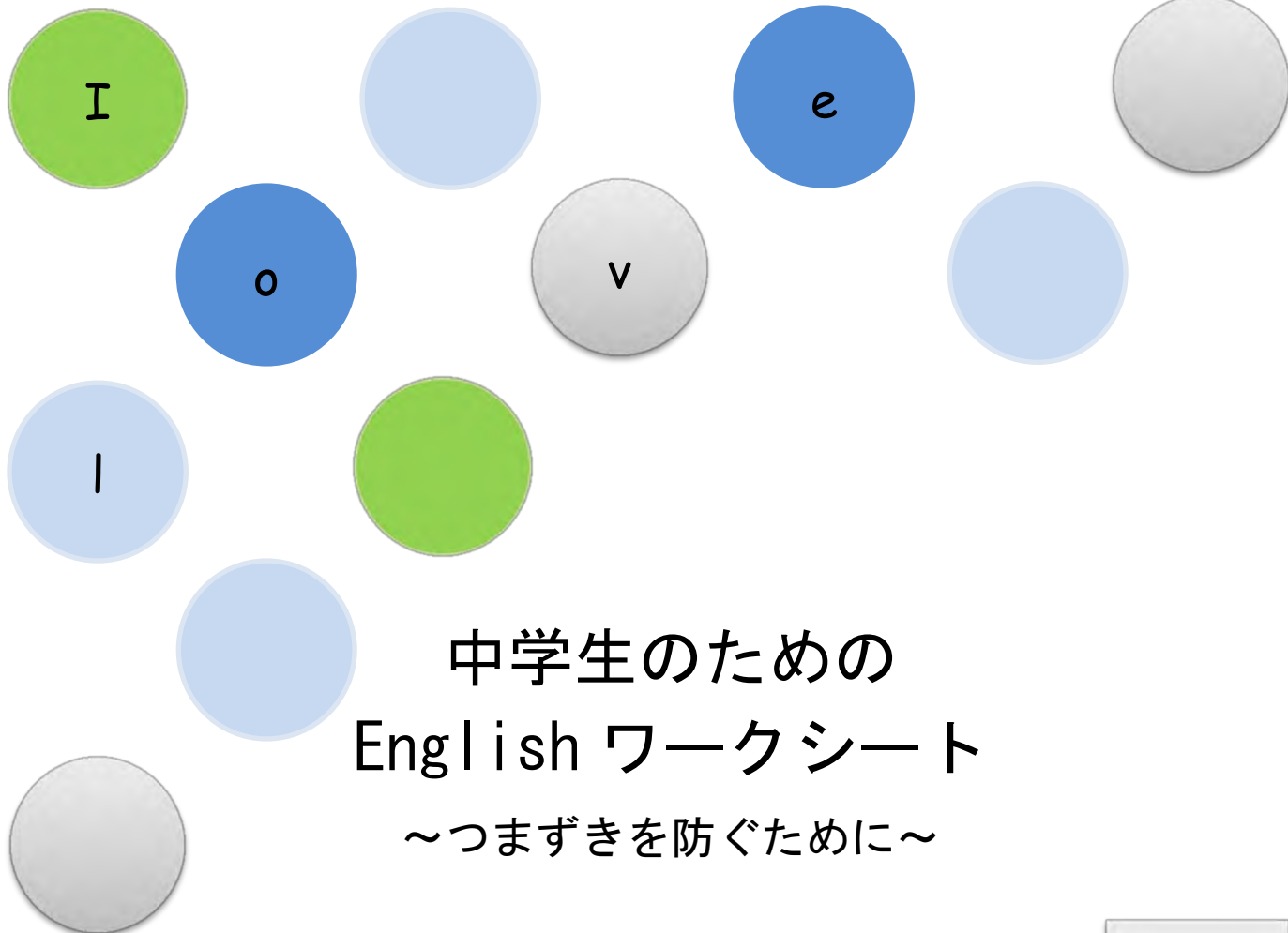
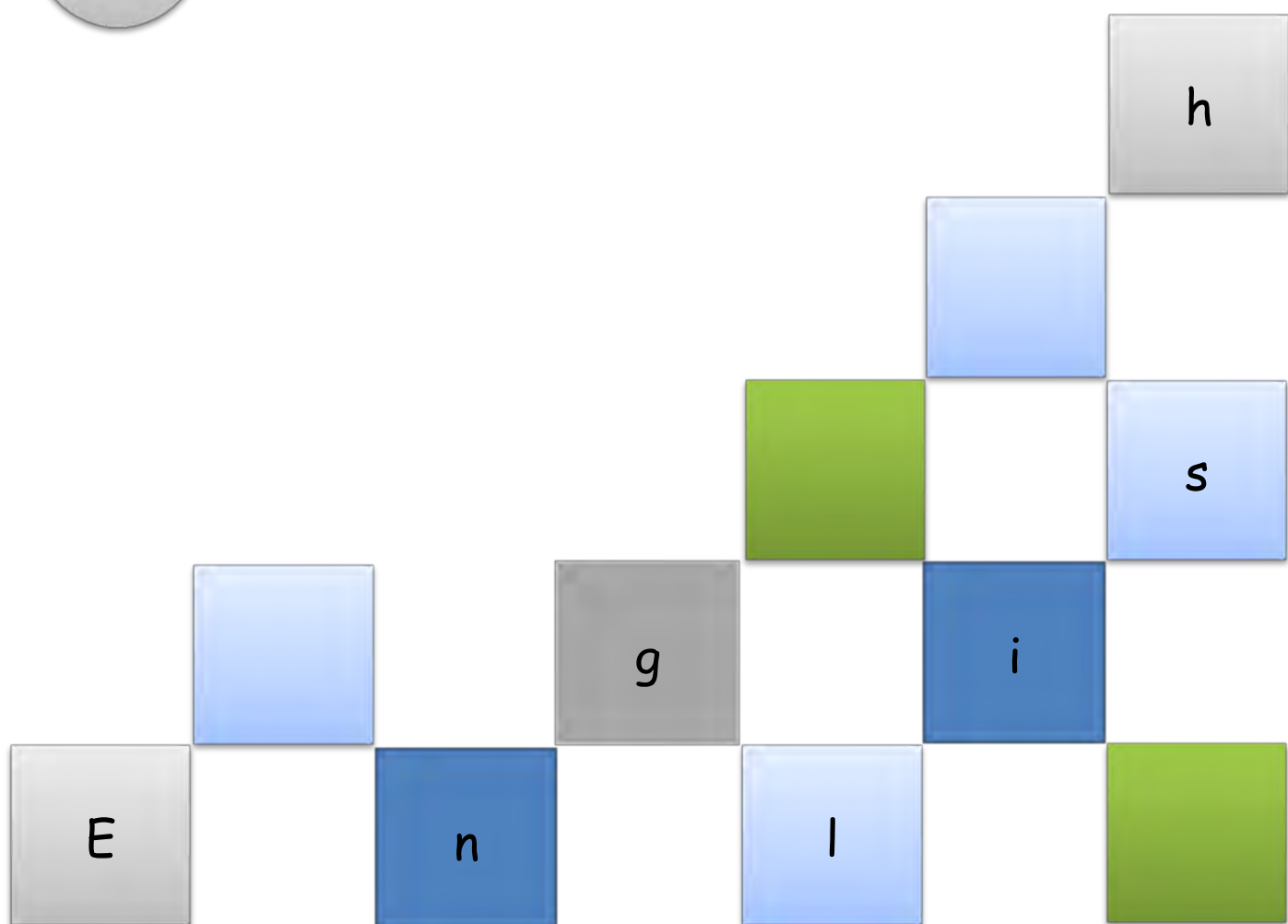




中学生のための
English ワークシート
～つまづきを防ぐために～



〇はじめに

グローバル化が進む社会において、生徒が、将来、国際社会で活躍できるよう、語学力やコミュニケーション能力を育むとともに、自らの考えや意見を伝え、主体性や創造性、責任感、チャレンジ精神をもって行動できる能力や態度及び異なる文化や価値観の理解、国際社会の平和や発展に貢献する態度が求められています。

そのため、英語教育に対し積極的に取り組ませるとともに、英語をどのように使うか、その英語がどのように社会と関わっているのか、また、英語を用いて何ができるようになるかななどを明確にし、生徒の英語力を着実に向上させていくことが大切です。

本県では、English つまずき予防対策事業における学びサポート校の協力のもとアンケートを実施しました。その結果、生徒が英語の学習において苦手だと感じることにについて、「英語で単語や文章を書くこと」「英語で書かれた文章を読むこと」「文法に対するつまずき」に苦手であると回答した生徒が多く見られました。

そこで、英語教育における生徒の学力向上や指導・授業の改善に生かすため、生徒がつまずきやすいポイントを洗い出し、そのポイントを予防するためのワークシートを作成しました。

本書では、学習項目ごとのつまずきポイントを「必ず覚えておくべきポイント」とし、そのポイントに基づく練習問題と定着を図るための問題を示しています。併せて、教師の指導の手引きとして、ワークシートの活用方法等を作成しています。

各学校においては、本書を積極的に活用し、生徒の実態に応じた授業が展開され、生徒の英語への興味関心が高まるとともに英語力が向上することを期待します。

最後になりましたが、本書を作成するにあたりご協力いただいた学びサポート校の委員の先生方、ご指導いただいた関西大学竹内理教授、兵庫教育大学吉田達弘教授、大阪大学西田理恵子准教授に深く感謝申し上げます。

ワークシートについて

ワークシート1

① 学習項目

必ず覚えておこう

・学習ポイント定着のための練習問題

気を付けよう！

理解を助けるポイント

学習項目の基礎を表す「必ず覚えておくべきポイント」を示し、それに基づく練習問題を設定。

ワークシート2

① 学習項目

使用する場面

・日常生活と関連付けた言語活動や練習問題

ここがポイント！

学習内容のまとめ

日常生活と関連付けた学習に取り組むことで、さらなる定着を図るための練習問題を設定。

手引き

間違えやすいところから見るつまずきポイント

・生徒のつまずきポイントまとめ

指導のポイント

授業での活用例

・ワークシートの活用例
・授業での取組手順と指導の留意点

関連する項目

・他のワークシートとの関連

生徒が間違えやすいポイントと授業での活用例、指導のポイントをまとめた教師用の手引き。

<活用方法>

- ・ワークシートは、「学習内容」を参考に、生徒の実態に応じてアレンジしてください。
- ・英文を教師が範読したり、スキットやアクティビティと組み合わせた活用をお願いします。

項目及び内容

項目名	ワークシート No.	見出し	タイトル
アルファベット	①	アルファベット	「アルファベットの名前と音」
英文を書くルール	②	英文を書こう	「英文を書くルール」
be動詞 英文の作り方	③	be動詞【肯定文】	「私は～です。」
	④	be動詞【否定文】	「私は～ではありません。」
	⑤	be動詞【疑問文】	「あなたは～ですか？」
一般動詞 英文の作り方(1)	⑥	一般動詞【肯定文】	「私は～します。」
	⑦	一般動詞【否定文】	「私は～しません。」
	⑧	一般動詞【疑問文】	「あなたは～しますか？」
	⑨	一般動詞【三人称単数現在形肯定文】	「彼は～します。」
	Let's Try! 1	動詞の変化【三単現のs,es】	「三単現のs,es」
	⑩	一般動詞【三人称単数現在形否定文】	「彼は～しません。」
	⑪	一般動詞【三人称単数現在形疑問文】	「彼は～しますか？」
助動詞	⑫	助動詞can	「～することができる。」
一般動詞 英文の作り方(2)	⑬	一般動詞過去形【肯定文】	「～しました。」
	Let's Try! 2	動詞の変化【過去形（規則動詞）】	「規則動詞の過去形」
	Let's Try! 3	動詞の変化【過去形（不規則動詞）】	「不規則動詞の過去形」
	⑭	一般動詞過去形【否定文】	「～しませんでした。」
	⑮	一般動詞過去形【疑問文】	「～しましたか？」
進行形	⑯	現在進行形	「～しているところです。」
	Let's Try! 4	動詞の変化【現在分詞形】	「ingの作り方」
名詞	⑰	名詞	「数えられる名詞、数えられない名詞」
代名詞	⑱	代名詞【主格・所有格・目的格】	「～は、～の、～を、に」
冠詞	⑲	冠詞【a,an,the】	「冠詞の種類と用法」
疑問詞	⑳	疑問詞【Who is～?】	「～はだれですか？」
	㉑	疑問詞【What is～?】	「～は何ですか？」
	㉒	疑問詞【What do you～?】	「あなたは何を～しますか？」
	㉓	疑問詞【When is～?】	「～はいつですか？」
	㉔	疑問詞【When do you～?】	「あなたはいつ～しますか？」
	㉕	疑問詞【Where is～?】	「～はどこにいますか、ありますか？」
	㉖	疑問詞【Where do you～?】	「どこで～しますか？」
	㉗	疑問詞【How + be動詞～?】	「どうですか？」
	㉘	疑問詞【How do you～?】	「どのように～しますか？」
	㉙	疑問詞【How can I～?】	「どうすれば～できますか？」
	㉚	疑問詞【How + 形容詞～?】	「どのくらい～ですか？」
命令文	㉛	命令文	「～しなさい・～しよう・～してはいけません。」
形容詞・副詞	㉜	形容詞・副詞	「修飾・叙述」
前置詞	㉝	場所を表す前置詞	「場所を表す前置詞」

ワーク シート No.	見出し	内容
①	アルファベット	・アルファベットの違い（発音、大文字と小文字）
②	英文を書こう	・英文を書く際の注意事項や自分や身のまわりの人を紹介する英文
③	be動詞【肯定文】	・自分の身近な（家族やALT）人を紹介する英文
④	be動詞【否定文】	・否定文を活用したインタビューゲームで用いる英文
⑤	be動詞【疑問文】	・Are you～?の疑問文を活用したインタビューゲームで用いる英文
⑥	一般動詞【肯定文】	・自己紹介（簡単なスピーチ）で、自分が普段よく行うことを表す英文
⑦	一般動詞【否定文】	・一般動詞の疑問文を活用したインタビューゲームで用いる英文
⑧	一般動詞【疑問文】	・クラスメートやALTとの短い会話で用いる英文
⑨	一般動詞【三人称単数現在形肯定文】	・様々な主語を用いた練習問題、身近な人を紹介する英文
LT1	動詞の変化【三単現のs,es】	・動詞の語形変化（一般動詞の三人称・単数・現在形の作り方）
⑩	一般動詞【三人称単数現在形否定文】	・肯定文、疑問文とその応答、否定文を織り交ぜたまとまりのある英文
⑪	一般動詞【三人称単数現在形疑問文】	・身近な人の情報についてのQ&Aで用いる英文
⑫	助動詞can	・インタビューゲームを用いて、友だちに「できること」をたずねる英文
⑬	一般動詞過去形【肯定文】	・クラスメートとの過去の出来事についての英文
LT2	動詞の変化【過去形（規則動詞）】	・動詞の語形変化（一般動詞の過去形の作り方）
LT3	動詞の変化【過去形（不規則動詞）】	・動詞の語形変化（一般動詞の過去形（規則動詞）の作り方）
⑭	一般動詞過去形【否定文】	・まとまりのある英文の内容から、過去の出来事の情報を聞き取る英文
⑮	一般動詞過去形【疑問文】	・クラスメートとのインタビューゲームを用いて、昨日したことを表す英文
⑯	現在進行形	・現在進行形を活用したジェスチャーゲームで用いる英文
LT4	動詞の変化【現在分詞形】	・動詞の語形変化（一般動詞の現在分詞形の作り方）
⑰	名詞	・名詞の種類（数えられる名詞と数えられない名詞）、複数形の作り方と発音
⑱	代名詞【主格・所有格・目的格】	・正しい人称代名詞の選択・活用
⑲	冠詞【a,an,the】	・冠詞の種類（冠詞が付く場合と付かない場合）と使い方
⑳	疑問詞【Who is～?】	・その人物が「誰」なのかをヒントから推測するクイズ形式の英文
㉑	疑問詞【What is～?】	・絵を活用し、絵の内容を表す英文
㉒	疑問詞【What do you～?】	・インタビューゲームを用いて、友だちが好きなものをたずねる英文
㉓	疑問詞【When is～?】	・友だちや家族の誕生日を英語で応答する英文
㉔	疑問詞【When do you～?】	・身近な人のスケジュールをたずねる英文
㉕	疑問詞【Where is～?】	・場所を表す前置詞（絵を用いた前置詞の学習）を活用した英文
㉖	疑問詞【Where do you～?】	・友だちの日々の行動や場所をたずねる英文
㉗	疑問詞【How+be動詞～?】	・今日の友だちの様子や天気をたずねる英文
㉘	疑問詞【How do you～?】	・週末の過ごし方や日頃の行動等、日常生活と関連した英文
㉙	疑問詞【How can I～?】	・身近な場所への行き方（旅行に行く時の交通手段）と方法についての英文
㉚	疑問詞【How+形容詞～?】	・How old～?等の値段、年齢、身長、数、頻度をたずねる英文
㉛	命令文	・日常生活でよく用いる命令文
㉜	形容詞・副詞	・良く用いる形容詞や副詞についての意味や発音
㉝	場所を表す前置詞	・前置詞を正しく活用し、身近な状況を表す英文

No.1 アルファベット「アルファベットの名前と音」

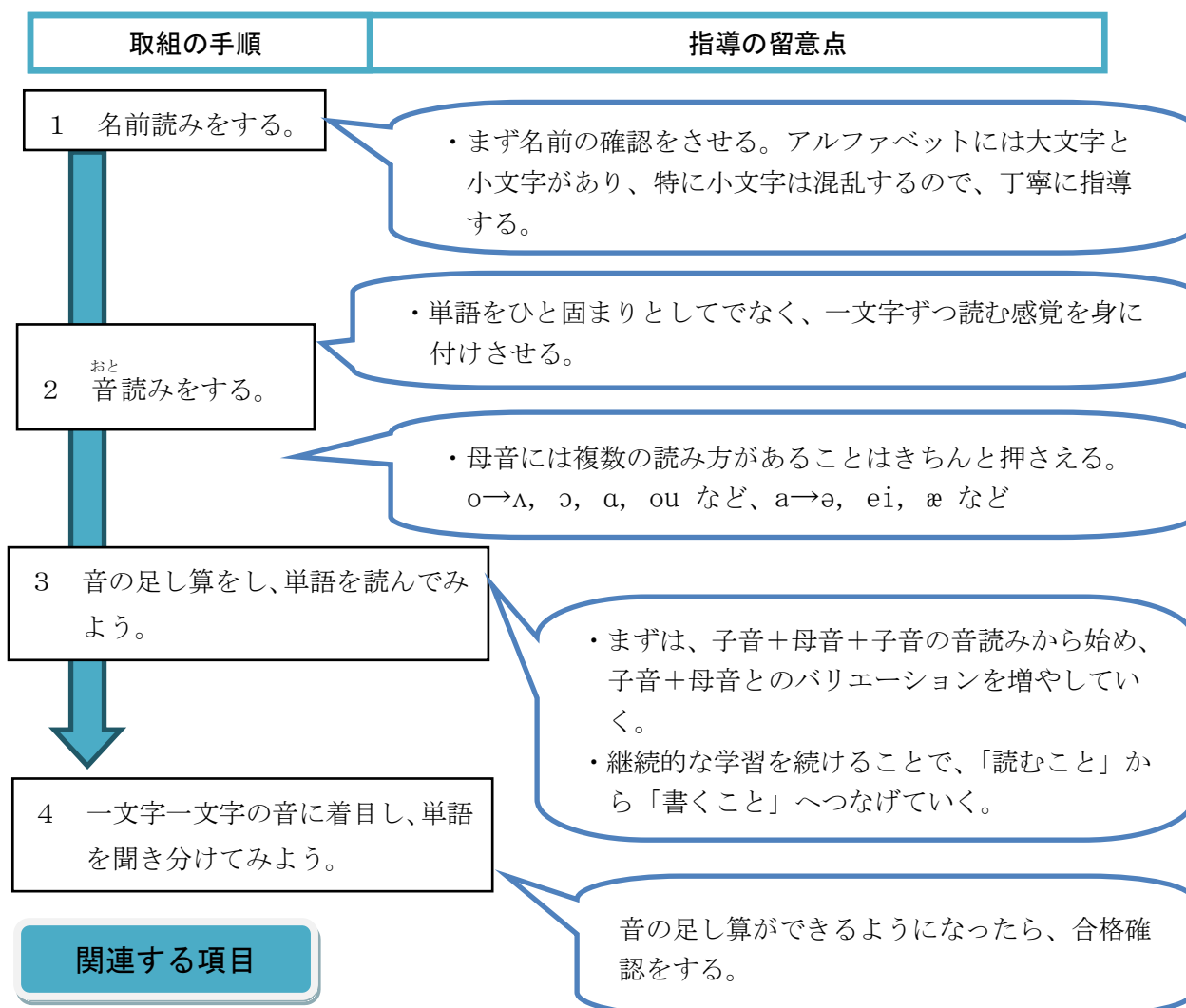
間違えやすいところから見るつまずきポイント

○音声と文字が同時に入ってくることにより混乱する。

指導のポイント

- ★ まずアルファベットの名前を確認する。
- ★ アルファベットの名前と音の違いを押さえる。
- ★ アルファベット一文字ずつの音読みを使って、音の足し算をし、単語が読めることを体験させる。
- ★ 名前と音の学習は、ゆっくりと丁寧に行う。

授業での活用例〔使用する場面〕アルファベットや身近な英単語を発音する場面



・「英文を書こう No.2」

1

アルファベット

「アルファベットの名前と音」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

アルファベット 26 文字には、それぞれ名前と音があります。
a,b,c を [ei] [bi] [si] というアルファベットの名前読みのままでは、実際に英語を読むことができません。

英語のつづりと音には基本的なルールがあるので練習しましょう。

まずは、アルファベット 26 文字の名前読みの練習をしよう。

Aa	Bb	Cc	Dd	Ee	Ff	Gg
Hh	Ii	Jj	Kk	Ll	Mm	Nn
Oo	Pp	Qq	Rr	Ss	Tt	Uu
Vv	Ww	Xx	Yy	Zz		

次に、アルファベット 26 文字の音読みを何度も練習してみよう。

Aa	Bb	Cc	Dd	Ee	Ff	Gg
破裂する音						
Hh	Ii	Jj	Kk	Ll	Mm	Nn
				舌	口を閉じる	
Oo	Pp	Qq	Rr	Ss	Tt	Uu
破裂する音			舌			
Vv	Ww	Xx	Yy	Zz		

先生の発音を
よく聞いてまねしてみよう。

気を付けよう！

「母音」は、a e i o u などです。(いろいろな発音があります。)
「子音」はそれ以外です。

1

アルファベット

「アルファベットの名前と音」②

氏名 ()

使用する場面：身近なものについて英語で言う場面

- 1 ^{おと}音読みで、以下の音の足し算をして、単語を読んでみよう。

母音

子音

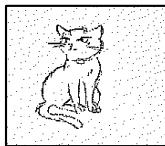
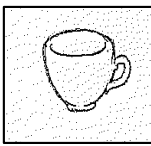
母音

子音

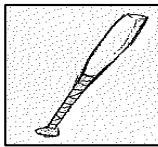
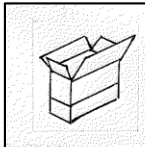
※「音の足し算」とは、子音、母音、子音をつなげて1つの単語にすることを表しています。

①	a	(b) + a + (g) ⇒	_____
②	e	(b) + e + (d) ⇒	_____
③	i	(s) + i + (x) ⇒	_____
④	o	(d) + o + (g) ⇒	_____
⑤	u	(b) + u + (s) ⇒	_____

- 2 ^{おと}音を聞いて、発音された音^{おと}を線で結び、その語を発音してみよう。
以下の絵のどれを表しているか○をつけてみよう。

① **c** a t ⇒  

 u p

② **b** a t ⇒  

 o x

ここがポイント！

英語のつづりと音^{おと}のルールを知れば、初めての単語でも読めることが増え、
音^{おと}をたよりに、つづりが書けるようになってきます。

No. 2 英文を書こう「英文を書くルール」

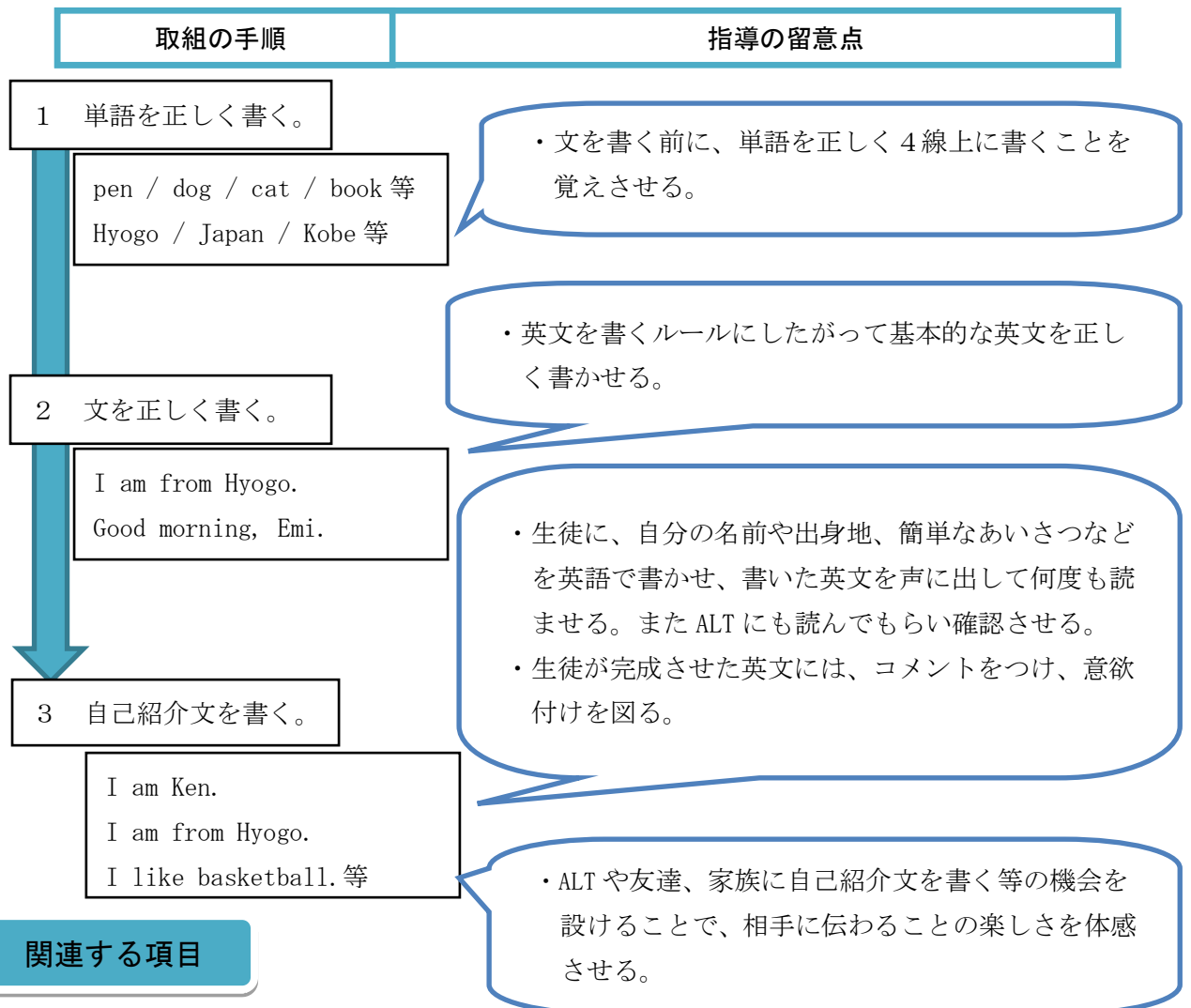
間違いやすいところから見るつまずきポイント

- 大文字にしなければならないところが小文字のままになっている。(文頭、人の名前等)
- 単語と単語の間にスペースがなく読みづらい。
- コンマ、ピリオド、クエスチョンマーク等が書けていない。

指導のポイント

- ★ 教科書の見本を見たり、ノートに書く練習をしたりして英文を書くルールを押さえる。
- ★ 単語と単語の間、また文と文の間をあけて、誰が見ても読みやすいように書く指導をする。
- ★ 正しい英文を書くことで、楽しさを感じさせる。

授業での活用例〔使用する場面〕英語で自己紹介や手紙を書く場面



・「アルファベット No. 1」

英文を書こう

「英文を書くルール」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

- ① 英文は大文字で書きはじめます。
- ② 文の終わりにはピリオド (.) を、疑問文の終わりにはクエスチョンマーク (?) をつけます。
- ③ **Yes** や **No** のあとにはコンマ (,) をつけます。
- ④ 単語と単語の間は見やすいように小文字 1 字分くらいあけて書きます。
- ⑤ 文と文の間は小文字 2 字分くらいあけて書きます。
- ⑥ **I** 「私は」 はいつでも (文の途中でも) 大文字で書きます。

4 線の使い方

①～⑥は「必ず覚えておこう」に対応しています。

Are you Emi? .. Yes, I am.

英文の書き方のルールにそって、次の文を正しく書きなおしましょう。

ア are you ken. イ Yes i am, ウ i am from hyogo エ This is your pen. That is my pen
(あなたはケンですか) (はい、そうです) (私は兵庫出身です) (これはあなたのペンです。あれは私のペンです)

.....
ア
.....

イ

ウ



才

2

英文を書こう

「英文を書くルール」②

氏名 ()

使用する場面：自己紹介や手紙を書く場面

1 日本文に合うように、適する英語を書きなさい。

① 私はケンタです。

Kenta.

② あなたはカナダ出身ですか。

from Canada ?

③ いいえ、ちがいます。

am

④ 彼は先生ではありません。

is not a

⑤ はじめまして。

⑥ 元気ですか。

2 ALT や先生、友達に対して英語で簡単な自己紹介文を3つ書こう。(名前・出身・好きなこと等)

※2は4線のないスペースに英文を書く練習です。

書けたら、声に出して読んでみよう。読めるようになったら、友達や ALT の先生に伝えてみよう！

No. 3 be 動詞【肯定文】「私は～です。」

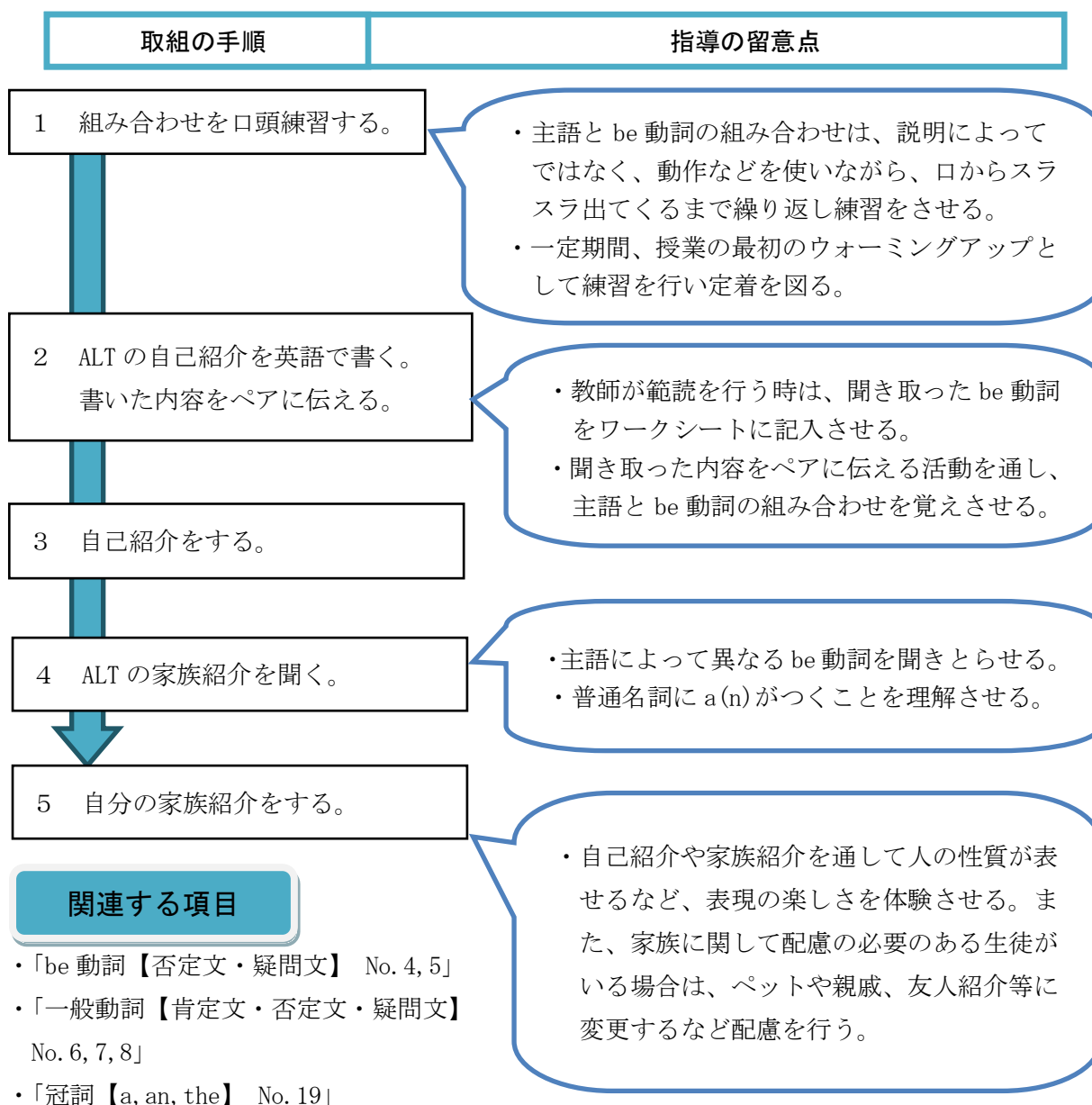
間違いやすいところから見るつまづきポイント

○主語と be 動詞の組み合わせに混乱する。

指導のポイント

- ★ 主語と be 動詞の組み合わせを、口頭練習で習得させる。
- ★ 英語では主語の次に be 動詞がくる、という語順を押さえる。
- ★ ワークシート①の be 動詞の表を使って、単数形と複数形の違いも押さえる。

授業での活用例〔使用する場面〕自己紹介や身近な人を紹介する場面



3

be 動詞【肯定文】

「私は～です。」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

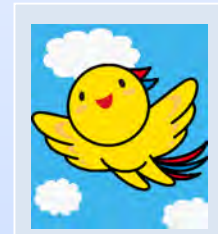
「主語〇〇＝（イコール）～」と主語を説明する時は、be 動詞 am, are, is を使います。

I **am** Tom. 私はトムです。（私＝トム）
 You **are** Tom. あなたはトムです。（あなた＝トム）
 He **is** Tom. 彼はトムです。（彼＝トム）



主語と be 動詞の組み合わせを口に出して、何度も言ってみよう。

人称	単数形		複数形	
1	I	am	we	are
2	you	are	you	are
3	he	is	they	are
	she	is		
	it	is		



ALT(トムさん、神戸出身、22才)の自己紹介です。正しい be 動詞を記入しましょう。

Hello.

I _____ Tom. I _____ 22. I _____ from Kobe.

Nice to meet you.

ALT のことをお隣の人に紹介します。正しい be 動詞を記入しましょう。

He _____ Tom. He _____ 22. He _____ from Kobe.

ここがポイント！

○ **語順注意** 英語では、「主語」の次に「動詞」がきます。

1 私は/ 3 トム/ 2 です。⇒ 1 I 2 am 3 Tom.

1 彼は/ 3 トム/ 2 です。⇒ 1 He 2 is 3 Tom.

日本語と英語では語順が違います。

3

be 動詞【肯定文】

「私は～です。」②

氏名 ()

使用する場面：英語での自己紹介を聞く場面

am, are, is の
どれが入るかな？

- 1 ALT が自分の家族の写真を見せながら、家族の紹介をしています。() 内の日本語に合うように英文を完成させましょう。

Hello, everyone. (こんにちは、みなさん。)

- ① I _____ Tom. ② This _____ Bob. ③ He _____ my father.

(私はトムです。)

(こちらはボブです。)

(彼は私の父です。)

- ④ He _____ a teacher. ⑤ This _____ Mary. ⑥ She _____ my mother.

(彼は教師です。)

(こちらはメアリーです。)

(彼女は私の母です。)

- ⑦ She _____ a nurse. ⑧ They _____ nice.

(彼女は看護師です。)

(彼らは素敵です。)

- 2 () 内の日本語に合うように英文を完成させましょう。

<家族に関する言葉> father 父, mother 母, brother 兄・弟
sister 姉・妹, grandfather 祖父, grandmother 祖母

- ① I am (名前) _____ . ② You _____ my friend. (あなたは私の友だちです。)

- ③ He _____ Ken. ④ He _____ my English teacher.

(彼は健です。)

(彼は私の英語の先生です。)

- ⑤ He _____ .

(彼は親切です。)

<性格を表す言葉> kind, 親切的な honest, 正直な
shy, 恥ずかしがりの friendly, 親しみのある

- ⑥ This _____ Kate. ⑦ She _____ my _____ .

(こちらはケイトです。)

(彼女は私の友だちです。)

- ⑧ She _____ a _____ . ⑨ They _____ .

(彼女は学生です。)

(彼らは正直です。)

<職業を表す言葉> police officer 警察官, hairdresser 美容師, firefighter 消防士, nurse 看護師, dentist 歯医者
teacher 教師, doctor 医者, storekeeper 店主, office worker 事務員, factory worker 工員, student 学生

ここがポイント！

○英語の語順は、「主語」の次に「動詞」がきます。

○主語を説明したいときは be 動詞を使います。I am Tom. He is strong.

○普通名詞の前には、a(n)をつけます。(職業の前にも同様)。

No. 4 be 動詞【否定文】「私は～ではありません。」

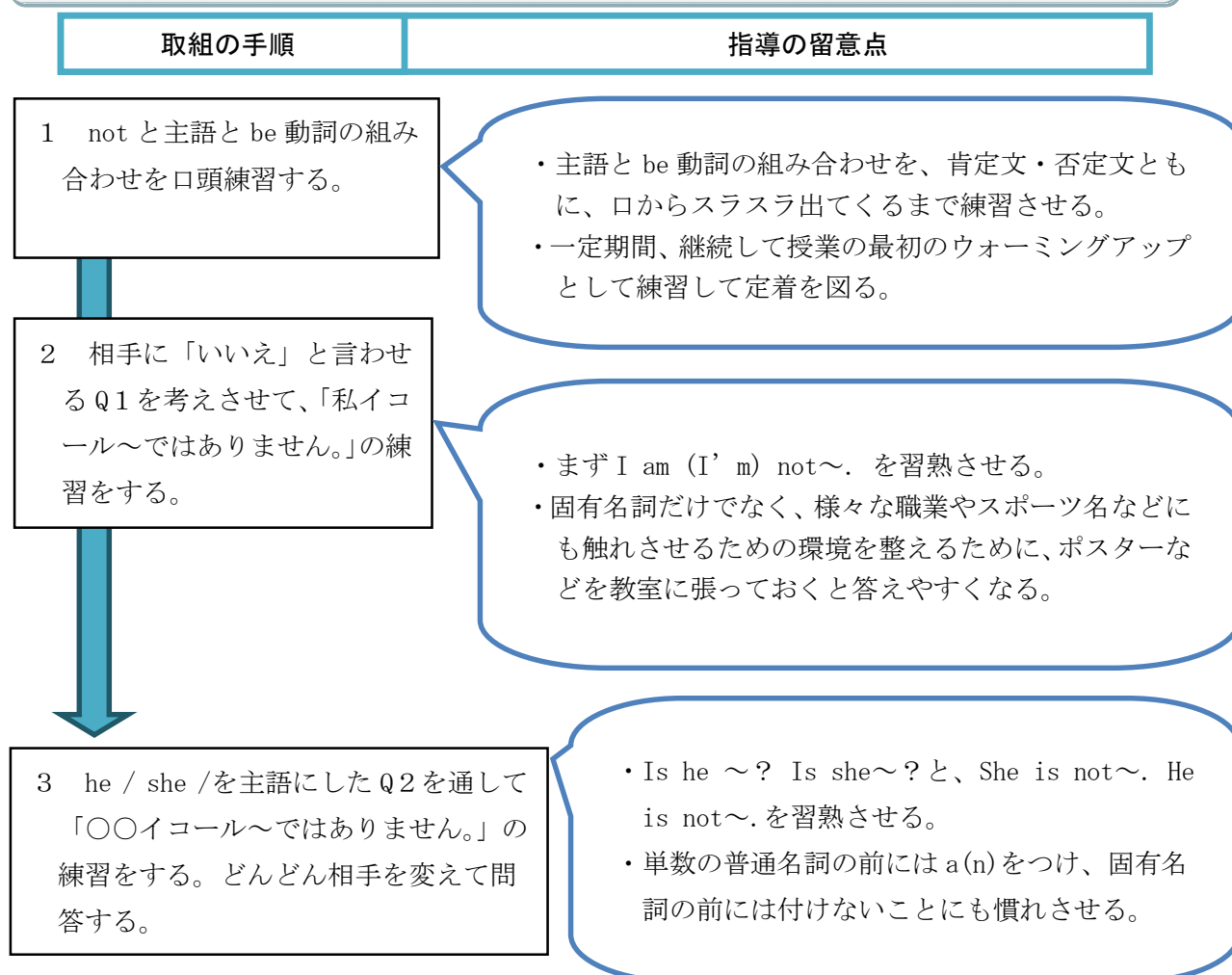
間違いやすいところから見るつまずきポイント

- 否定を表す not を入れる場所に迷う。
- 否定を表す not が入ると、主語と be 動詞の組み合わせに混乱する。
- 短縮形が理解できない。

指導のポイント

- ★ 主語と be 動詞の否定の組み合わせを、口頭練習で習得させる。
- ★ 主語、be 動詞、not の語順、短縮形を習熟させる。
- ★ 否定を表す not と主語と be 動詞の組み合わせを、様々な例文を用いた口頭練習と活動を通じて、自然に習熟させる。

授業での活用例〔使用する場面〕自己紹介の場面



関連する項目

- ・「be 動詞【肯定文・疑問文】 No. 3, 5」
- ・「一般動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 6, 7, 8」
- ・「冠詞【a, an, the】 No. 19」

4

be 動詞【否定文】

「私は～ではありません。」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

「～ではありません」と言う時、否定を表す **not** を **be 動詞 (am, are, is)** のあとに
いれます。

I am Tom. 「私はトムです。」
I am **not** Tom. (I'm **not** Tom.) 「私はトム**ではありません**。」
I am **not** a teacher. (I'm **not** a teacher.) 「私は先生**ではありません**。」

主語と be 動詞の否定の組み合わせを口に出して、何度も言ってみよう。

人称	単数形		短縮形	複数形		短縮形
1	I	am not	(I'm not)	we	are not	aren't
2	you	are not	aren't	you	are not	aren't
3	he	is not	isn't	they	are not	aren't
	she	is not	isn't			
	it	is not	isn't			

下線部を考えて、相手に「いいえ。～ではありません。」と言わせてみよう。

A: Are you a doctor?

B: No, I'm not. I'm not a doctor.

「彼女だよ」と手
でさして言ってみ
よう。

A: Are you a teacher?

B: No, I'm not. I'm not a teacher. She is a teacher.

A: Are you a baseball fan?

B: No, I'm not. I'm not a baseball fan.
He's a baseball fan.



下線部には、人の名
前や職業、スポーツ
名をいれよう。

4

be 動詞【否定文】

「私は～ではありません。」②

氏名 ()

使用する場面：身近な人物について情報を得る場面

下線部を考えて、**he** や **she** をさしながら、相手に「いいえ、～ではありません。」と言わせてみよう。

A: Is he a tennis player?

B: No, he is not (isn't).

He is not(isn't) a tennis player.

クラスメートや先生を手で
指さしながら尋ねてみよう。

A: Is he a doctor?

B: No, he is not (isn't).

He is not(isn't) a doctor.

下線部には人の名前や職業
を入れたり、スポーツ名を
入れたりしてみよう。

A: Is she a baseball fan?

B: No, she is not(isn't).

She is not(isn't) a baseball fan.A: Are you teachers?

B: No, we are not(aren't).

We are not(aren't) teachers.

※①自分と②友人について「～ではありません」の否定文を2つ書いてみよう。

①

.....

.....

.....

②

.....

.....

.....

ここがポイント！

be 動詞 (are, is) のあとに (not) を入れた短縮形は (isn't, aren't) です。

No. 5 be 動詞【疑問文】「あなたは～ですか？」

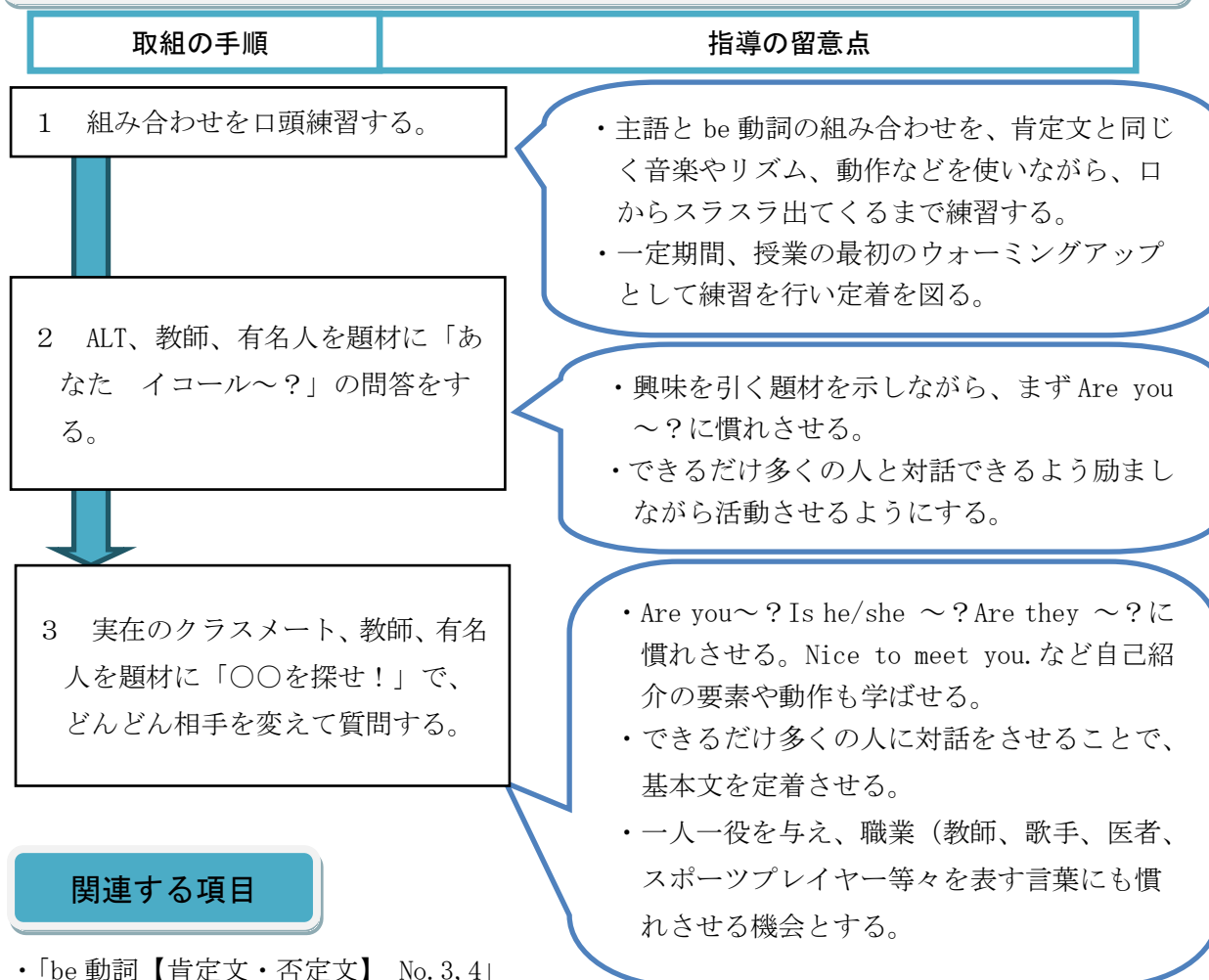
間違いやすいところから見るつまづきポイント

○疑問文において、主語と be 動詞の語順及び組み合わせに混乱する。

指導のポイント

- ★ 疑問文の主語と be 動詞の組み合わせを、口頭練習で習得させる。
- ★ be 動詞の疑問文では、be 動詞を主語の前に出す、という語順を口頭練習で習熟させる。
- ★ be 動詞の疑問文に対する答え方にも慣れさせる。
- ★ インタビューゲーム等により、英語による会話の雰囲気や表現することの楽しさを味わわせたい。

授業での活用例〔使用する場面〕相手についての情報を得る場面



関連する項目

- ・「be 動詞【肯定文・否定文】 No. 3, 4」
- ・「一般動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 6, 7, 8」

5

be 動詞【疑問文】

「あなたは～ですか？」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

「主語〇〇は～ですか」とたずねる時、**be 動詞(am,are,is)**は主語の前にきます。You **are** Habatan.「あなたは、はばタン**です**。」**Are** you Habatan?「あなたは、はばタン**ですか？**」Yes, I **am**. / No, I **am** not. 「はい、そうです」「いいえ違います。」主語と **be** 動詞の組み合わせを口に出して、何度も言ってみよう。

人称	単数形		複数形	
1	Am	I ?	Are	we ?
2	Are	you ?	Are	you ?
3	Is	he ?	Are	they ?
	Is	she ?		
	Is	it ?		

あなたは～ですか

リズムよく対話をしてみよう。

A: Are you a student?

B: Yes, I am.

A: Are you a teacher?

B: No, I am not. He is a teacher.

A: Are you a singer?

B: No, I am not. She is a singer.

A: Is he a baseball player?

B: No, he is not. He is a tennis player.

A: Is she Mary?

B: No, she is not. She is Kate.

彼、彼女だよ、とポスターや先生を手でさし
て言ってみよう。



5

be 動詞【疑問文】

「あなたは～ですか？」②

氏名 ()

使用する場面：身近な人物についての情報を得る場面

「〇〇を探せ！」

クラスの中にいる、有名人や、色々な職業の人を探しだそう。
相手を変えながら、聞きだしていこう。何人あてることができるかな。

A: Excuse me. Are you ?

B: No, I am not.

A: Oh, I see. Thank you.

B: You are welcome.



A: Excuse me. Are you ?

C: Yes, I am.

A: I am . Nice to meet you.

A: Excuse me. Is he /she ?

B: Yes, he/she is.

C: I am . Nice to meet you.

A: Nice to meet you, too.

A: Excuse me. Are they ?

B: No, they aren't.

A: Excuse me. Are they ?

C: Yes, they are. They are .

<職業名>

doctor 医者, scientist 科学者,

engineer エンジニア,

illustrator イラストレーター

carpenter 大工, cook 調理師

nursery school teacher 保育士

baseball player 野球選手

ここがポイント！

・ 答えの文の主語は、代名詞にします。

No. 6 一般動詞【肯定文】「私は～します。」

間違いやすいところから見るつまずきポイント

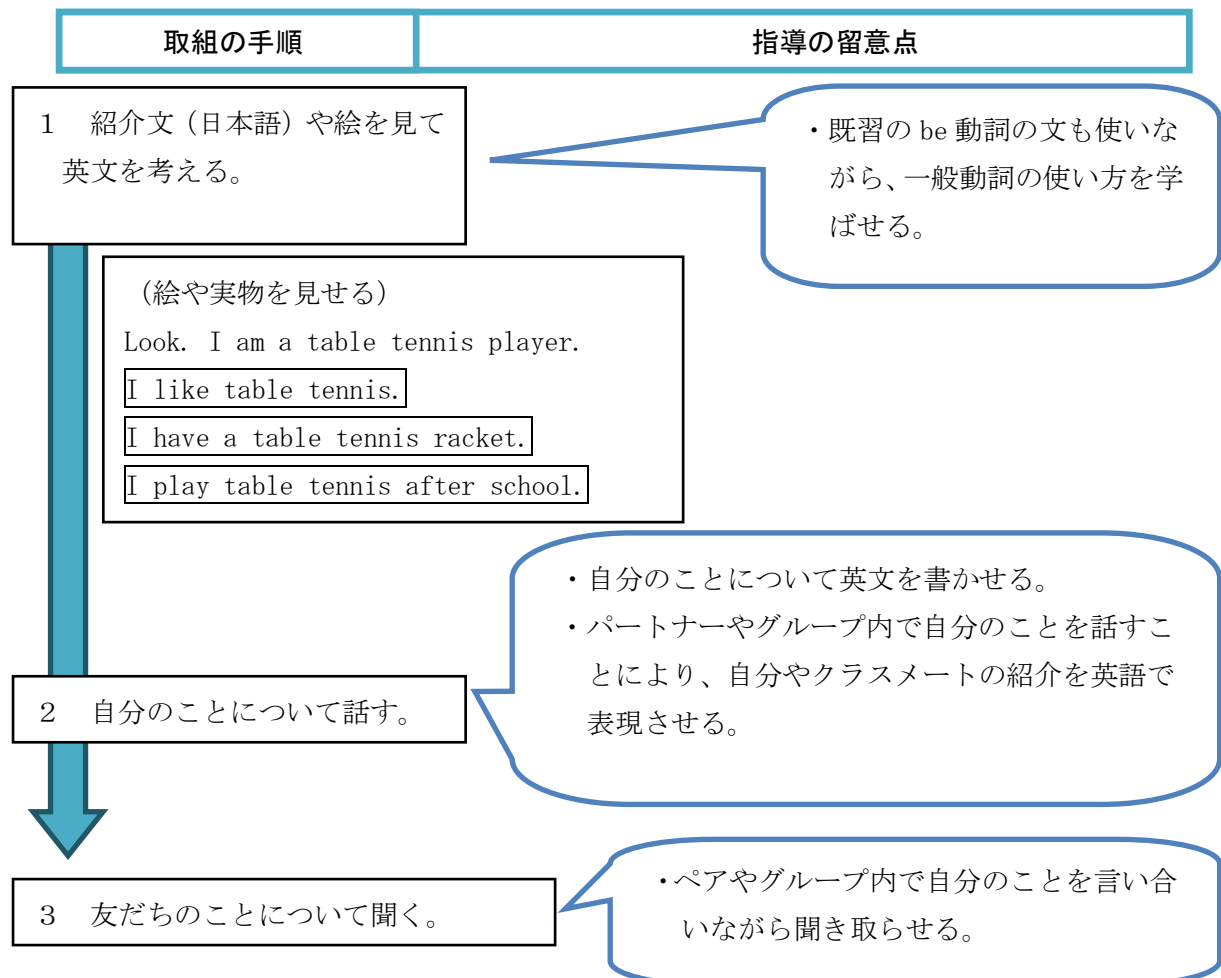
○be 動詞と一般動詞の違いに混乱し、be 動詞と一緒に使うことが考えられる。

誤答例：I am play baseball.

指導のポイント

- ★ 口頭練習を多くして一般動詞の文に慣れさせるとともに、後半は be 動詞を使った文も意識的に織り交ぜて聞かせ、違いに気付かせる。
- ★ たくさんの単語から自分に合うものを選ばせ、自己表現をさせることで定着を図る。

授業での活用例〔使用する場面〕自分や友だちを紹介する場面



関連する項目

- ・「be 動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 3, 4, 5」
- ・「一般動詞【否定文・疑問文】 No. 7, 8」

6

一般動詞【肯定文】

「私は～します。」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

I **play** tennis.

私はテニスをします。

I **have** a racket.

私はラケットを持っています。

I **like** tennis.

私はテニスが好きです。

「～する」「～を持っている」など動作を表す動詞を一般動詞と言います。

下線部に注意して、次の文を英語に直しましょう。

- ① 私は野球が
- 好き
- です。

I _____ baseball.

- ② 私は野球を
- し
- ます。

I _____ baseball.

- ③ 私はバットとボールを
- 持
- っています。

I _____ a bat and a ball.

- ④ あなたはバレーボールが
- 好き
- です。

You _____ volleyball.

- ⑤ 自分自身のことを、一般動詞を使って英文にしてみよう。

6

一般動詞【肯定文】

「私は～します。」②

氏名 ()

使用する場面：普段自分がすることを表現する場面

1 トムとジェーンの自己紹介の英文を、日本語を参考にして完成させましょう。

①僕はトム。②アメリカ出身です。③④テニスが好きで放課後します。⑤いいラケットを持っています。



Hello. ①I am Tom.

②I'm from the USA.

③I () tennis very much.

④I () tennis after school.

⑤I () a nice racket.

Hi. ①I am Jane.

②I am in a brass band club.

③I () a flute.

④I () the flute every day.

⑤I () music very much.

①私はジェーン。②ブラスバンド部に入っています。③フルートを持っています。④毎日吹きます。⑤音楽が大好きです。



2 自分が好きなものについて書いてみよう。(スポーツや音楽、楽器など)

例) 好きなもの(音楽) すること(ピアノを弾く) 持っているもの(ピアノ)

自分⇒ 好きなもの() すること() 持っているもの()

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3 友だちの言ったことを聞き取ってみよう。

ここがポイント！

- ① 具体的な動作を表すときは、主語の後に一般動詞(like, play など)を使います。
- ② 一般動詞そのままでは、be 動詞と一緒に使えません。

No. 7 一般動詞 【否定文】 「私は～しません。」

間違いやすいところから見るつまづきポイント

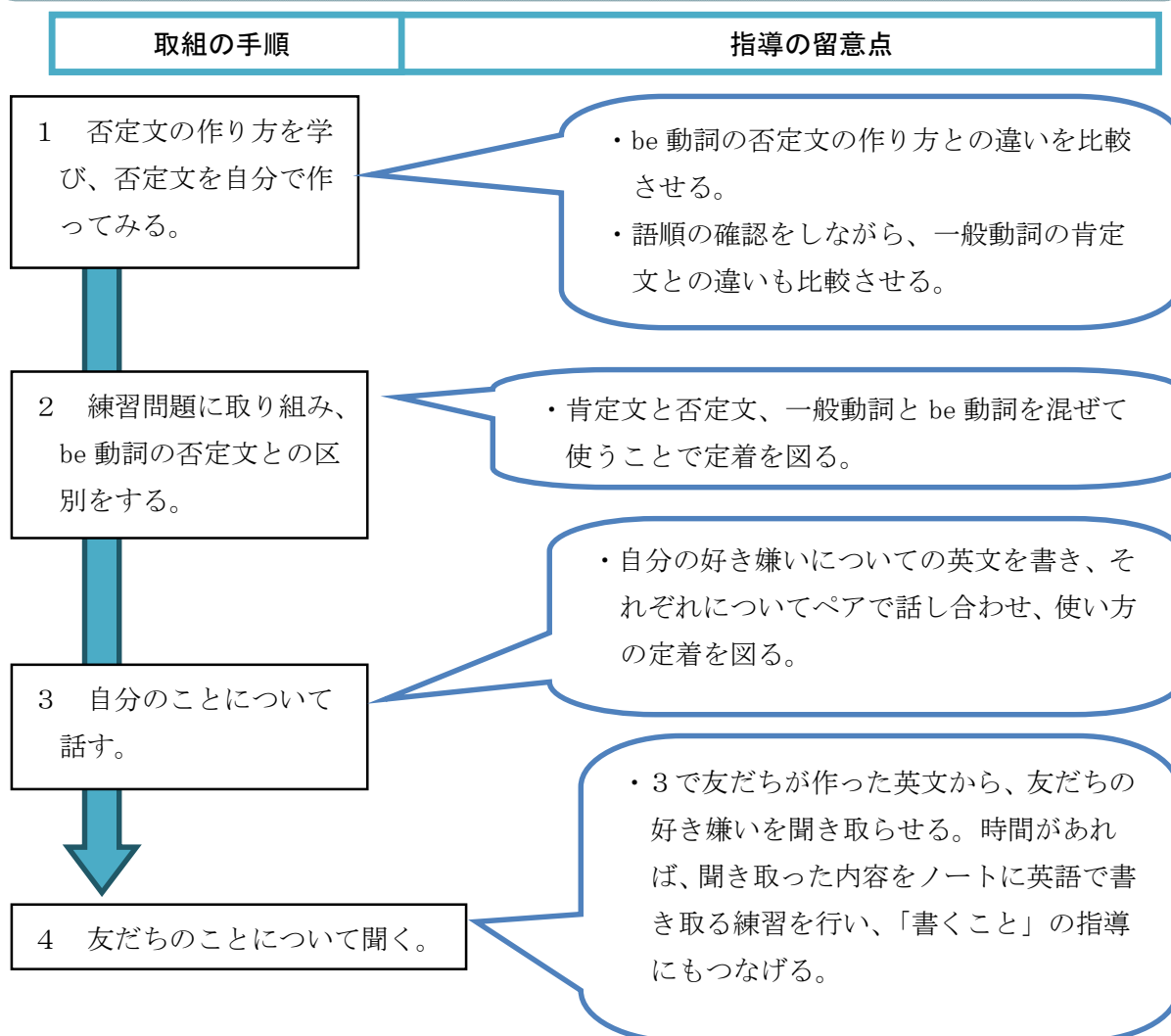
○be 動詞の否定文と混同する。誤答例：I am not play baseball.

○do を使わずに not のみを使って否定文を作る。誤答例：I play not baseball.

指導のポイント

★ 肯定文を否定文にする練習に取り組み、肯定文と否定文の区別をつけ、定着を図る。

授業での活用例〔使用する場面〕自分の好き嫌いを相手に伝える場面



関連する項目

- ・ 「be 動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 3, 4, 5」
- ・ 「一般動詞【肯定文・疑問文】 No. 6, 8」

7

一般動詞【否定文】

「私は～しません。」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

I play baseball. 「私は野球をします。」

I **do not** play baseball. 「私は野球をしません。」
(don't)

主語が I, You で、「～しません」というときは do not＋一般動詞で表します。

下線部に注意して、次の文を英語にしましょう。

- ① 私はサッカーを
- しません
- 。

I play soccer.

- ② あなたは野球が
- 好きではありません
- 。

You like baseball.

- ③ 私はテニスが
- 好きではありません
- 。

I tennis.

- ④ あなたはテニスを
- しません
- 。

You tennis.

- ⑤ 私たちはテレビを
- 見ません
- 。

We TV.

7

一般動詞【否定文】

「私は～しません。」②

氏名 ()

使用する場面：普段しないことを表現する場面

- 1 次の英文の中から、**don't** を使って否定文を作る英文を選び、否定文にしましょう。

※正解は2つあります

- 1 You are great. 2 You are happy. 3 I am a baseball player.
4 You like cake. 5 You play the piano. 6 I am Tom.

①

②

- 2 ①②は英文を否定文にし、③④は自分のことについて **I don't** ～で書きましょう。

① I like baseball.

② You play volleyball.

③ 自分のことについて

④ 自分のことについて

ここがポイント！

主語が I, You で、「～しません」というときは <do not + 一般動詞> を使います。

No. 8 一般動詞【疑問文】 「あなたは～しますか？」

間違えやすいところから見るつまずきポイント

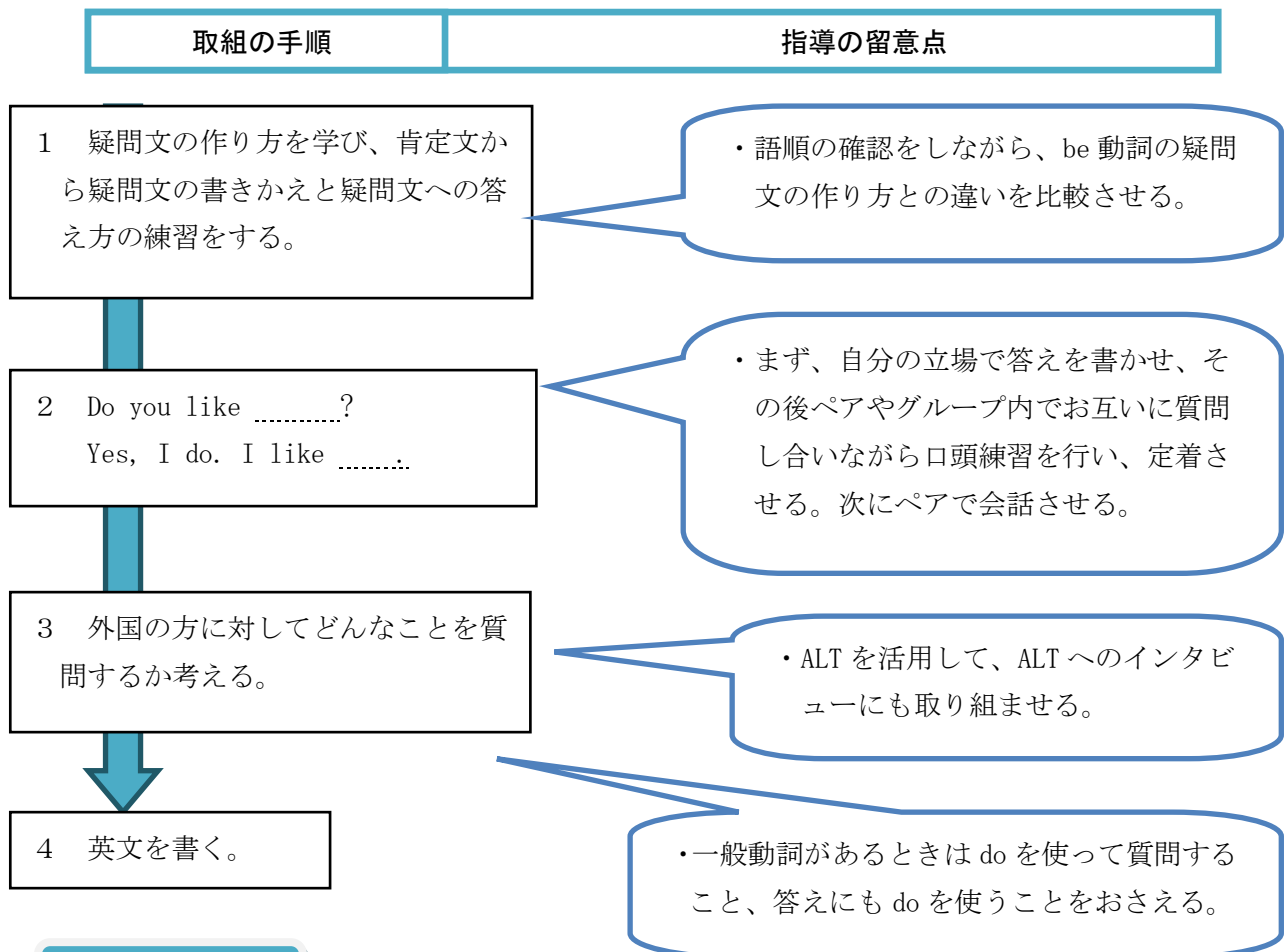
○be 動詞と一般動詞を混同するため、do の代わりに be 動詞を使うことが考えられる。

誤答例 : Are you play the guitar?

指導のポイント

- ★ 何度も T-S、S-S で口頭練習したのち、活動をさせる。
- ★ 相手の答えを推測した後に質問して確かめるペアワークや「〇〇する人」を探すビンゴを行うことで、より多くの練習が可能となる。
- ★ be 動詞及び一般動詞の両方の英文を用意し、違いを学ばせる。

授業での活用例〔使用する場面〕相手の情報を聞き取る場面



関連する項目

- ・「be 動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 3, 4, 5」
- ・「一般動詞【肯定文・否定文】 No. 6, 7」

必ず覚えておこう

You play tennis

Do you play tennis ?

「あなたはテニスをしますか。」

Yes, I **do**.

「はい、(私は) します。」

No, I **don't**.

「いいえ、(私は) しません。」

- ① 一般動詞を使って質問するときは、主語 you の前に Do をつけます。
 ② Do で質問されたら、do を使って答えます。

1 次の文を「あなたは～しますか。」という意味になるように、書きかえましょう。

① You like tennis.

.....

② You play baseball.

.....

2 次の質問に自分の立場で答えましょう。

① Do you like tennis ?

.....

② Do you play baseball?

.....

8

一般動詞【疑問文】

「あなたは～しますか？」②

氏名 ()

使用する場面：相手に普段することをたずねる場面

- 1 次の英文の中から、Do を使って疑問文を作る英文を選び、疑問文にしましょう。

※正解は2つあります

- 1 You like soccer. 2 You are happy. 3 You are a student.
4 You are Koji. 5 You play the piano. 6 You are Tom.

①

②

- 2 日本が大好きなアメリカの俳優の Tom さんが来日しました。あなたがレポーターならどんなことをききたいですか。ヒントを手掛かりに英語で書きましょう。(Do を使った疑問文を書こう。)

例) Do you like Japanese food?

Q:

<ヒント> 好き: like 見る: watch 食べる: eat 日本料理: Japanese food
すもう: sumo 柔道: judo 剣道: kendo 天ぷら: tempura

- 3 次の会話を完成させましょう。

A: Do you _____ baseball?

B: Yes, I _____ . Do you play baseball, too?

A: No, I _____ . I play soccer.



ここがポイント!

相手に「～しますか。」と質問するときは、主語 you の前に Do をつけます。
Do で質問されたら、do を使って答えます。

No. 9 一般動詞 【三人称単数現在形肯定文】「彼は～します。」

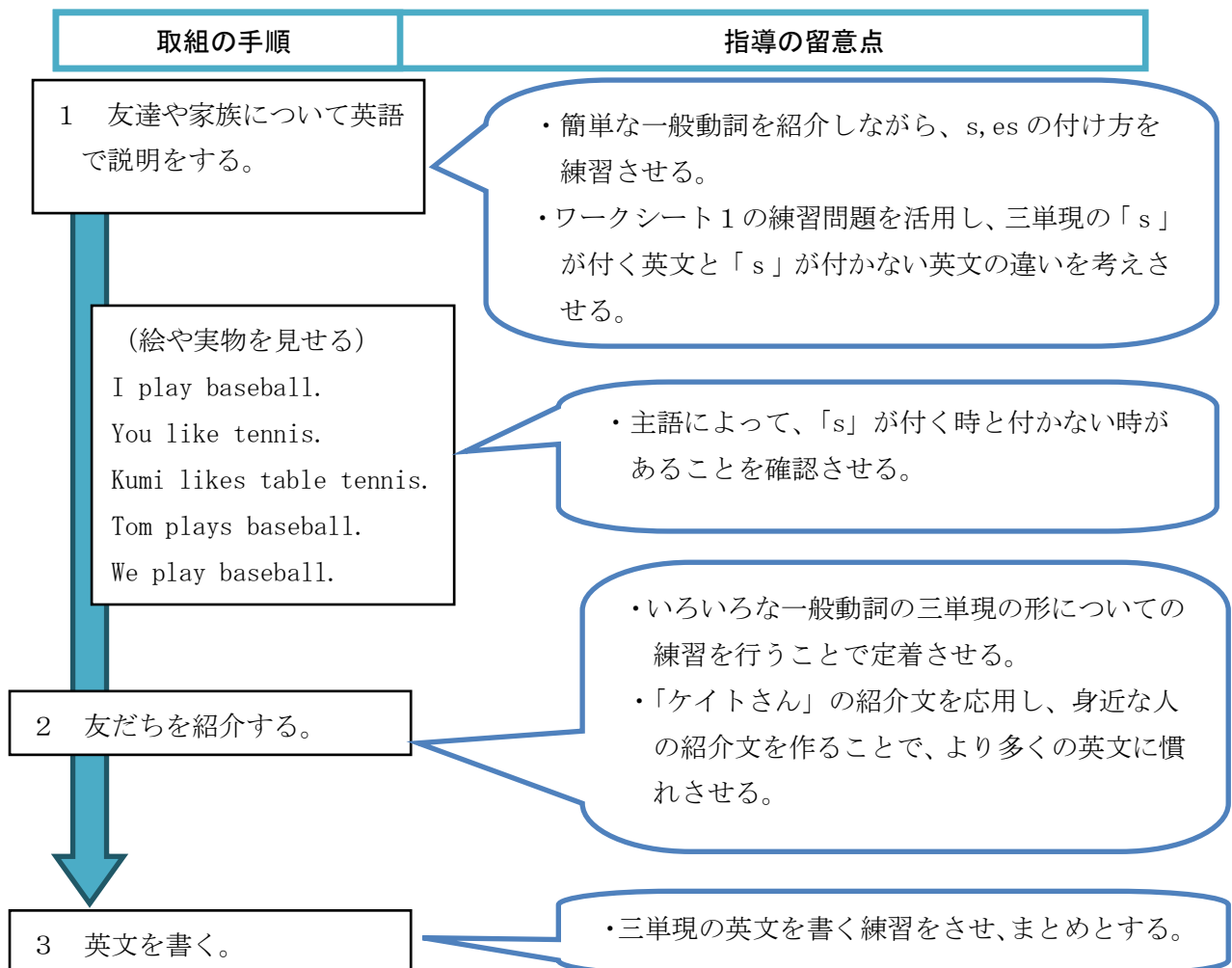
間違いやすいところから見るつまずきポイント

○三人称が何かが分かりにくいいため、「s」が付けられない。

指導のポイント

- ★ 三単現の「s」が付く英文と「s」が付かない英文を両方扱いながら、違いを確認させる。
- ★ 一人称、二人称、三人称の区別をし、主語が何かについて、意識を持たせる。

授業での活用例〔使用する場面〕身近な人について説明する場面



関連する項目

- ・「be 動詞 【肯定文・否定文・疑問文】 No. 3, 4, 5」
- ・「一般動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 6, 7, 8」
- ・「一般動詞【三人称単数現在形】【否定文・疑問文】 No. 10, 11」
- ・「Let's Try! 1 動詞の変化【三人称単数現在形の s/es】」

9

一般動詞【三人称単数現在形肯定文】

「彼は～します。」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

I play tennis.

「私はテニスをします。」

You play baseball.

「あなたはテニスをします。」

Ken plays soccer.

「ケンサッカーをします。」

主語が三人称単数で現在の文のとき、一般動詞にsが付きます。
 ※一人称…自分、二人称…相手、三人称…自分でも相手でもない人や物

下線部の日本語に注意して、英語を書きましょう。

① 私は野球が好きです。② 私は健です。

I _____ baseball.

I _____ Ken.

③ あなたはテニスが好きです。④あなたは生徒です。

You _____ tennis.

You _____ a student.

⑤ 久美は卓球が好きです。

Kumi _____ table tennis.

⑥トムは野球をします。⑦トムは先生です。

Tom _____ baseball. Tom _____ a teacher.

⑧ 私たちは野球をします。

We _____ baseball.

9

一般動詞【三人称単数現在形肯定文】

「彼は～します。」②

氏名 ()

使用する場面：友達や家族などがすることを表現する場面

1 次のケイトさんに関するメモを見て、ケイトさんについて英語で紹介する文を完成させよう。

- ① ロサンジェルス出身。② ニューヨーク在住。③ 数学の先生をしている。
 ④ 犬がとても好きです。⑤ テニスを毎週末する。⑥ 日本食が大好きで特に天ぷらが好き。
 ⑦ とても上手に日本語を話す。

- ① Kate _____ from Los Angeles.
 ② She _____ in New York.
 ③ She _____ a math teacher.
 ④ She _____ dogs very much.
 ⑤ She _____ tennis every weekend.
 ⑥ She _____ Japanese food, especially tempura.
 ⑦ She _____ Japanese very well.

2 右の表を見て、ケイト先生のスケジュールを英文で書きましょう。

She gets up at five.

午前	5 : 00	起きる
	7 : 00	朝食
午後	6 : 00	帰宅
	9 : 00	入浴
	11 : 00	寝る

帰宅する : come home

入浴する : take a bath

寝る : go to bed

ここがポイント！

- 主語が自分と相手以外の1人やもの1つのとき → 一般動詞にsが付きます。
 主語が自分、相手、複数のとき → 一般動詞はそのままです。

Let' s Try! 1～4 動詞の変化（3 単現の s, es・過去形・～ing 形）
【やってみよう!】（動詞の変形をマスターしよう。）

間違えやすいところから見るつまずきポイント

○主語や時制や進行形の区別ができず、適切な動詞の形を選択できない。

指導のポイント

- ★ 主語の人称を意識することに慣れさせ、適切な語形変化を定着させる。
- ★ 日本語や過去を表わす語句などから時制を認識させ、適切な語形変化を定着させる。
- ★ 現在形と現在進行形の表現の違いを認識させ、適切な語形変化を定着させる。

授業での活用例〔使用する場面〕動詞の変化形を用いる場面

取組の手順

指導の留意点

1 該当する単元（3 単現・過去・進行形）における文法説明。

主語や時制や表現に合わせた語形変化を身につけさせるために…

- * **3 単現の s, es**: s, es が必要となる条件を押さえるため、多くの主語を取り上げ、条件に当てはまるかどうか考えさせる。その後、語形変化を教え定着を図る。
- * **過去形**: 「過去」という概念を押さえるため、過去を表わす語句や表現を認識させる。その後、語形変化を教え定着を図る。
- * **進行形**: 「進行形」という概念を押さえるため、現在形との違いを多くの例文を活用し、認識させる。その後、語形変化を教え定着を図る。

2 語形変化の定着を図るため、各単元ごとにワークシートを活用。（課題活用も可）

関連する項目

- ・「一般動詞【三人称単数現在形肯定文】 No. 9」
- ・「一般動詞過去形【肯定文】 No. 13」
- ・「現在進行形 No. 16」

Let's Try!

1

動詞の変化【三人称単数現在形の s/es】

「三単現の s/es」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

三単現の s の付け方（動詞によって異なる）

① 基本の作り方（動詞の最後に s を付ける）

play→ plays, know→ knows, see→ sees, want→ wants, like→ likes 等

② es を付ける動詞

watch→ watches, teach→ teaches, wash→ washes 等

③ y を i に変えて es を付ける動詞

study→ studies, try→ tries 等

④ have など注意すべき動詞

have→ has, go→ goes, do→ does（発音に注意）, say→ says（発音に注意）,

1 次の動詞を三人称単数現在形の-s,-es を付けましょう。

① read

（読む） _____

② make

（作る） _____

③ do

（する） _____

④ have

（持っている） _____

⑤ run

（走る） _____

⑥ study

（勉強する） _____

⑦ watch

（見る） _____

⑧ swim

（泳ぐ） _____

2 次の日本語に合う英文になるように（ ）内に適する語を答えましょう。

① ケンは英語を話します。

Ken () English.

② クミはピアノを弾きます。

Kumi () the piano.

③ 彼は犬を2匹飼っています。

He () two dogs.

気を付けよう！

主語が三人称単数で現在の文のとき、動詞の後ろに s がつきます。
（動詞によって s の付け方は異なります）

Let's Try!

1

動詞の変化【三人称単数現在形の s/es】

「三単現の s/es」②

氏名 ()

使用する場面：時制と主語に合わせた動詞を選択する場面

1 次の日本語に合う英文になるように () 内から適する語を選びなさい。

① 彼は毎朝新聞を読みます。

He (read / reads) a newspaper every morning.

② 彼女は大阪に住んでいます。

She (live / lives) in Osaka.

③ ケンは毎日英語を勉強します。

Ken (study / studies / studys) English every day.

④ クミは猫を3匹飼っています。

Kumi (have / haves / has) three cats.

⑤ ケンとクミは毎朝テレビを見ます。

Ken and Kumi (watch / watchs / watches) TV every morning.

⑥ 彼女は大阪に住んでいません。

She doesn't (live / lives) in Osaka.

⑦ 彼は東京で日本語を教えていますか。

Does he (teach / teaches / teaches) Japanese in Tokyo ?

⑧ ケンジは毎日野球をしますか。

Does Kenji (play / plays) baseball every day ?

2 次の日本語を英文になおしましょう。

① 彼はクミが好きです。

② クミはたくさんの本を持っています。

ここがポイント！

否定文 (doesn't + 動詞の原形) ・ 疑問文 (Does + 主語 + 動詞の原形 ?)

No. 10 一般動詞【三人称単数現在形否定文】「彼は～しません。」

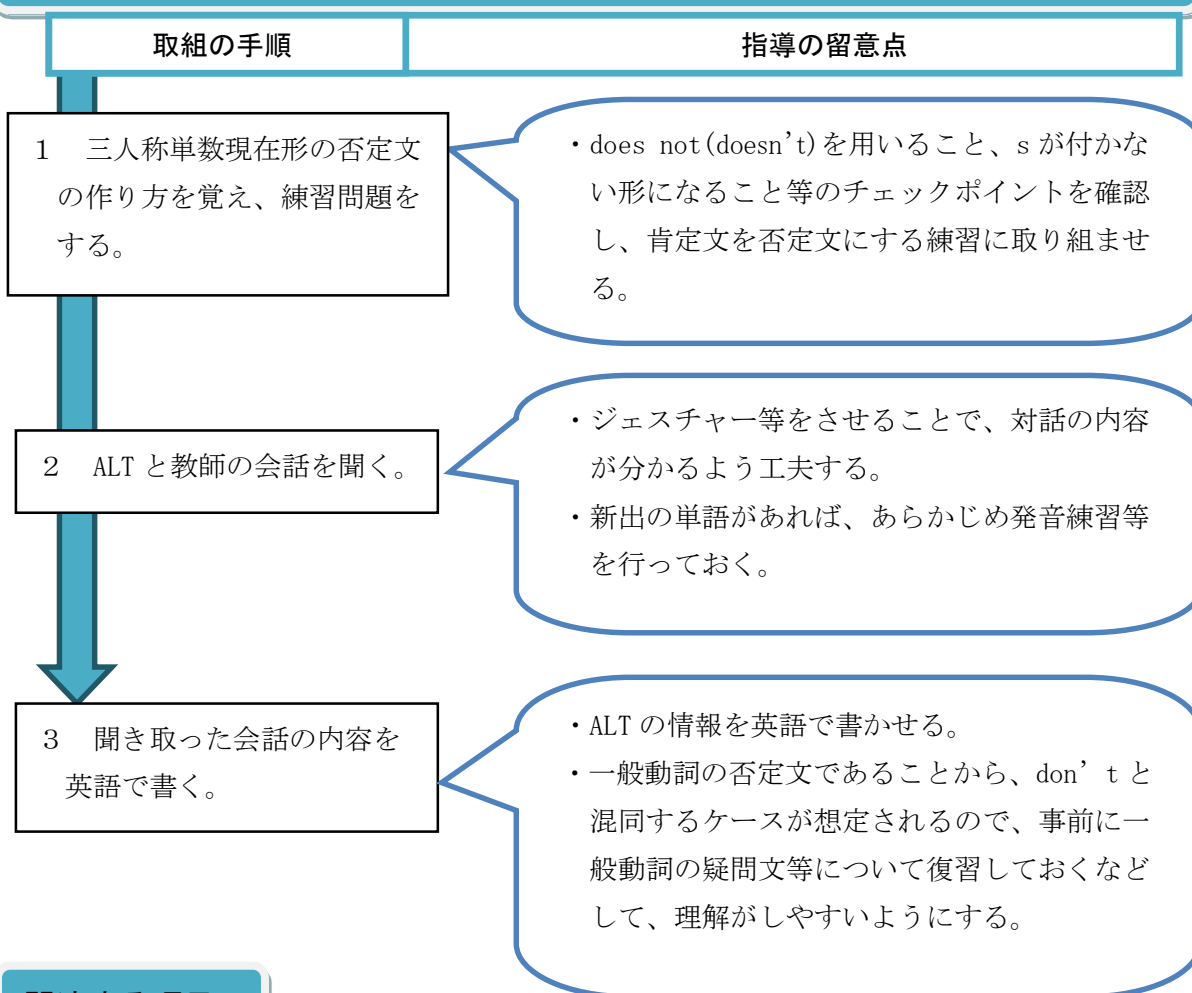
間違いやすいところから見るつまずきポイント

- 主語の区別がつかずに、Ken don't ～. とすることが予想される。
- be 動詞と一般動詞を混合して、Is Ken～? とすることがある。

指導のポイント

- ★ 様々な例文を用い、三人称単数現在形の疑問文に Does を用いることを覚えさせる。
- ★ 一人称、二人称、三人称の区別をし、主語が何かについて、意識を持たせる。

授業での活用例〔使用する場面〕身近な人について否定文を用いて表現する場面



関連する項目

- ・ 「be 動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 3, 4, 5」
- ・ 「一般動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 6, 7, 8」
- ・ 「一般動詞【三人称単数現在形】【肯定文・疑問文】 No. 9, 11」

10

一般動詞【三人称単数現在形否定文】

「彼は～しません。」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

覚えているかな

Ken plays tennis. 「ケンは何ニスをします。」

Ken does not play tennis. 「ケンは何ニスをしません。」
(doesn't)

- ① 主語が三人称単数で現在の文のとき、否定文は does not + 一般動詞 になります。
- ② 否定文では、一般動詞に s が付かない形（原形）になります。

1 次の文を「～しません。」という意味になるように、書きかえましょう。

① Tom likes baseball.

② Ms Sato speaks Japanese.

③ My brother plays the guitar.

④ Ken likes volleyball very much.

⑤ My sister watches TV.

使用する場面：友達や家族などが普段しないことを表現する場面

1 あなたは新しい ALT の Brown 先生に次のようにインタビューしました。

You : I have some questions. Where are you from?
 Mr Brown : I'm from Australia.
 You : Do you like sports?
 Mr Brown : Yes. I play cricket with my friends. I like cricket .
 You : Do you play baseball, too?
 Mr Brown : No, I don't. It is not so popular in my country.
 You : I see. Do you like Japanese food?
 Mr Brown : Yes, I do. I like *sushi*. But I don't like *natto*.
 You : I eat it every day. Do you speak Japanese?
 Mr Brown : No, I don't. I study Japanese every Saturday.
 You : Great! Thank you for your time!

注 **cricket** : クリケット (スポーツの名前)

Brown 先生について分かったことを英語でまとめました。完成させましょう。

Mr Brown is our new English teacher.
 He is from Australia. He likes sports.
 He _____ cricket. He _____ baseball.
 He likes sushi but he _____ *natto*.
 He _____ Japanese.
 He _____ Japanese every Saturday.

ここがポイント！

自分と相手以外の 1 人やもの 1 つが主語の時、否定文は **doesn't** + 動詞の原形を使います。

No. 11 一般動詞【三人称単数現在形疑問文】「彼は～しますか？」

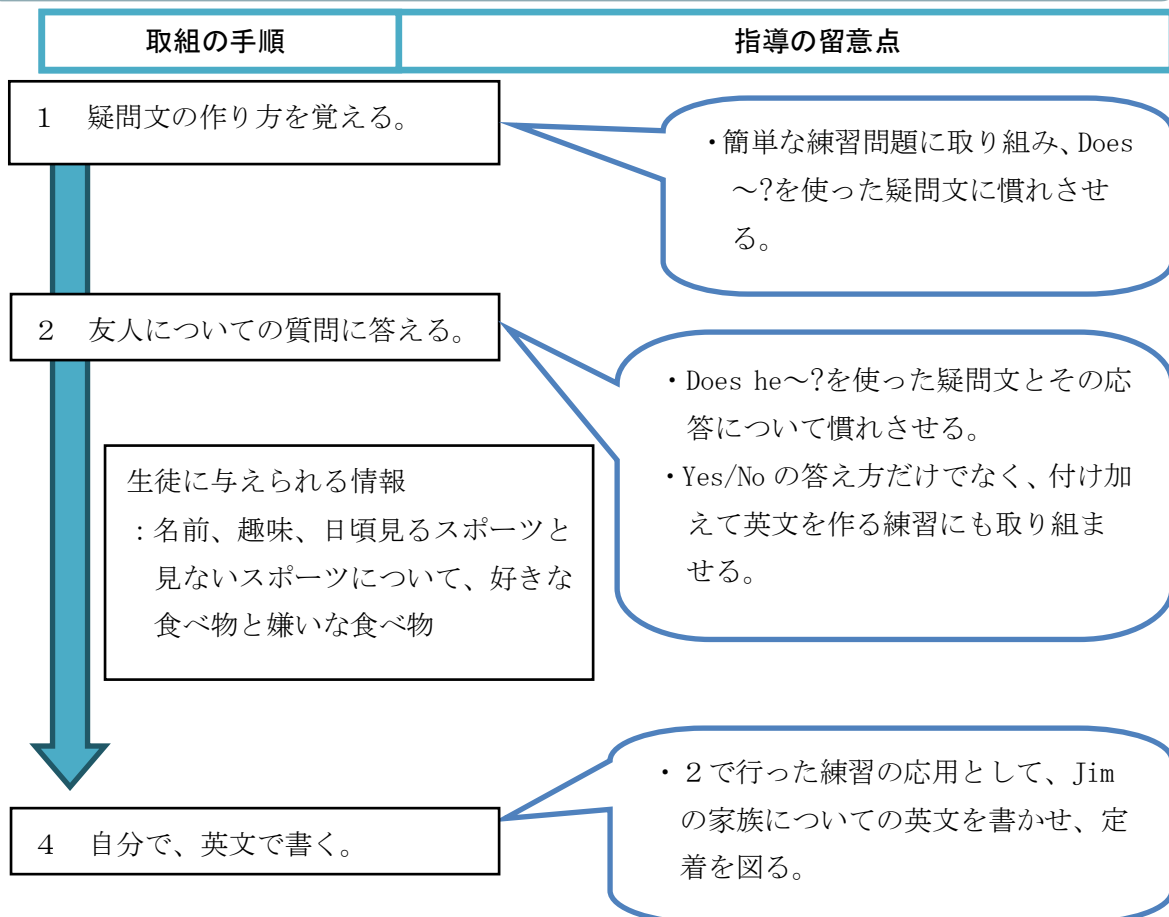
間違いやすいところから見るつまづきポイント

- 主語の区別がつかずに、Do Ken ～ ?とすることが予想される。
- be 動詞と一般動詞を混合して、Is Ken ～? とすることがある。

指導のポイント

- ★ 否定文を作った時の注意事項を振り返り、三人称単数現在形の疑問文に Does を用いることを覚えさせる。
- ★ 一人称、二人称、三人称の区別をし、主語が何かについて、意識を持たせる。

授業での活用例【使用する場面】身近な人について質問する場面（その応答）



関連する項目

- ・「be 動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 3, 4, 5」
- ・「一般動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 6, 7, 8」
- ・「一般動詞【三人称単数現在形】【肯定文・否定文】 No. 9, 10」

必ず覚えておこう

覚えているかな

Ken plays tennis.

「ケン is サッカーをします。」

Does Ken play tennis?

「ケン is テニスをしますか。」

Yes, he does.

「はい、します。」

No, he does not.

「いいえ、しません。」

(doesn't)

- ① 主語が三人称単数で現在の文のとき、疑問文は Does ～？でたずねます。
 ② 動詞は元の形になるので注意しましょう。

次の文を「～しますか。」という意味になるように書きかえましょう。

- ① Tom likes baseball.

- ② Ms Sato teaches Japanese.

- ③ Your brother plays the guitar.

- ④ Ken watches TV every day.

一般動詞【三人称単数現在形疑問文】

「彼は～しますか？」②

氏名 ()

使用する場面：友達や家族がすることをたずねる場面

- 1 あなたはアメリカに住む Jim とメールのやり取りをしています。あなたの弟の次郎について、Jim から質問されました。どのように答えますか。メモを読んで答えましょう。

名前	： 次郎	趣味	： 音楽、ギター演奏
スポーツ	： 見る・・・サッカー	見ない	・・・野球
食べ物	： 好き・・・ラーメン、すし	嫌い	・・・納豆

例) Does Jiro like music?

Yes, he does. He likes music.

- ① Does he play the guitar?

- ② Does he watch baseball?

- ③ Does he like *natto*?

- 2 Jim には Nancy という妹がいます。Nancy について Jim に質問してみましょう。

例) Does Nancy like sports? (ナンシーはスポーツが好きですか。)

- ①

- ②

ここがポイント！

- ① 一般動詞の文で、自分と相手以外の人 1 人やもの 1 つが主語のとき、Does～？で質問します。
- ② Does で始まる疑問文には、does を用いて答えます。

No. 12 助動詞【can】「～することができる。」

間違えやすいところから見るつまずきポイント

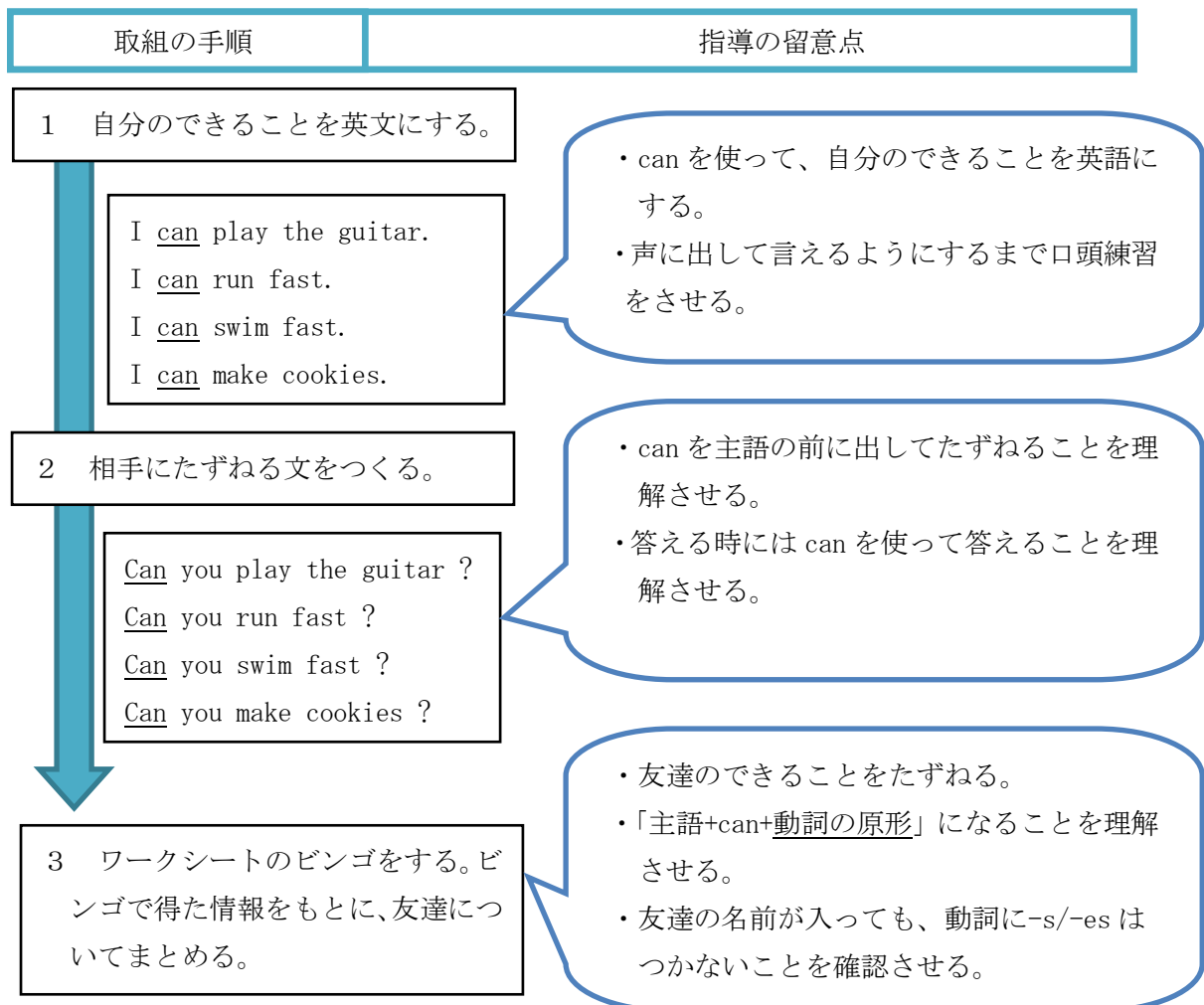
○can の後ろは動詞の原形だが、主語によって形を変えてしまう。

誤答例：He can plays the guitar. / Emi cans swim fast.

指導のポイント

- ★ 一般動詞の三人称単数現在形の s/es のつく形と、助動詞の後ろは原形となる違いを押さえる。
- ★ can は一般動詞の意味を補い、単に「～する」ではなく「～することができる」という意味であることを押さえる。
- ★ can を使った疑問文の作り方とその答え方、また否定文の作り方を押さえる。

授業での活用例〔使用する場面〕友達にできることをたずねる場面



「～することができる。」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

He **can** play the piano. 「彼はピアノをひくことができます。」He **can not** play the piano. 「彼はピアノをひくできません。」↘ **can't** と短縮することができる**Can** he play the piano ? 「彼はピアノをひくことができますか。」

日本語に合うように、英語を並べかえましょう。

① 私は サッカーを する ことができます 。 play I soccer can .

② 彼女は 英語を 話す ことができます 。 can She English speak .

③ あなたは テニスを する ことができますか 。 tennis play you Can ?

④ はい 、 できます 。 can Yes , I .

⑤ 彼らは 泳ぐ ことができ ません 。 can swim not They .

⑥ 彼は 速く 走る ことができますか 。 run he Can fast ?

⑦ はい 、 できます 。 can Yes , he .

⑧ いいえ 、 できません 。 not can No , he .

① _____

② _____

③ _____

④ _____

⑤ _____

⑥ _____

⑦ _____

⑧ _____

助動詞【can】

「～することができる。」②

氏名 ()

使用する場面：自分ができることを友達に伝える場面

Activity 「できる人さがし」

- ①「たずね方」にならって、マスの中に書かれたことができるかどうか、クラスメートに聞いてまわり、**Yes** と答えた人の名前を () に書きましょう。
- ②真ん中の空白欄には自分で考えた内容をたずねましょう。
- ③**Yes** をくれた友達の名前をもとに、友達のできることを紹介する英文をノートに書きましょう。
- 例) ○○ can play soccer. (○○はサッカーをすることができます。)

play soccer  ()	dance  ()	swim fast  ()
eat "natto"  ()	 ()	play softball  ()
sing English songs  ()	drink milk  ()	play golf  ()

【たずね方】 Excuse me. Can you ～ ? ... すみません。あなたは～することができますか。

【答え方】 Yes, I can. (はい、できます。)

No, I can't. I can't ～. (いいえ。私は～することはできません。)

ここがポイント！

- ・「～することができる」という場合は、can を使います。
- ・can の後ろには、必ず動詞の原形 (s や es のつかない形) をおきます。

No. 13 「一般動詞過去形」【肯定文】「～しました。」

間違いやすいところから見るつまづきポイント

○規則動詞と不規則動詞の使い分けができていないため正しい語形変化ができない。

誤答例：I maked sandwiches yesterday. Miku readed a book yesterday.

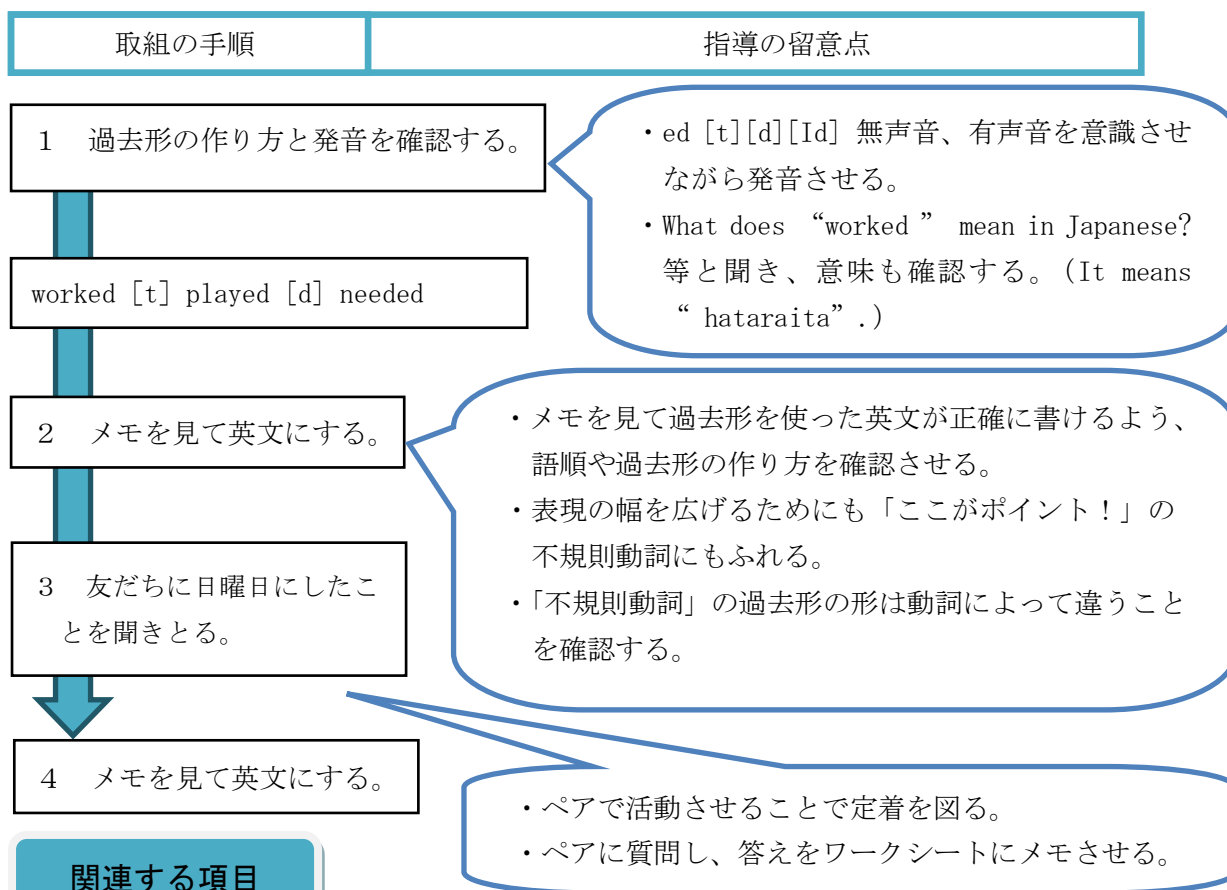
○be 動詞過去形と混同しているため正しい語順とならない。

誤答例：I was played soccer this morning.

指導のポイント

- ★ be 動詞と一般動詞の違いを押さえる。
- ★ ワークシート1では、子音字+yの過去形の作り方の補足を含め、規則動詞のedの発音のルールを押さえる。
- ★ 不規則動詞はある程度、覚えた段階で、パターン別にまとめるなど覚えやすく工夫する。

授業での活用例【使用する場面】身近な人についてたずねる場面



関連する項目

- ・「be 動詞 【肯定文・否定文・疑問文】 No. 3, 4, 5」
- ・「一般動詞 【肯定文・否定文・疑問文】 No. 6, 7, 8」
- ・「一般動詞 【三人称単数現在形】 【肯定文・否定文・疑問文】 No. 9, 10, 11」
- ・「一般動詞過去形 【否定文・疑問文】 No. 14, 15」
- ・「Let's Try! 2 動詞の変化【過去形（規則動詞）】」
- ・「Let's Try! 3 動詞の変化【過去形（不規則動詞）】」

必ず覚えておこう

一般動詞の過去形を使うとき

I play baseball everyday.

I play^{ed} baseball yesterday.

「私は、昨日野球をしました。」

- ・主語が何であっても「一般動詞」(規則動詞)の過去形には **ed** を付けます。

1 【 】内の一般動詞を適切な形にして、日本文にあう英文にしましょう。

① 私は、この前の日曜日、サッカーをしました。【play】

I _____ soccer last Sunday.

② あなたたちは、昨日、野球をしました。【play】

You _____ baseball yesterday.

③ 彼は、先週、図書館で働きました。【work】

He _____ at the library last week.

④ マヤは、昨日、この本が必要でした。【need】

Maya _____ this book yesterday.

⑤ 私たちは、今朝、音楽を聞きました。【listen】

We _____ to music this morning.



2 トムが、おばさんの家に先週行きました。そこでしたことを3つ日本語で書きましょう。

Tom visited his aunt's house last week. He played the guitar in the morning.

In the afternoon, he cleaned his aunt's room. He cooked curry and rice in the evening.

例[おばの家に行った] ①[] ②[] ③[]

気を付けよう

ed の発音は直前の語尾の音で決まります。①有声音→ [d] ② 無声音→ [t]

③ [t] & [d] → [ɪd]

使用する場面：過去にしたことを表現する場面

1 次の一般動詞（規則動詞）を過去形にして書き、声に出して読んでみましょう。

※(4)はyをiにかえてedを付けましょう。

- | | | | | | | |
|-----|-------|---|--------|-----|--------|---|
| 例) | play | → | played | (1) | watch | → |
| (2) | use | → | | (3) | listen | → |
| (4) | study | → | | (5) | visit | → |
| (6) | help | → | | (7) | clean | → |

2 ベンさんが、昨日したことを英語の授業で発表しました。そして、その発表を聞いてメモをとりました。そのメモを見て、ベンさんの言ったことを、英文にしてみましょう。

例) Ben played tennis yesterday.

- _____
- _____
- _____

例) テニスをした

- ・ テレビを見た
- ・ 音楽を聞いた
- ・ 買い物に行った

3 クラスの2人に日曜日したことを質問し、メモを取り、それを英文で書いてみましょう。

Q: What did you do last Sunday?

- _____
- _____

()

•

()

•

※ () 聞いた人の名前を記入しよう

ここがポイント！

一般動詞の過去形は、規則動詞【ed】と不規則動詞があります。不規則動詞も、使えるようにしておきましょう。不規則動詞は、edの付かない過去形です。

※readの過去形は現在形と発音が異なります。

		「行った」		「読んだ」		「得た」		「見た」				
例)	go	→	went	read	→	read	get	→	got	see	→	saw

Let's Try!

2

動詞の変化【過去形（規則動詞）】

「規則動詞の過去形」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

ed の付け方（動詞によって異なる）

① 基本の作り方（動詞の最後に ed を付ける）

play→ played, enjoy→ enjoyed, walk→ walked, visit→ visited 等

② d だけを付ける動詞

like→ liked, live→ lived, use→ used, practice→ practiced 等

③ y を i に変えて ed を付ける動詞

study→ studied, try→ tried, cry→ cried 等

④ 最後の文字を重ねて ed を付ける動詞

stop→ stopped, clap→ clapped 等

1 次の動詞を過去形にしましょう。

① walk

(歩く) _____

② cry

(泣く) _____

③ stop

(止まる) _____

④ practice

(練習する) _____

⑤ use

(使う) _____

⑥ study

(勉強する) _____

⑦ listen

(聞く) _____

⑧ visit

(訪問する) _____

2 次の日本語に合う英文になるように () 内に適する語を答えましょう。

① 私は去年英語を勉強しました。 I () English last year.

② あなたは先週ピアノを弾きました。 You () the piano last week.

③ 彼は昨日学校まで歩いた。 He () to school yesterday.

気を付けよう！

主語によって形が変わることはありません。

Let's Try!

2

動詞の変化【過去形（規則動詞）】

「規則動詞の過去形」②

氏名 ()

使用する場面：時制に合わせた動詞を選択する場面

1 次の日本語に合う英文になるように () 内から適する語を選びなさい。

① 私は昨日宿題を終わらせた。

I (finish / finished) my homework yestrday.

② 彼女は昨夜夕食を作った。

She (cooks / cooked) dinner last night.

③ ケンは去年中国語を勉強しなかった。

Ken didn't (study / studied / studies) Chinese last year.

④ クミは先週歩いて学校へ行きましたか。

Did Kumi (walk / walked / walks) to school last week ?

2 次の日本語に合う英文になるように () 内に適する語を書きましょう。

① 彼は昨夜音楽を聴きました。

He () to music last night.

② クミは昨日お母さんを手伝わなかった。

Kumi didn't () her mother yesterday .

③ あなたはこの前の月曜日に叔父を訪ねましたか。

Did you () your uncle last Monday ?

3 次の英文を () 内の指示に従って書きかえましょう。

① I play the piano everyday. (下線部を yesterday に変えて)

② They played tennis yesterday. (疑問文に)

ここがポイント！

否定文 (didn't + 動詞の原形)・疑問文 (Did + 主語 + 動詞の原形 ?)

Let's Try!

3

動詞の変化【過去形（不規則動詞）】

「不規則動詞の過去形」①

氏名（ ）

必ず覚えておこう

ed を付けて過去形になる動詞を規則動詞と言うのに対し、過去形が不規則な形になる動詞を不規則動詞と言います。

* 主な不規則動詞

原形	意味	過去形	原形	意味	過去形
go	行く	went	come	来る	came
eat	食べる	ate	teach	教える	taught
have	持っている	had	get	手に入れる	got
say	言う	said	write	書く	wrote
do	する	did	read	読む	read * ¹

*¹...発音に注意

1 次の動詞を過去形にしましょう。

① have

(持つ) _____

② make

(作る) _____

③ do

(する) _____

④ write

(書く) _____

⑤ eat

(食べる) _____

⑥ go

(行く) _____

2 次の日本語に合う英文になるように（ ）内に適する語を答えましょう。

① 私は去年大阪に行きました。 I () to Osaka last year.

② あなたは昨夜手紙を書きました。 You () a letter last night.

③ 彼は昨日その本を読みました。 He () the book yesterday.

④ 彼女は昨日日本に来ました。 She () to Japan yesterday.

⑤ 私たちは先週日本語を教えました。 We () Japanese last week.

Let's Try!

3

動詞の変化【過去形（不規則動詞）】

「不規則動詞の過去形」②

氏名 ()

使用する場面：時制に合わせた動詞を選択する場面

1 次の日本語に合う英文になるように () に適する語を答えましょう。

- ① あなたは何時に起きましたか？ 6時に起きました。

What time did you get up ? → I () up at six.

- ② クミはどこへ行ったの？ 大阪へ行きました。

Where did Kumi go ? → She () to Osaka.

- ③ あなたはどうやって学校に来たの？ 自転車で来ました。

How did you come to school ? → I () to school by bike.

- ④ ケンは今朝何を作りましたか？ サンドイッチを作りました。

What did Ken make this morning ? → He () sandwiches.

2 次の日本語に合う英文になるように () 内から適する語を選びなさい。

- ① ケンは昨日2冊本を読みました。

Ken (reads / read) two books yesterday.

- ② 彼女は去年英語を教えなかった。

She didn't (teaches / teach / taught) English last year.

- ③ ケンは昨夜宿題をしましたか。

Did Ken (do / does / did) his homework last night ?

3 次の英文を () 内の指示に従って書きかえましょう。

- ① I have lunch with Ken everyday. (下線部を yesterday に変えて)

- ② She wrote a letter yesterday. (疑問文に)

ここがポイント！

否定文 (didn't+ 動詞の原形)・疑問文 (Did + 主語 + 動詞の原形 ?)

No. 14 一般動詞過去形【否定文】「～ませんでした。」

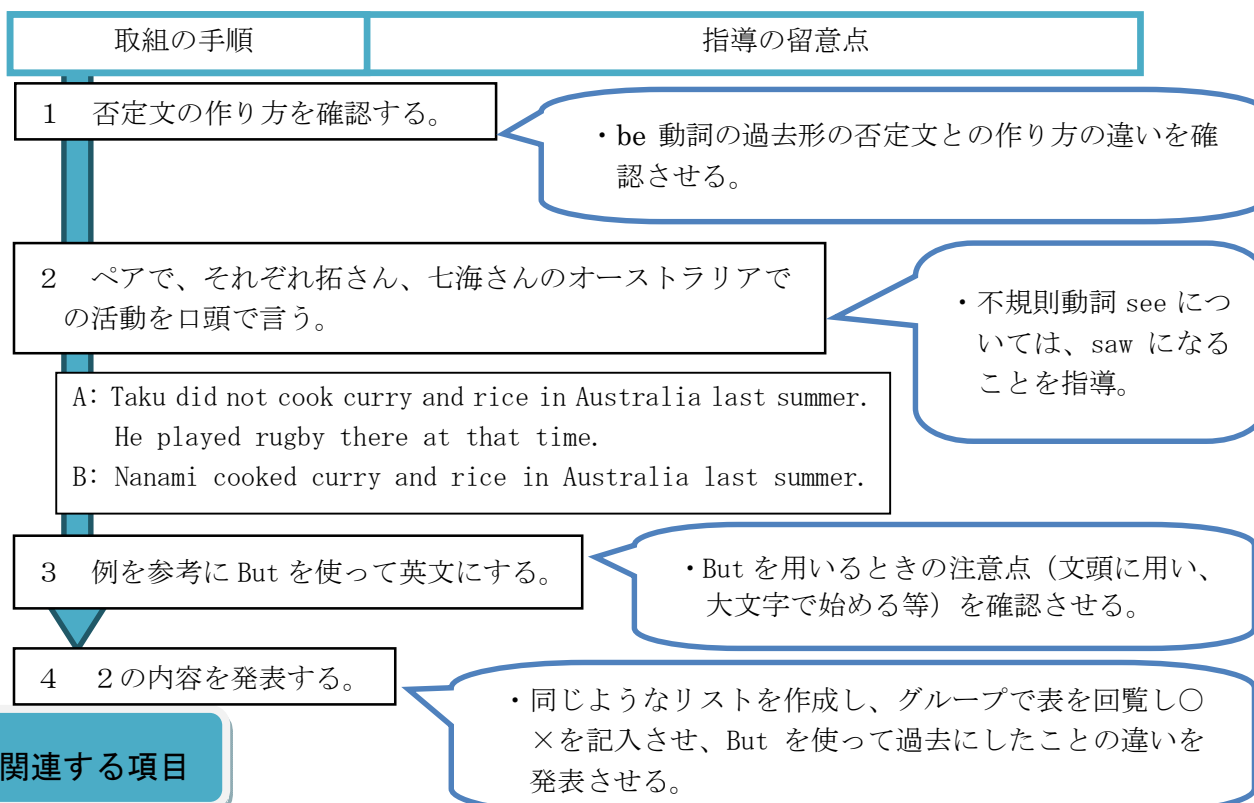
間違えやすいところから見るつまずきポイント

- 一般動詞と be 動詞の否定文の違いに混乱する。
誤答例：I wasn't study English yesterday.
- 否定文で、動詞に ed を付けたままにする。
誤答例：Taku did not played tennis yesterday.
- 短縮形 didn't のつづりやアポストロフィーの位置を間違える。
誤答例：I dedn't use a computer last night. Nana did'nt practice baseball last week.
- do judo など do を一般動詞として用いるときの否定文で助動詞の do に混乱する。
×I did not judo. ○ I did not do judo. →動詞 do と play の使い分け

指導のポイント

- ★ be 動詞と一般動詞の違いを押さえる。
- ★ 一般動詞過去形の否定文は、主語 + did not + 一般動詞の元の形～. になることを押さえる。

授業での活用例 【使用する場面】過去にしたことの違いを発表する場面



関連する項目

- ・「be 動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 3, 4, 5」
- ・「一般動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 6, 7, 8」
- ・「一般動詞【三人称単数現在形】【肯定文・否定文・疑問文】 No. 9, 10, 11」
- ・「一般動詞過去形【肯定文・疑問文】 No. 13, 15」

必ず覚えておこう

一般動詞の過去形否定文を使うとき

I **did not** play tennis yesterday.

(didn't)

「わたしは、昨日テニスをしませんでした。」

- ・「一般動詞」過去形の否定文では、動詞の前に **did not** を付けます。
- ・否定文では規則動詞も不規則動詞も、元の形を使います。
- ・主語が何であっても過去の否定文の形【 **did not** 】は同じです。
- ・**did not** の短縮形は **didn't** です。

- 1 次の英文は「～しました」という過去形を使った英文です。
(⇒には「～ませんでした」という英文にして書いてみましょう。)

① I played baseball yesterday.

⇒ I _____ baseball yesterday.

② You studied math yesterday.

⇒ You _____ math yesterday.

③ Kumi used her computer last week.

⇒ Kumi _____ her computer last week.

- 2 ①「自分が昨日しなかったこと」②「友だちが先週しなかったこと」を英文で書いてみましょう。
(何も思い浮かばない場合は、下の【 】内のヒント語句を参考にして書いてみましょう。)

① _____

② _____

※友だちの名前で英文をはじめてね

【ヒント : watch TV, play games, listen to music, go to *juku* 】

14

一般動詞過去形【否定文】

「～ませんでした。」②

氏名 ()

使用する場面：「したこと」「しなかったこと」の違いを表現する場面

拓さん、七海さんは、去年の夏オーストラリアへ行きました。それぞれがオーストラリアでしたことには○を、していないことには×をつけています。下の例文を参考に But を使って英文にしてみましょう。



	Taku	Nanami
1 cook curry and rice	×	○
2 play rugby	○	×
3 enjoy swimming	×	○
4 see koalas	○	×

◆ヒント

・ curry and rice
カレーライス

・ rugby
ラグビー

・ koala
コアラ

・ see [不規則動詞]
～を見る

→ saw [過去形]

1 Taku **did not** cook curry and rice last summer.

But Nanami **cooked** curry and rice.

2 Taku _____ last summer.

But Nanami _____.

3 Taku _____.

But _____.

4 _____.

ここがポイント！

◆過去に「しなかったこと」は、主語＋did not (didn't)＋動詞の元の形で表現します。

No. 15 一般動詞過去形【疑問文】「～しましたか？」

間違えやすいところから見るつまずきポイント

○疑問文で一般動詞を過去形にしたままにする。

誤答例：Did you played volleyball yesterday?

○No で答えるとき did の後 not をつけるのを忘れる。

A: Did you go shopping last Sunday? 誤答例：B: No, I did.

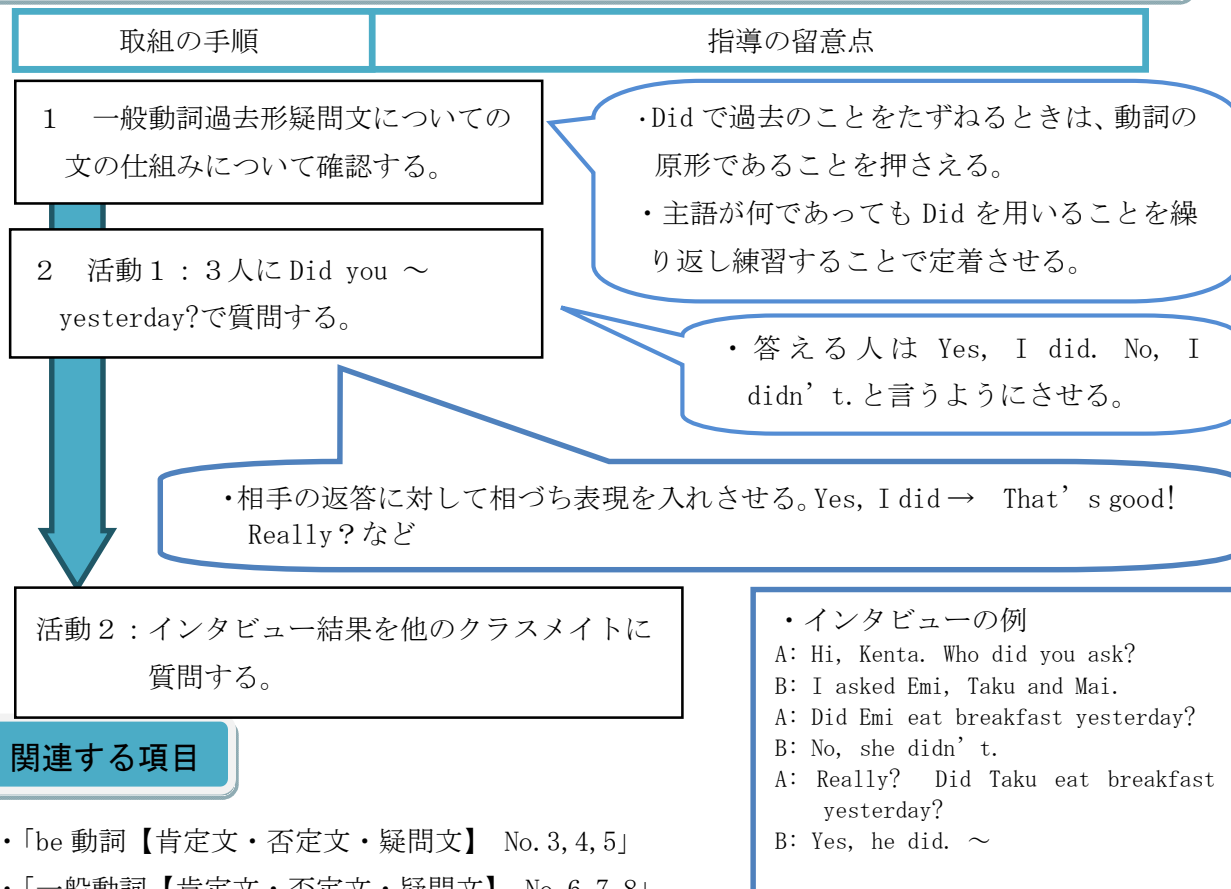
○be 動詞の過去形と混同する。

誤答例：Were you play soccer yesterday?

指導のポイント

- ★ be 動詞と一般動詞の違いを押さえる。
- ★ Did+主語+動詞（原形）～?となり、動詞の原形を使うことを定着させる。
- ★ Did は主語によって形が変わらないことを押さえる。

授業での活用例 【使用する場面】相手や仲間の昨日の出来事をたずねる場面



関連する項目

- ・「be 動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 3, 4, 5」
- ・「一般動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 6, 7, 8」
- ・「一般動詞【三人称単数現在形】【肯定文・否定文・疑問文】 No. 9, 10, 11」
- ・「一般動詞過去形【肯定文・否定文】 No. 13, 14」

必ず覚えておこう

You play soccer **everyday**.**Did** you **play** soccer **yesterday**?

「あなたは昨日サッカーをしましたか？」

Yes, I **did**.

「はい、しました。」

No, I **didn't** (did not).

「いいえ、していません。」

過去形の疑問文は、主語が何であっても **Did** で文をはじめます。

日本語に合うように下線部に適する語を入れましょう。その後、Aに同じ質問をしてみましょう。

※その答えは⇒に記入しましょう。

① A: あなたは、今朝、朝食を食べましたか。B: はい、食べました。

A: _____ you eat breakfast _____ morning?

B: Yes, I _____. ⇒ _____

② A: あなたは、昨晚、テレビを見ましたか。B: いいえ、見ていません。

A: _____ you watch TV _____ night?

B: No, _____. ⇒ _____

③ A: あなたは、今朝、担任の先生と話しましたか。B: はい、話しました。

A: _____ you talk with your homeroom teacher _____ morning?

B: Yes, I _____. ⇒ _____

15

一般動詞過去形【疑問文】

「～しましたか？」②

氏名 ()

使用する場面：過去にしたことについて相手にたずねる場面

1 会話文が成り立つように、下線部に適切な語を記入しましょう。

① A: _____ Ken visit Kyoto _____ year?

(ケンは、去年、京都を訪れましたか。)

B: No, _____. But he _____ Nara.

(いいえ、訪れませんでした。しかし、奈良を訪ねました。)

② A: _____ Nana _____ English this morning?

(ナナは、今朝、英語を勉強しましたか。)

B: Yes, _____. She _____ English.

(はい、しました。)

(彼女は、英語が好きです。)

2 下記の例を参考に「昨日あなたは～しましたか。」と3人にインタビューしてみましょう。

Yes, I did.の場合は○、No, I didn't.の場合は×を下の表に記入しましょう。また、その結果をクラスみんなで質問しあって確認してみましょう。

活動1 A : Did you eat breakfast yesterday?

B: Yes, I did. または、 No, I didn't.

活動2 A: Who did you ask?

B: I asked Takashi, Emi and Nana.

A: Did Takashi eat breakfast yesterday?

B: Yes, he did.



	例 Ken			
eat breakfast	○			
do your homework	×			
watch TV	○			
go to bed early	○			

No. 16 現在進行形「～しているところです。」

間違えやすいところから見るつまずきポイント

○今の状態や普段の習慣などを表す『現在形』と進行中の動作を表す『現在進行形』とが混乱する。

指導のポイント

- ★ ing 形を何度も口頭練習して、発音、つづりに慣れさせる。
- ★ 主語と be 動詞 ing 形の組み合わせを、口頭練習で習得させる。
- ★ 今、実際にしていることを英文にすることで、「～しているところです」という動作の最中であることを理解させる。

授業での活用例〔使用する場面〕 相手や仲間の昨日の出来事をたずねる場面

取組の手順	指導の留意点
1 ing 形を何度も口頭練習する。主語と be 動詞 ing 形の組み合わせを口頭練習する。	・教師が、進行中の動作を伴って ing 形をわかりやすく認識させる。 ・生徒にも動作を伴わせながら ing 形を何度も口頭練習させながら習得させる。
2 今、自分が何をしているところなのか言ってみる。	・できるだけたくさん考えて、英語で表現させる。 ・いくつ表現できたか確認する。ユニークな答えをした生徒の例を活用して、He/ She is -ing now. の練習を行い定着を図る。 ・ジェスチャーを伴って楽しい雰囲気の中で、-ing 形になれさせる。
3 ペアでジェスチャーのあてっこゲームをする。どんどん相手を変えて問答する。	・ジェスチャーに集中させることで、自然とどんどん ing 形を口にする機会を増やし、ゲーム感覚で楽しく ing 形になれさせる。

関連する項目

- ・「be 動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 3, 4, 5」
- ・「一般動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 6, 7, 8」
- ・「一般動詞【三人称単数現在形】【肯定文・否定文・疑問文】 No. 9, 10, 11」
- ・「Let' s Try! 4 動詞の変化【現在分詞形】」

必ず覚えておこう

- ① I study English every day 「私は毎日を勉強します。」
 ② I **am** study**ing** English now. 「私は今、英語を勉強**しているところです。**」

「～しているところです」と動作の最中を表す言い方は、
be 動詞 (am, are, is) + 動詞-ing 形 で表します。

「～しているところです」と動作の最中を表す**動詞の-ing** 形を口に出して、
 何度も言ってみよう。

動詞の-ing 形の作り方

	原型	-ing 形		原型	-ing 形
1. そのまま	go	going	3. 語尾の子音 字を重ねて	get	getting
	study	studying		put	putting
2. e をとって	come	coming		Run	running
	make	making		Sit	sitting
	write	writing		swim	swimming

※動詞の-ing 形の作り方は3パターン

1. そのまま 2. 語尾の e をとって 3. 語尾の子音字を重ねて

自分が「今、何をしているところ」なのか動作を伴って言ってみよう。
 できるだけたくさん考えて、英語で表現してみよう。

※には、友だちのことを書いてみましょう。

T: What are you doing now? 今あなたは何をしていますか?

S: I **am** speak**ing** English now. I **am** _____ now.

I **am** study**ing** English now. I **am** _____ now.

I **am** _____ now. I **am** _____ now.

※ _____ **is** _____ now. _____ **is** _____ now.

使用する場面：今、していることを相手に説明する場面

ペアで、ジェスチャーあてっこゲームをしよう。

A: Are you sleeping now ?

B: Yes, I am.

No, I'm not. I'm not sleeping now.

当たったら交代する。

→ 当たるまでたずねる。

ジェスチャーあてっこゲーム：ルール説明

① じゃんけんで勝った方が A: で先にジェスチャーをする。

負けた方が B: で質問して当てる。

② ジェスチャーが当たったら交代する。

制限時間内に 1 回目の質問で 1 発で相手よりたくさん当てた方が勝ち。

使用する語句

- ①sleep (眠る) ②drink (飲む) ③cook (料理する) ④eat (食べる)
 ⑤run (走る) ⑥swim (泳ぐ) ⑦ski (スキーする) ⑧skate (スケートする)
 ⑨write (書く) ⑩study (勉強する) ⑪read a book (本を読む)
 ⑫sing a song (歌を歌う) ⑬watch TV (テレビを見る)
 ⑭clean our room (部屋をそうじする) ⑮take a bath (風呂に入る)
 ⑯listen to music (音楽を聴く)
 ⑰play tennis (テニスをする)

[baseball (野球) , soccer (サッカー) , table tennis (卓球) ,
 basketball (バスケットボール) , volleyball (バレーボール)]

⑱play the piano (ピアノを弾く)

[drums (ドラム) violin (バイオリン) guitar (ギター) flute (フルート)]

一発で当てた回数

自分

相手

回

回

ここがポイント！

- ・現在進行形の疑問文は、(am, are, is) を主語の前に出します。
 答えるときも、(am, are, is) を使います。
- ・「今～していません。」と否定する時は、(am, are, is) のあとに not を入れます。

Let's Try!

4

動詞の変化【現在分詞形】

「ing の作り方」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

動詞の ing 形の作り方 (動詞によって異なる)

① 基本の作り方 (動詞の最後に ing を付ける)

play→ playing, watch→ watching, talk→ talking, study→ studying 等

② e をとって ing を付ける動詞 (-e で終わる動詞)

write→ writing, have→ having, make→ making, use→ using 等

③ 語尾を重ねて ing を付ける動詞

run→ running, swim→ swimming, get→ getting, stop→ stopping 等

1 次の動詞を ing 形にしましょう。

① read

(読む) _____

② make

(作る) _____

③ sit

(座る) _____

④ drive

(運転する) _____

⑤ run

(走る) _____

⑥ study

(勉強する) _____

⑦ listen

(聞く) _____

⑧ swim

(泳ぐ) _____

2 次の日本語に合う英文になるように () 内に適する語を答えてみましょう。

① 私は今音楽を聴いています。 I am () to music now.

② クミはピアノを弾いています。 Kumi is () the piano.

③ 彼は公園で走っています。 He is () in the park.

④ ケンは今手紙を書いています。 Ken is () a letter now.

気を付けよう！

動詞の ing 形の作り方には下記の3パターンあります。

【①そのまま ing】、【②最後の e をとって ing】、【③1字重ねて ing】

Let's Try!

4

動詞の変化【現在分詞形】

「ing の作り方」②

氏名 ()

使用する場面：意味に合わせた動詞を選択する場面

1 次の日本語に合う英文になるように () 内から適する語を選びなさい。

① 私は今英語を勉強しています。

I (am studying / study) English now.

② 私は毎日英語を勉強します。

I (am studying / study) English every day.

③ クミは今テレビを見ています。

Kumi (is watching / watches) TV now.

④ クミは毎晩テレビを見ます。

Kumi (is watching / watches) TV every night.

⑤ 彼は毎日野球をします。

He (is playing / plays) baseball every day.

⑥ 彼は今野球をしています。

He (is playing / plays) baseball now.

⑦ 東京では雨が降っています。

It is (rain / rains / raining) in Tokyo.

⑧ ケンジは今何をしていますか。

What is Kenji (do / does / doing) now ?

2 次の日本語を英文になおしましょう。

① 彼は今英語を勉強しています。

② あなたは今何をしていますか。

ここがポイント！

現在進行形「(今) ～しています」＝ [be 動詞＋～ing] で表します。

No. 17 名詞「数えられる名詞、数えられない名詞」

間違えやすいところから見るつまずきポイント

- 可算・不可算名詞、単数形・複数形等、数に関する考え方が日本語と異なるため理解しにくい。
- 表現する場合、名詞を複数形にするのを忘れる。
×I have two brother. ○I have two brothers.
- 理解する場合、語形が変化するので、単数形とは別の単語として認識してしまう。
- 一般動詞の「三単現のs」と混同する。

指導のポイント

- ★ 口慣らしを何度もして、複数形に慣れさせる。
- ★ 単語の語尾によって発音が変わることを意識させる。
- ★ 名詞は、数えられるものと数えられないものがあることを押さえる。

授業での活用例〔使用する場面〕自分の持っているものについて相手に伝える場面

取組の手順	指導の留意点
1 教師やALTの持ち物についての話を聞く。(色鉛筆、ペン、CD、本、ぬいぐるみなど)	・単数形と複数形の違いをきちんと確認(スペル・発音)し、その違いを聞き取らせる。
I have many colored pencils in my hands. How many colored pencils do I have? I have 35 colored pencils. I have 7 red pencils, 6 blue pencils, 5 yellow pencils, 4 brown pencils, 4 orange pencils, 3 green pencils, 2 white pencils, 2 black pencils, , a gray pencil and a purple	・数字を英語でどう発音するかについて復習した上で、何色を何本持っているか、数に注意して聞かせる。
2 筆箱や机の中に入っている筆記用具や本の数をペアであてさせる。	・ペアによる発表を行い、複数形の発音について正しく発音できているか確認する。
3 自分の持っている物について、複数形を使って、英文で紹介する文を書く。	

関連する項目

- ・「冠詞【a, an, the】No. 19」 ・「be 動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 3, 4, 5」
- ・「一般動詞【肯定文・否定文・疑問文】 No. 6, 7, 8」 ・「疑問詞【How can I〜?】 No. 29」

必ず覚えておこう

- 人や事物などを表す語を「名詞」と言います。
- 「名詞」には、数えられるものと、数えられないものがあります。
数えられる名詞の例：pen, book, bag, desk, chair, apple, orange, dog, cat
数えられない名詞の例：English, soccer, baseball, music, tea, juice, milk
- 数えられる名詞には、1つのものを表す「単数形」と2つ以上のものを表す「複数形」があります。

【名詞の複数形の書き方と発音】

	単数形		複数形	発音
① s を付ける (基本形)	pen	→	pen <u>s</u>	[z]
(k, p の音で終わるとき)	book	→	book <u>s</u>	[s]
(d の音で終わるとき)	bird	→	bird <u>s</u>	[dz]
(t の音で終わるとき)	cat	→	cat <u>s</u>	[ts]
(s, z の音で終わるとき)	house	→	house <u>s</u>	[is]
② es を付ける	box	→	box <u>es</u>	[is]
(s, x, z, ch, sh, (o) で終わるとき)				
③ y を i に変えて es を付ける	candy	→	cand <u>ies</u>	[is]
(y のすぐ前 a, e, i, o, u がないとき)				

- 人の名前（人名）や場所の名前（地名）のことを「固有名詞」と言います。
- 固有名詞は、必ず最初の文字を大文字で書きます。 例：Jupan, Ken, Habatan

1 次の名詞を複数形に変えて書きましょう。

- | | | |
|---------------|----------------|---------------|
| ① apple _____ | ② cup _____ | ③ dish _____ |
| ④ dish _____ | ⑤ hand _____ | ⑥ boy _____ |
| ⑦ hat _____ | ⑧ family _____ | ⑨ class _____ |
| ⑩ book _____ | ⑪ box _____ | ⑫ dog _____ |

使用する場面：身近なものの英語で表す場面

1 筆箱や机の中に入っているものを複数形にしてみよう。

①pencil _____ ②pen _____ ③eraser _____

④textbook _____ ⑤notebook _____

2 友だちの筆箱の中に入っているものについてたずね、その答えを記入しよう。

①鉛筆	本	②ペン	本	③消しゴム	個
④教科書	冊	⑤ノート	冊		

3 自分の筆箱に入っているものの数を友だちに教えてあげよう。

4 下線部が合っている場合は、()に○を、間違っている場合には、下線部の語句を正しく書き直しましょう。

I am ①taro. I like ②baseballs. I have two ③brother.

①() ②() ③()

My brothers and I have three ④balls, three ⑤glove* and one ⑥bats. ④() ⑤() ⑥()

We are baseball ⑦fan. It is fun.

⑦()

*glove:グローブ



5 複数形を使って、自分が持っているものや家にあるものについて書きましょう。

I have _____.

ここがポイント！

1つも持っていないときは、I don't have any ~s(複数形). と言います。

No. 18 代名詞（主格、所有格、目的格）「～は、～の、～を、に」

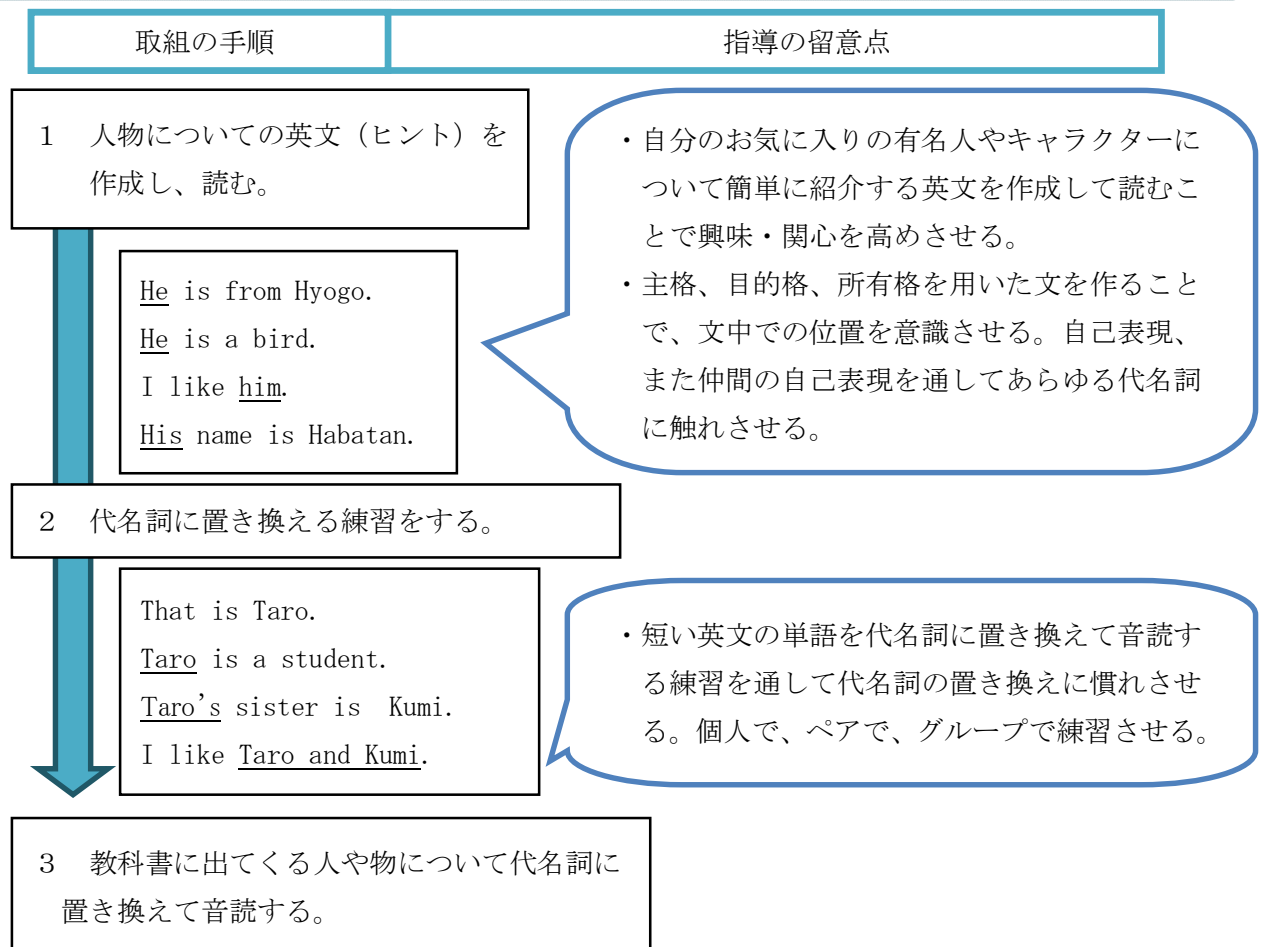
間違えやすいところから見るつまづきポイント

- 人称代名詞を完全に覚えていないために混乱する。
- 英語の語順に慣れていない場合は、目的語の意味や使い方に習熟していないため目的格の代名詞の位置に混乱する。

指導のポイント

- ★ 人称代名詞の変化を完全に覚えるよう繰り返し押さえる。
- ★ 一人称・二人称・三人称の区別と単数・複数の区別を繰り返し丁寧に教える。
- ★ 一般動詞の目的として使うのが目的語であり、人称代名詞の目的格も一般動詞の後に使用するよう語順やつづりに注意する。
- ★ 主格の代名詞の単数、複数によって be 動詞の形が変わることを意識させる。
- ★ with them や for me などの前置詞とともに用いる用法も段階を追って指導していく。

授業での活用例〔使用する場面〕お気に入りの人物についてクイズを出し合う場面



関連する項目

- ・「名詞 No. 17」

必ず覚えておこう

覚えているかな

女性
That is Aya. **She** is my teacher. 「あちらはアヤです。彼女は私の先生です。」

男性
That is Ken. **He** is my friend. 「あちらはケンです。彼は私の友達です。」

This is my brother. I like **him**.

(こちらは私の兄です。私は彼が好きです。)

That is my book. I like **it**.

(あれは私の本です。私はそれが好きです。)

①英語では何度も名前を繰り返さず、2度目からは名前の代わりのものを使います。

そのように人を表す名詞の代わりのものを人称代名詞といいます。

②人称代名詞には、主格「～は」、所有格「～の」、目的格「～を、に」があります。

	単数				複数			
	主格 ～は	所有格 ～の	目的格 ～を、に	～のもの	主格 ～は	所有格 ～の	目的格 ～を、に	～のもの
私	I	my	me	mine	we	our	us	ours
あなた	you	your	you	yours	you	your	you	yours
彼	he	his	him	his	they	their	them	theirs
彼女	she	Her	her	hers				
それ	it	its	it					

1 次の各文の () 内から正しいものを選んでみよう。※ () 内の日本語を参考。

- ①(I / My / Me) have a dog (私は) ②This is (I / my / me) book. (私の)
 ③(You / Your / Yours) study English. (あなたは) ④That book is (you / your / yours). (あなたのもの)
 ⑤(He / His / Him) plays soccer. (彼は) ⑥I like (he / his / him). (彼の)
 ⑦(She / her / hers) is reading a book. (彼女は) ⑧(She / Her / Hers) dog is very cute. (彼女の)
 ⑨I play (it / its) every day. (それを) ⑩(It / Its) color is blue. (その)
 ⑪(We / Our / Us) live in Hyogo. (私たちは) ⑫(We / Our / Us) school is big. (私たちの)
 ⑬(They / Their / Them) go to school. (彼らは) ⑭These are (they / their / them) books. (彼らの)
 ⑮I like these songs. (They / Their / Them) are good. (それらは)

代名詞【主格・所有格・目的格】

「～は、～の、～を、に」②

氏名 ()

使用する場面：お気に入りの人物についてたずねる場面

★お気に入りの人物について日本語でまとめてみよう。

- ①その人物の特徴の出身地は? ... ()
 ②その人物の特徴その1 ... ()
 ③その人物の特徴その2 ... ()
 ④あなたが紹介する人物の名前は ... ()

★お気に入りの人物について英語でクイズを作ろう。

似顔絵

どちらかに○をつけよう

(He / She) is from _____.
 (He / She) is _____.
 (He / She) is _____.
 I like (him / her).
 (His / Her) name is _____.

★ 次の空らんに入る語を下の □ から選び、表を完成させよう。1語を2回使ってもよい。

	単数				複数			
	主格 ～は	所有格 ～の	目的格 ～を、に	～のもの	主格 ～は	所有格 ～の	目的格 ～を、に	～のもの
私	I	my	(1) _____ 私を	mine	we	our	(6) _____ 私達を	ours
あなた	you	your	you	yours	you	your	you	yours
彼	he	his	(2) _____ 彼を	his	they	(7) _____ 彼らの、彼女らの、それらの	(8) _____ 彼らを、彼女らを、それらを	theirs
彼女	she	(4) _____ 彼女の	(3) _____ 彼女を	hers				
それ	it	(5) _____ その	it					

our you them me her him it

★次の各文の () 内から正しいものを選んでみよう。

※完成する英文全体の意味を想像しながら考えよう。

- ①This book is (I / my / me / mine). ②He loves (I / my / me).
 ③I like (he / his / him) very much. ④She is (he / his / him) sister.
 ⑤(She / Her / Hers) lives in China. ⑥This passport is (she / her / hers).
 ⑦(We / Our / Us) teacher is very kind. ⑧(We / Our / Us) like (we / our / us) teacher.

ここがポイント!

代名詞に置き換えるときは、もとの言葉が男性なのか、女性なのか、
 1人なのか、複数なのか、人なのか、ものや動物なのか、よく考えて置き換えましょう。

No. 19 冠詞 (a, an, the) 「冠詞の種類と用法」

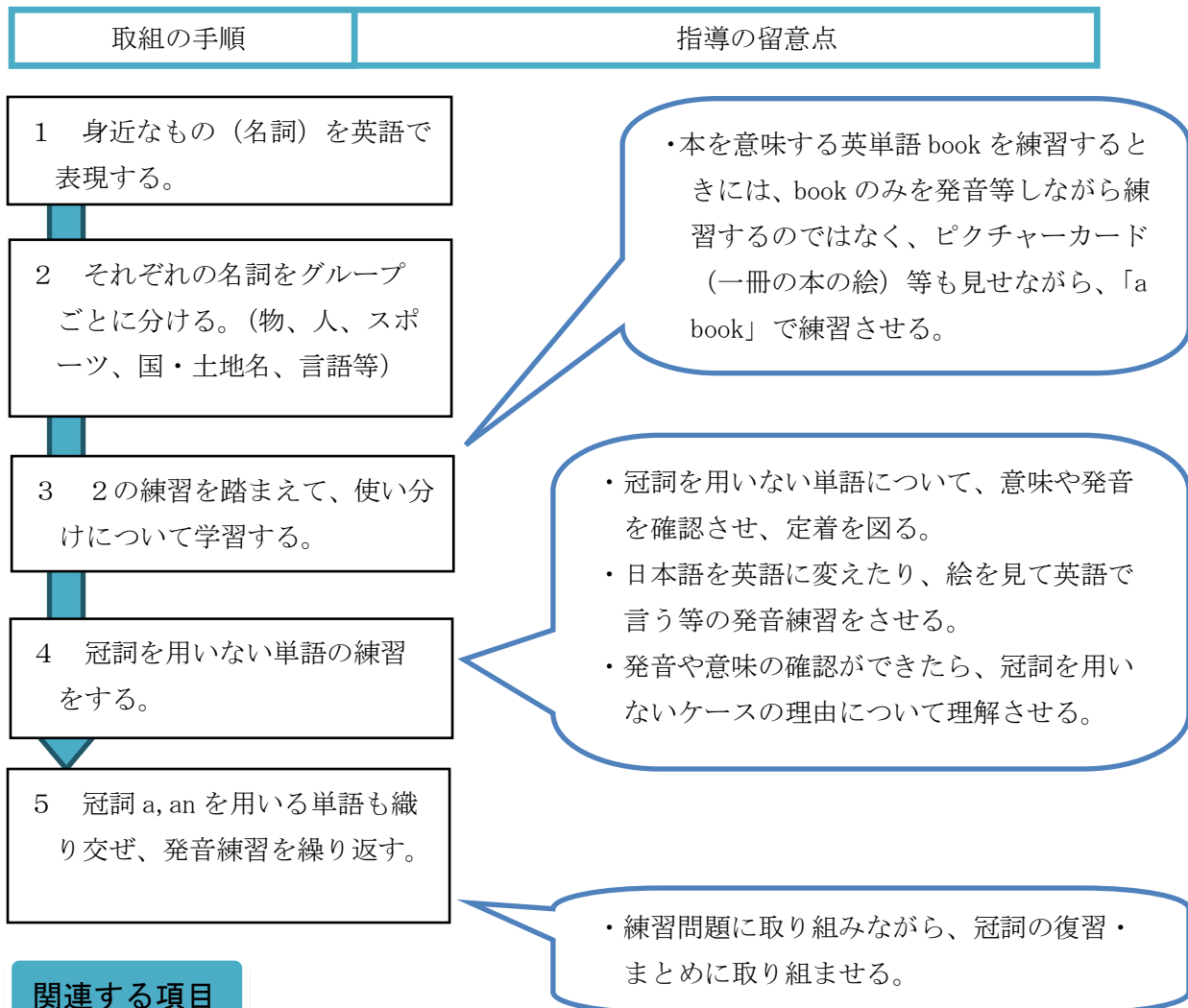
間違えやすいところから見るつまずきポイント

- a, an, the をいつ使えば良いのかわからない。
- a, an, the の使い分けが分からない。

指導のポイント

- ★ 冠詞 a, an, the の付け方を認識させ、練習し定着させる。
- ★ 冠詞 a, an, the の付け方が理解できたら、冠詞が付かないケースについて指導し、練習する。

授業での活用例〔使用する場面〕身近なものを英語で表現する場面



関連する項目

- ・「英文を書こう【英文を書くルール】 No. 2」
- ・「名詞 No. 17」
- ・「代名詞【主格・所有格・目的格】 No. 18」
- ・「形容詞・副詞 No. 32」

必ず覚えておこう

a, an の付け方

- ・数えられる名詞が「1つある」、「1人いる（人の名前には付きません）」場合、**a, an** を付けます。
- ・名詞の発音が母音で始まる場合のみ **an** になり、それ以外は **a** になります。

○**a** が付くもの（例）book → **a book**

○**an** を付くもの（例）apple → **an apple**

※母音で始まっている単語でも、発音が子音なら **a** を付けます。

（例）uniform → **a uniform**

※母音から始まらなくても、発音が母音なら **an** を付けます。

（例）hour → **an hour**

○**the** の使い方(**a, an** と **the**)の違い

- ・**Can I use the pen?**（そのペンを使ってもいいですか？）

※「このペンが使いたい」とはっきりしている場合。

- ・**Can I use a pen?**（ペンを一本使ってもいいですか？）

※別にどのペンかはかまわないので、一本使いたい場合。

1 次の () a, an を入れましょう。

- | | | |
|----------------|----------------|-------------|
| ① () bag | ② () animal | ③ () desk |
| ④ () answer | ⑤ () eraser | ⑥ () house |
| ⑦ () orange | ⑧ () notebook | ⑨ () book |
| ⑩ () umbrella | ⑪ () island | ⑫ () car |

2 次の日本語に合う英文になるように () 内に **a, an, the** のどれかを入れましょう。

- ① I have () American football. This is () football.

(私はアメリカンフットボールを一個持っています。これがそのボールです。)

- ② He has () car. () car is red.

(私は車を一台持っています。その車は赤です。)

使用する場面：冠詞を用いない名詞を使った英文を表現する場面

- 1 () 内に **a** か **an** を書きましょう。ただし両方入らない場合は×を書きましょう。
- (1) () **year** (2) () **dog** (3) () **dictionary**
 (4) () **island** (5) () **Bob** (6) () **apple**
 (7) () **boys** (8) () **egg** (9) () **soccer**
 (10) () **hour** (11) () **baseball** (12) () **music**
 (13) () **English** (14) () **milk**
 (15) () **big orange** (16) () **your notebook**
 (17) () **my house** (18) () **old book**
 (19) () **your teacher** (20) () **interesting story**
 (21) **I am** () **student.** (22) **We are** () **good friends.**
 (23) **You are** () **teacher.** (24) **You are** () **English teacher.**
 (25) **She is** () **doctor.** (26) **They are** () **classmates.**
 (27) **He is** () **Ken.** (28) **He is** () **my brother.**
- 2 次の日本語に合う英文になるように () 内に **a, an, the** のどれかを入れましょう。
- (1) **I eat** () **apple every morning. It is very sweet.**
 (私は毎朝リンゴを1個食べます。そのリンゴはとても甘いです。)
- (2) **Kumiko has** () **dog and** () **cat. () dog is very big.**
 (久美子は犬とねこを飼っています。その犬はとても大きいです。)

ここがポイント！

a/an, the は、次のような名詞と結びつきます。

		a / an	the	冠詞なし
数えられる名詞	単数形	a desk	the desk	×
		an apple	the apple	×
数えられない名詞	複数形	×	the tables	tables
		×	the water	water

① **a/an** は、「1つの」という意味で、「数えられる名詞」の単数形と結びつき、複数形や数えられない名詞とは結びつきません。**the** は、話の中にすでに出てきているもの・こと・人、あるいは、もともと1つしかないもの・こと・人などと結びつきます。

- ・ **I want to buy a desk in this shop. The desk in the corner is my favorite.**
- ・ **We drink water from Rokko Mountain. The water is very delicious.**

② 数えられない名詞とは、水、自然、情報など、どこからどこまで区切ったら良いのかははっきりしない名詞のことです。

No. 20 疑問詞 (Who is ~ ?) 「～はだれですか？」

間違いやすいところから見るつまずきポイント

○主格・補語をたずねる Who の使い分けに混乱する。

Who is this boy? He is Ken. と答えるのか Ken is. と答えるのかが分からない。

Who is your favorite singer? ×She is Nishino Kana.

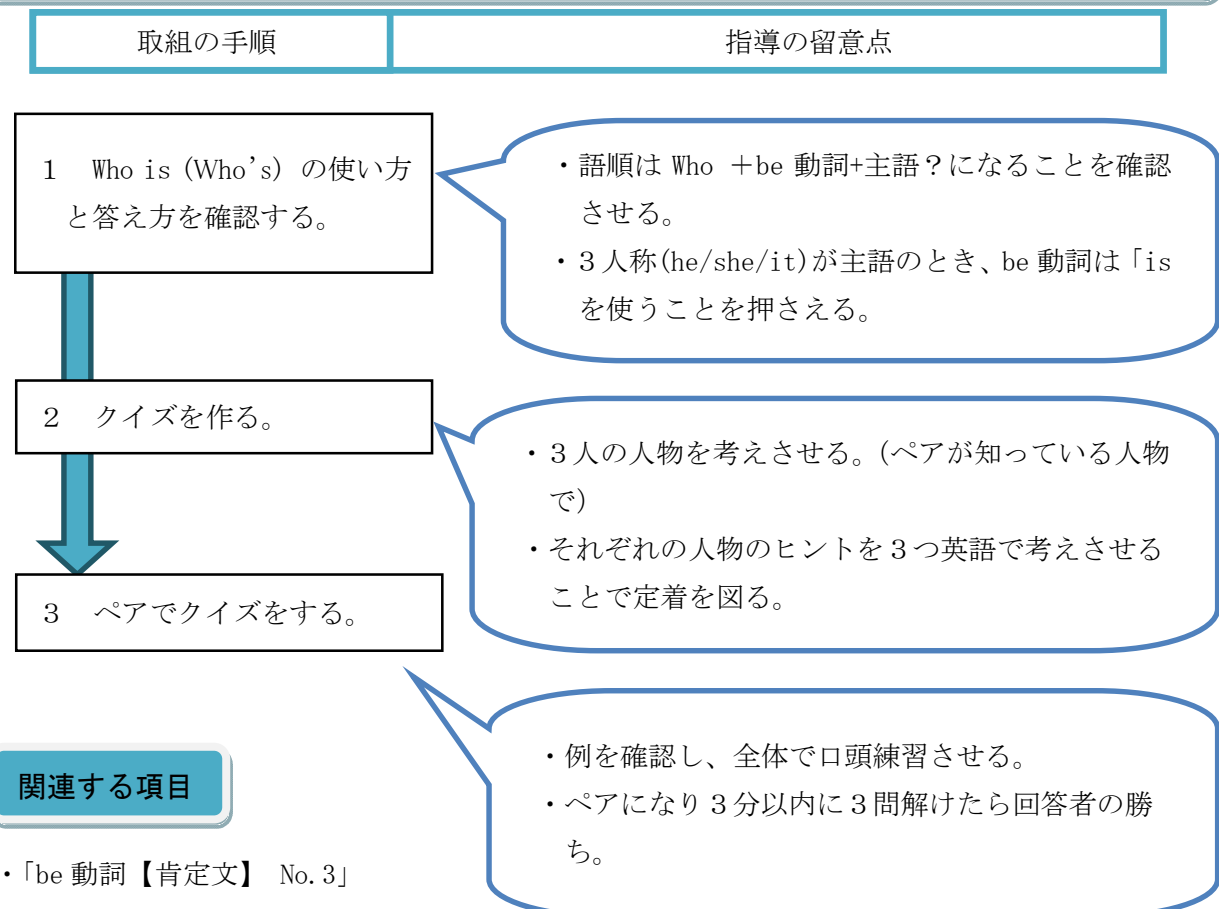
× Your favorite singer is Nishino Kana. (代名詞の使い方)

指導のポイント

- ★ 使用場面を考慮して、できるだけ自然な会話形式になるように練習させる。
- ★ 「だれですか？」とたずねられて、知らない場合の返答方法についても提示する。

I'm sorry I don't know. I'm afraid I don't know. I'm not sure. I have no idea.

授業での活用例 【使用する場面】相手の知っている人物についてたずねる場面



必ず覚えておこう

Who is this boy? - That is my brother Ken.

「この男の子はだれですか。 — [そちらは] 私の兄[弟]のケンです。」

- ・ this boy で聞かれたときに答えるときは、性別関係なく **That is ～**. 【**That's ～**.】と答えましょう。

- ・ 「～はだれですか」とたずねるときは、**who** 「だれ」で文をはじめます。
- ・ **Who is ○○?** 【**Who's ○○?**】とたずねましょう。

アメリカから来た友人が写真を持っています。その写真には3人の人物が写っています。その写真に写っている人物について、下記のようにたずねたとします。日本語を参考に英文にしましょう。

A:あなた B: アメリカから来た友人

A: この男の人はだれですか。 A: _____ is _____ man ?

B: それは、私の父のボブだよ。 B: That is _____ Bob.

A: この女の子はだれですか。 A: _____

B: それは、私の妹のメアリーだよ。
※Mary B: _____

A: これは、だれですか。 A: _____

B: 彼女は、私の先生のエレンです。
※Ellen B: _____

気をつけよう！

- ① 「～は誰ですか」とたずねる Who を使うときは、Who + be 動詞 + 主語？の語順になります。
- ② 3人称(he/she/it)が主語のとき、be 動詞は is を使います。

疑問詞【Who is ~?】

「～はだれですか？」②

氏名 ()

使用する場面：その人物が「だれ」なのか「どういう人」であるかたずねる場合

1 日本語にあわせて、_____に適切な語を入れましょう。

① A: ホールさんは、だれのことですか。 B: 彼女は、英語の先生です。

A : _____ is Ms Hall? B: _____ is an English teacher.

② A: この女の子は、だれですか。 B: そちらは、私の妹のエレンです。

A : _____ this girl? B: _____ my sister Ellen.

2 「この人はだれでしょうか」という人物クイズを作ってみましょう。英語のキーワードを3つ考え、下の例を参考に記しましょう。できたらペアでクイズをお互い出しあってみましょう。

A: Who's this *man? Here is a key word. England.B: That's Beckham !A: No. Here is the next key word. Magic.B: That's Harry Potter!A: Yes! It's Harry Potter. *男性は man 女性は woman を使いましょう。

	「～はだれですか？」	ヒント 1	ヒント 2	ヒント 3
例	Who is this <u>man</u> ?	England	magic	chocolate frogs
1	_____	_____	_____	_____
2	_____	_____	_____	_____
3	_____	_____	_____	_____

ここがポイント！

Who is ~? = Who's ~? be 動詞の存在を忘れないようにしましょう。

No. 2 1 疑問詞 (What is～?) 「～は何ですか？」

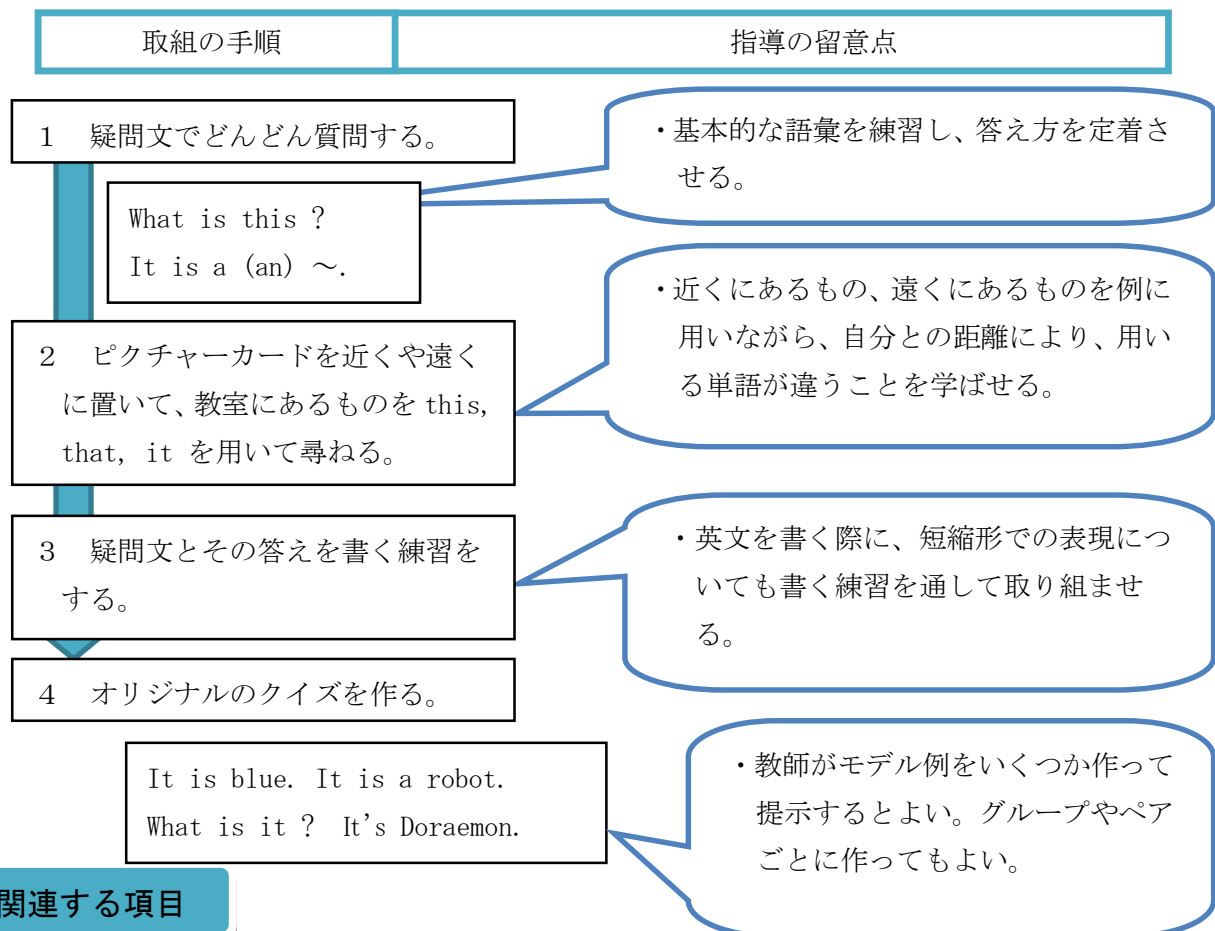
間違えやすいところから見るつまずきポイント

- What の後ろに疑問文がくることへの理解不足から語順を誤る。
- It's ～. の答え方に慣れず単語のみで答えてしまう。
- this, that, it の距離感の混同や短縮形の練習不足により誤る。
- 単語の語彙不足のため答えることができない。

指導のポイント

- ★ be 動詞の疑問文の作り方を復習する。
- ★ It's ～. の答え方を繰り返し練習し定着させる。
- ★ What is this? What is that? What is it? の疑問文を用いて実際の場面を設定したパターンプラクティスを行い定着させる。
- ★ this, that, it の3つの違いに気づかせ、理解させる。

授業での活用例〔使用する場面〕知らないものについてたずねる場面



関連する項目

- ・「疑問詞【Who is ～?】 No.20」

必ず覚えておくこと

覚えているかな

Is that **a bird** ? 「あれは、鳥ですか。」What ^{なに} is that ? 「あれは何ですか。」

It's a bird. 「それは鳥です。」

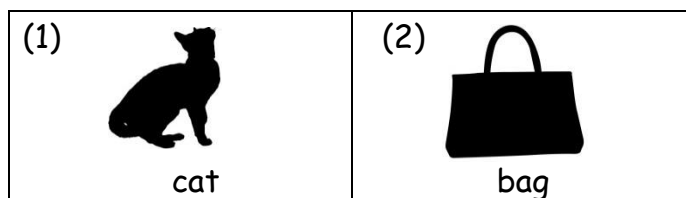
「何を」「何が」
は What～? で
たずねよう！

動物やものについて何かをたずねたいときは **What** を最初に置きます。
What の後ろには疑問文が続きます。What is の短縮形は **What's** です。

1 日本語に合う英文になるように、_____に適する語を書いてみよう。

① これは何ですか。 _____ is this ?

② これは何ですか。 _____ this ?

What で始まる文は
下げ調子で読むよ2 絵を見て「これは（あれは）何ですか。」「それは～です。」という英文になるように、
_____に適切な語を1語ずつ書いてみよう。

① _____ is this ? _____ a cat.

② _____ is that ? It's _____ .

気を付けよう！

「What～?」で聞かれたら、Yes や No で答えるのではなく It is (It's) ～. を
 使って動物やものがはっきりわかるように答えます。

21

疑問詞【What is ~?】

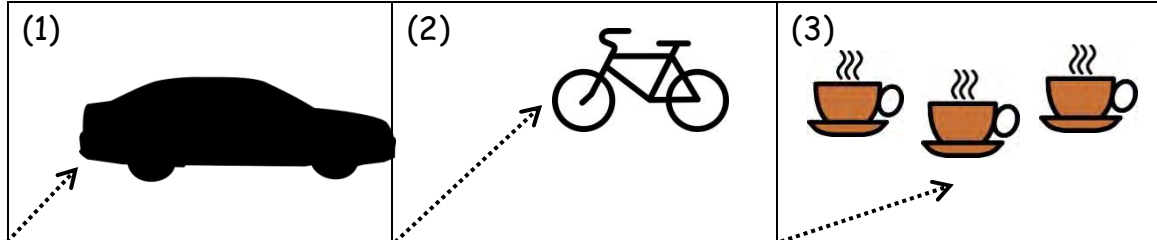
「～は何ですか？」②

氏名 ()

使用する場面：何かわからないものについてたずねる場面



1 次の絵に合うような会話になるように _____ に適する語を書いてみよう。



① 質問： _____
何 ですか これは ？

答え： It is a car.

② 質問： _____
何 ですか あれは ？

答え： It is a bike

③ 質問： _____
何 ですか それらは ？

答え： _____
それらは です カップ 。

2 次のクイズ(Quiz)に英語で答えよう。

Quiz ① It is red. It is round. It is a fruit. What is it?

答え： _____

ヒント：round (丸い)
fruit (フルーツ)

Quiz ② It is white and black. It is from China. It is an animal.
What is it?

答え： _____

ヒント：white (白い)

ここがポイント！

What is ~? 「～は何ですか。」と質問された場合は、It is ~.で答えます。
※複数なら What are ~? They are ~.となります。

No. 22 疑問詞 (What do you～?) 「あなたは何を～しますか？」

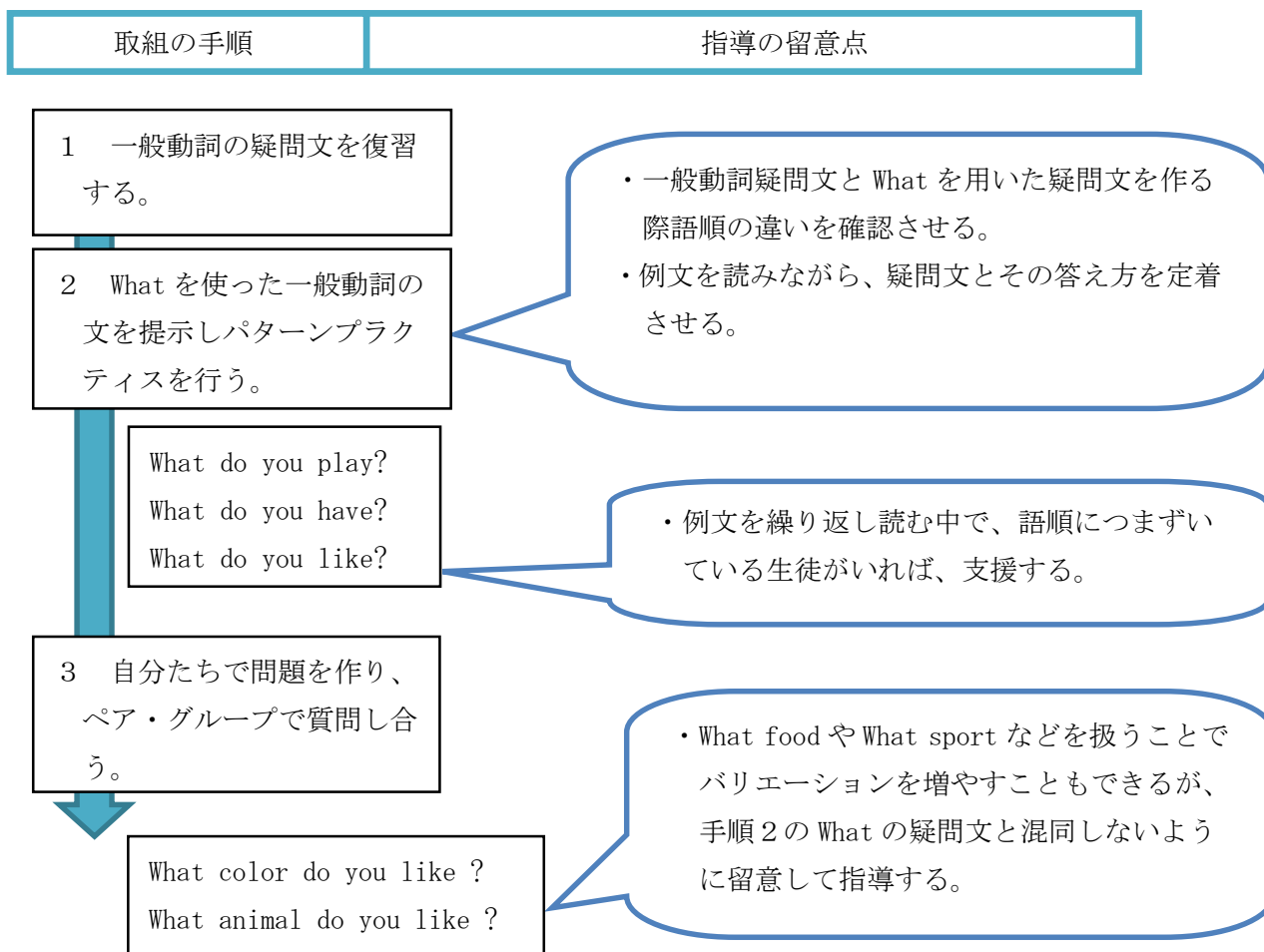
間違いやすいところから見るつまずきポイント

- What の後ろに疑問文がくることへの理解不足から語順を誤る。
 - What is it?の文と混同しIt's ～.で答えてしまう。
 - 「何の○○が好きですか」といった文の何の○○の部分の語順の定着不足により誤る。
- 誤答例 What do you like animal?

指導のポイント

- ★ 一般動詞の疑問文の作り方を復習する。
- ★ 主語と動詞を使った答え方を繰り返し練習し定着させる。
- ★ What ○○ ～? 「何の○○が好きですか。」といった文の語順も意識させる。

授業での活用例 【使用する場面】身近な人の好きな物をたずねる場面。



関連する項目

- ・「疑問詞【Who is ～ ?】 No.20」

必ず覚えておこう

覚えているかな

Do you have **a ball** ? 「あなたは、ボールを持っていますか。」**What** do you have? 「あなたは**何**を持っていますか。」**I have a ball.** 「私はボールを持っています。」

「何が」「何を」とたずねるときには、**What** を文の最初に置きます。**What** のあとは疑問文を続けます。**Yes** や **No** ではなく具体的に答えます。

日本語に合う英文になるように、_____に適する語を書いてみよう。

A: あなたは手に何を持っていますか。

_____ do _____ have in your hand?

B: 私は手にボールを持っています。

_____ a ball in my hand.

A: あなたは何が好きですか。

_____ do you _____ ?

B: 私は音楽が好きです。

_____ music.

A: あなたは何を持っていますか。

_____ do you _____ ?

B: 私は5枚 CD を持っています。

_____ five CDs.



疑問詞【What do you ～?】

「あなたは何を～しますか？」②

氏名 ()

使用する場面：好きなものについてたずねる場面

※好きな色や動物をたずねるときは、What の後ろに color や animal を書きます。

1 次の質問に英語で答えてみよう。

①What color do you like?

あなたの答え：I like

ヒント：red pink yellow green
blue black white

②What animal do you like?

あなたの答え：I like

ヒント：dogs cats monkeys koalas
pandas hamsters lions

2 友達に上の①②について質問してみよう。結果は下の表に「正」の字で書いてみよう。

何人にインタビューできるかな？

①What color do you like?

赤	ピンク	黄色	緑	青	黒	白

②What animal do you like?

犬	猫	サル	コアラ	パンダ	ハムスター	ライオン

3 はばタンの答えに合うように質問するとき、.....入る単語を入れてみよう。

① 質問： do you have in your bag?

はばタンの答え：



I have a ball in my bag.

② 質問： do you?

はばタンの答え：

I play tennis every day.
I like it very much.

ここがポイント！

What do you ～? 「あなたは、何を～しますか。」と質問された場合は、I＋一般動詞 ～. で答えます。

No. 23 疑問詞 (When is~?) 「～はいつですか？」

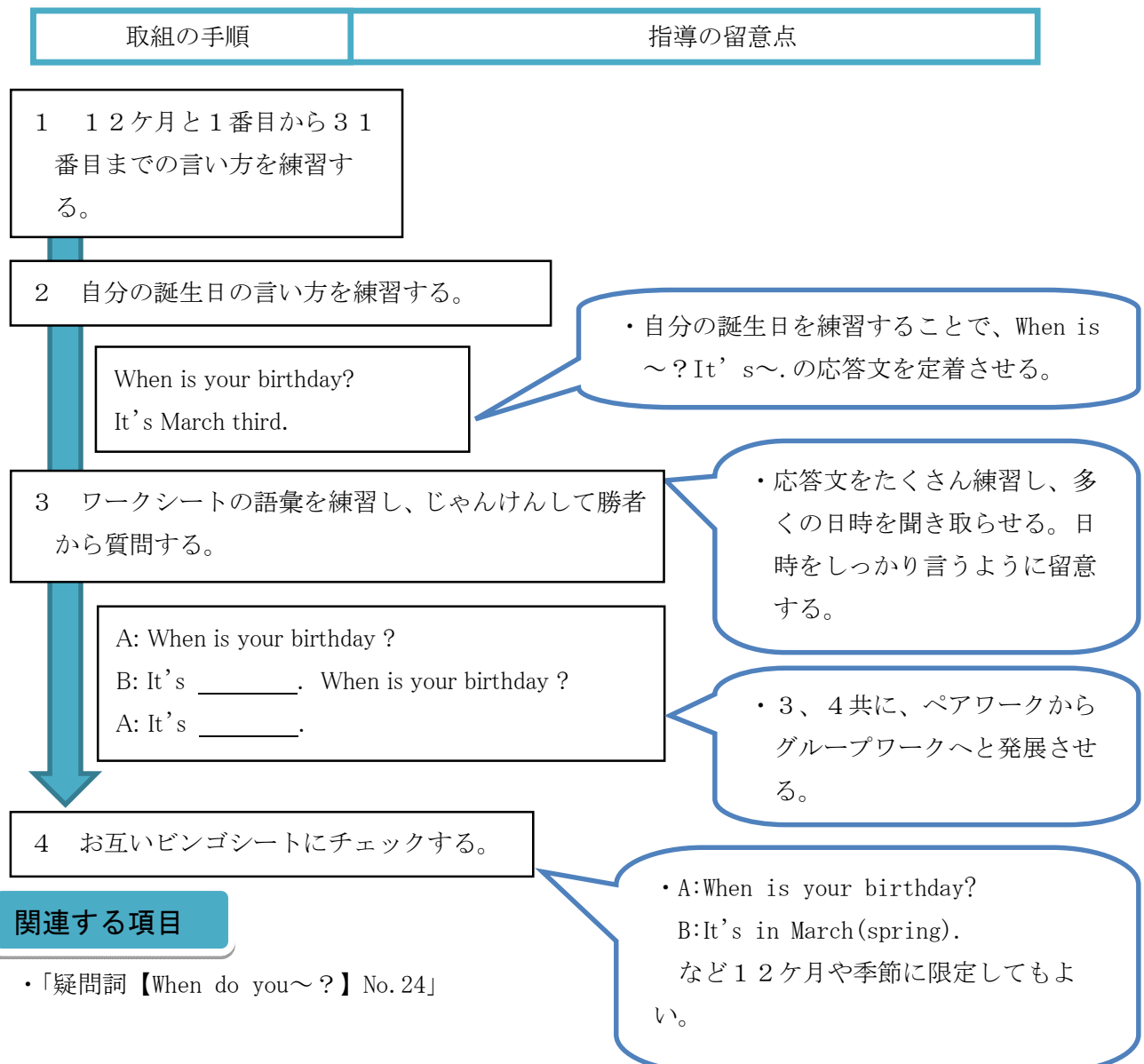
間違えやすいところから見るつまづきポイント

- When の後ろに疑問文がくることへの理解不足から語順を誤る。
- 具体的な日時の語彙と It's を使った答え方の習熟不足から答えることが難しい。
- When do you ~? の一般動詞を用いた疑問文の答え方と混乱する。
When do you play soccer? 誤答例: It's Monday.

指導のポイント

- ★ be 動詞の疑問文の作り方を復習させる。
- ★ 具体的な日時の語彙を繰り返し練習し定着させる。
- ★ When do you ~? の疑問文で It's ~. と答え方を誤った場合は丁寧に比較して理解を促す。

授業での活用例〔使用する場面〕お互いの誕生日を聞いてビンゴを作る場面



23

疑問詞【When is ~?】

「～はいつですか？」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

When is your birthday? 「あなたの誕生日はいつですか。」

※When は文の先頭に置きます。

It is November third. 「11月3日です。」

- ① **When is ~?** で「～はいつですか。」と時をたずねる文になります。
 ② 答えるときは、**It is ~.** で答えます。1 番目(**first**), 2 番目(**second**)と順番を表す数を**序数**と言い、【○月△日】は、【**月 序数**】の順番に言います。

1 次の日付を英語で書こう。

- ① 3月3日 _____
 ② 2月14日 _____
 ③ 9月25日 _____
 ④ 12月31日 _____

2 下の()内の語句を並び替え、答えに合うように「～はいつですか。」とたずねる文を完成させよう。

- ① 彼の誕生日はいつですか。 — 2月14日です。

(his birthday, when, is)?

It's February fourteenth.

- ② ひなまつりはいつですか。 — 3月3日です。

(when, hinamatsuri, is)?

It's March third.

- ③ 運動会はいつですか。 — 9月25日です。

(is, Sports Day, when)?

It's on September twenty-fifth.

3 声に出して5回読んでみよう。(自分の誕生日を書いて読んでみよう) !

When is your birthday? _____

23

疑問詞【When is ～?】

「～はいつですか？」②

氏名 ()

使用する場面：お互いの誕生日についてたずねる場面

- 1 次の質問に英語で答えてみよう。

When is your birthday?

ペアの答え： It's



- 2 上の会話を参考に、仲間に誕生日を聞いてその誕生月をチェックしてビンゴ!を作ろう。制限時間以内にどんどん聞いてみよう。

January	February	March	April
May	June	July	August
September	October	November	December
June	April	January	September

- 3 下のはばタンのスケジュール帳のメモを見て、質問とその答えを書いてみよう。

① _____ is _____ birthday ?

➡

② _____ is St. Valentine's Day ?

➡

③ _____ friend's birthday ?

➡

1 2月19日	僕の誕生日
2月14日	バレンタインデー
4月21日	僕の友達の誕生日



ここがポイント！

When is ～? 「～はいつですか。」と質問された場合 → It is (It's) ～. で答えます。

No. 24 疑問詞 (When do you～?) 「いつ～しますか？」

間違えやすいところから見つまずきポイント

- When の後ろに疑問文がくることへの理解不足から語順を誤る。
- 具体的な時を表す語彙不足から答えることが難しい。
- When is ～? の be 動詞を用いた疑問文と混同し、It's ～. で答える。
When do you play soccer? 誤答例 : It's Monday.

指導のポイント

- ★ 一般動詞の疑問文の作り方を復習する。
- ★ 具体的な時を表す語彙を繰り返し練習し定着させる。
- ★ When do you～? の疑問文で It's ～. と答え方を誤った場合は丁寧に比較して理解を促す。

授業での活用例〔使用する場面〕 仲間の生活習慣について質問する場面

取組の手順	指導の留意点
1 一般動詞の疑問文の作り方の復習後、When を文頭に疑問文を続ける疑問文、また答えの文を練習する。 When <u>do you play tennis</u>? I play tennis every Sunday.	・一般動詞の疑問文が定着していないことも考えられるので復習する。 ・It's～.の応答文を定着させる。 ・When ではじまる疑問文の語順について確認させる。
2 時を表す語彙を練習する。 〈on, every +曜日〉〈at+時間〉〈before (after) dinner〉 〈before(after) breakfast〉〈every day〉など	
3 Q&A を作り、ワークシートの質問を参考に仲間に質問する。 When do you watch TV? When do you do your homework? When do you wash your face? When do you go to <i>juku</i>?	・クラスメートに日々の生活について質問する中で、日常の行動に用いる様々な語彙について復習する。 ・時を表す語句を含めた答えの文の語順を正しく確認させる。

関連する項目

・「疑問詞【What do you ～?】No. 22」

24

疑問詞【When do you ～?】

「あなたはいつ～しますか？」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

Do you play tennis **every Sunday** ?

「あなたは、毎週日曜日テニスをしますか。」

When do you play tennis ?

「あなたはいつテニスをしますか。」

I play tennis every Sunday. (私は毎週日曜日にテニスをします。)

① **When do you** 一般動詞 ? で「あなたはいつ～しますか。」とたずねる文になります。〈on+曜日〉や〈every+曜日〉を使って答えることができます。

② 答えるときは、**It is** ～ . で答えます。

絵を見て、「あなたはいつ～しますか」という英文になるように.....に適切な語を1語ずつ書いてみよう。



① When play table tennis?

② do you kendo?

③ you ?

気を付けよう！

① 「いつ～しますか」とたずねる疑問文は一般動詞を用います。

② 「いつ～ですか」とたずねる疑問文は be 動詞を用います。

疑問詞【When do you ~?】

「あなたはいつ～しますか？」②

氏名 ()

使用する場面：友達的生活習慣について質問する場面

- 1 次の質問に英語で答えてみよう。

When do you watch TV?

あなたの答え： I watch TV _____.

- 2 上の質問を3人の友達に聞いてみよう。

When do you watch TV?

名 前	答 え

- 3 下のはばタンのメモを見て、はばタンになったつもりで質問に答えてみよう。

I play baseball on Wednesday.
I play the piano every Monday.
I run every day.



- ① When do you play baseball?

⇒ I play baseball _____.

- ② When do you run?

⇒ _____.

- 4 下線部をたずねる疑問文を作ってみよう。

① You play tennis on Mondays. _____② You play the guitar every day. _____

ここがポイント！

When do you ~? 「いつあなたは～しますか。」と質問された場合、
I + 動詞 + 時. で答えます。短く答える場合は、時のみでも答えることができます。
時は〈on+曜日や every+曜日等〉で表します。

No. 25 疑問詞【Where is～?】 「～はどこにいますか、ありますか？」

間違えやすいところから見るつまずきポイント

- 疑問詞のあとに、疑問文が続くことの理解不足から語順が混乱する。
- 答えの文ではどの前置詞を使うか、どのように使うかが定着しづらい。

指導のポイント

- ★ 疑問詞 Where は文の先頭に置くことを押さえる。
- ★ Where の後に続くのは疑問文で、be 動詞が主語の前に来ることを押さえる。
- ★ 答えるときは場所の前に適切な前置詞を置くことを押さえる。
- ★ 前置詞の使い方について、何度もパターン練習をさせる。

授業での活用例 【使用する場面】身近な人がどこにいるのかたずねる場面

取組の手順	指導の留意点
1 Where を含む疑問文を導入する。 Where is Habatan? He is on the stage.	・ 何度か音読して、絵の状況を理解させる。 疑問詞が先頭に来ることやその後の疑問文の形を意識させる。
2 前置詞の種類と使い方を復習する。	
3 はばタンの周りに何かを描かせ、どこにいるかを英語で表現する。	・ 前置詞がきちんと使われているか確認する。
4 ペアにさせて、お互いにはばタンがいる場所を伝え合わせる。	・ 英語で聞いたことを理解できたか、お互いに絵を見せあうなどして確認させる。
5 生徒のワークシートから、文と絵を紹介する。	・ 文を先に伝えて場所を想像させる。実物投影機などを用いて絵を見せるとよい。

関連する項目

- ・ 「be 動詞【疑問文】 No.5」 ・ 「場所を表す前置詞 No.33」
- ・ 「疑問詞【What is～?・When is～?】 No.21 No.23」

25

疑問詞【Where is ~?】

「～はどこにいますか、ありますか？」① 氏名 ()

必ず覚えておこう

覚えているかな？

Is Habatan on the stage? 「はばタンはステージの上にいますか。」

Where is Habatan?

「はばタンはどこにいますか。」

※Where は文の先頭に置きます。



答えるとき

He is on the stage.

「ステージの上にいます。」

「どこにいますか（ありますか）」とたずねるときは、疑問詞 **Where** を文の先頭に置き「**Where** + **be** 動詞 + 主語」の語順となります。

下枠の中のはばタンの周りのものを描こう。いる場所を英語で表現しよう。



He is _____

ペアにはばタンがどこにいるかたずねる疑問文を書き、その後友達にたずねてその答えを書こう。

名前	場所

疑問詞【Where is ～?】

「～はどこにいますか、ありますか？」② 氏名 ()

使用する場面：どこにあるか場所をたずねる場面

関連語句（場所を表す前置詞）

on (～の上に) under (～の下に) in (～の中に)
 behind (～の後ろに) by (～のそばに) near (～の近くに)
 over (～の上の方に) at (～に)* 比較的狭いポイントを示す

- 1 あなたは自分のかばんを探しています。次の空欄に適する語を書きましょう。

あなた： _____ is my bag?

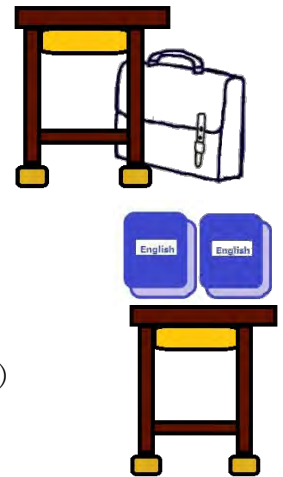
友人： It is _____ the desk. (机の下にあるよ。)

- 2 友人が本を探しています。

友人： Where _____ my books?

あなた： _____ are _____ the desk. (机の上にあるよ。)

物が複数ある場合は、どの代名詞を使うかを思い出そう。



- 3 出身地をたずねよう。

出身地を言うときは、前置詞 **from** を使います。例) Taku is from Sanda. (拓さんは三田の出身です。)

あなた： _____ are you _____?

相手： I'm _____ Himeji. (姫路の出身です。)

- 4 二人の会話を読んで、質問に日本語で答えよう。

Mike: Hi, Kana. Here is a map.

Where is the bookstore?

Kana: Um... It is by the station.

Mike: Is it near the river?

Kana: Yes!

マイクは何を知りたがっていましたか？

それはどこにありますか？

ここがポイント！

「どこにいますか（ありますか）」とたずねるとき、疑問詞 **Where** を文の先頭に置き、**Where + be 動詞 + 主語** の語順にします。

No. 26 疑問詞【Where do you～?】「どこで～しますか?」

間違えやすいところから見るつまづきポイント

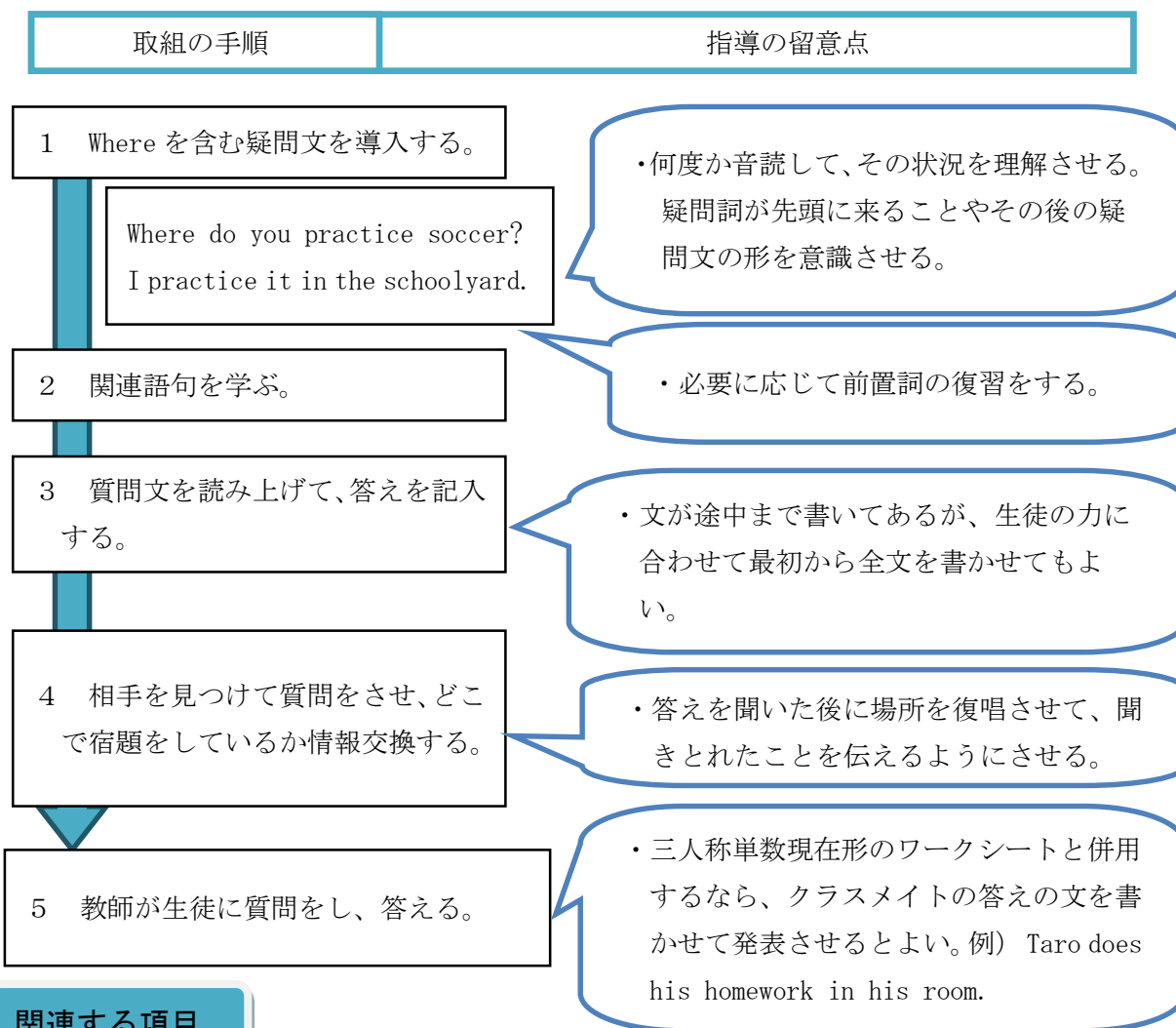
○疑問詞を先頭に起き、それに疑問文が続くため、語順が混乱する。

○答えの文では be 動詞の疑問文よりも複雑になるため、目的語や前置詞が抜けたり、語順

指導のポイント

- ★ 疑問詞 Where は文の先頭に置くことを押さえる。
- ★ Where の後に続くのは疑問文で、do や does が主語の前に来ることを押さえる。
- ★ 答えるときは、誰が何をするかの後に適切な前置詞を使って場所を伝えることを押さえる。

授業での活用例 【使用する場面】どこで宿題をするかたずねる場面



関連する項目

- ・「一般動詞【疑問文・三人称単数現在形疑問文】 No. 8, 11」
- ・「疑問詞【Where is～?】 No. 25」
- ・「場所を表す前置詞 No. 33」

26

疑問詞【Where do you ~?】

「どこで～しますか？」①

氏名（ ）

必ず覚えておこう

覚えているかな？

Do you practice soccer? 「あなたはサッカーの練習をしますか。」

Where do you practice soccer?

「あなたはどこでサッカーの練習をしますか。」

※Where は文の先頭に置きます。



答えるとき

I practice soccer in the schoolyard.「校庭で練習します。」

「どこで～しますか」とたずねるときは疑問詞 **where** を文の先頭に置きます。
 そのあとは **do** や **does** を主語の前にして、疑問文の形にします。

1 下の語句を参考に次の質問に英語で答えよう。

Where do you watch TV?

I watch TV _____

2 クラスメイトはどこでするのか、質問しよう。聞いたことを書こう。



名前	答え

関連語句（部屋）

my room（自分の部屋）、living room（居間）、dining room（食堂）、kitchen（台所）
 bathroom（お風呂）、bedroom（寝室）、library（図書館）、classroom（教室）
 O's house（Oさんの家）

26

疑問詞【Where do you ~?】

「どこで～しますか？」②

氏名 ()

使用する場面：何かをする場所をたずねる場面

1 住んでいるところをたずねよう。

あなた： _____ do you live?

友人： I live _____ Kitamachi. (北町に住んでいます。)

2 次の質問に英語で答えよう。

① Where do you live?

② Where do you eat lunch on weekdays?

3 次の文を英文にしよう。(語句が書いてあるものは並べ替えて文を完成させます。)

① あなたのおばさんはどこに住んでいますか。

② 彼女は北海道に住んでいます。

③ あなたはどこで野菜を買いますか。(vegetables / where / you / buy / do)?

④ 家の近所のスーパーで買います。(vegetables / I / near / buy / the supermarket / my house / at).

4 二人の会話を読んで、質問に日本語で答えよう。

Kana: Hi, Mike. What do you do on Sundays?

Mike: I practice swimming. I like swimming.

Kana: Where do you practice swimming?

Mike: In the pool. It's near the library.

Kana: Oh, I see. I often go to the library.

マイクは日曜日には何をしますか?

それをどこでしますか?

No. 27 疑問詞【How+ be 動詞～】「どうですか？」

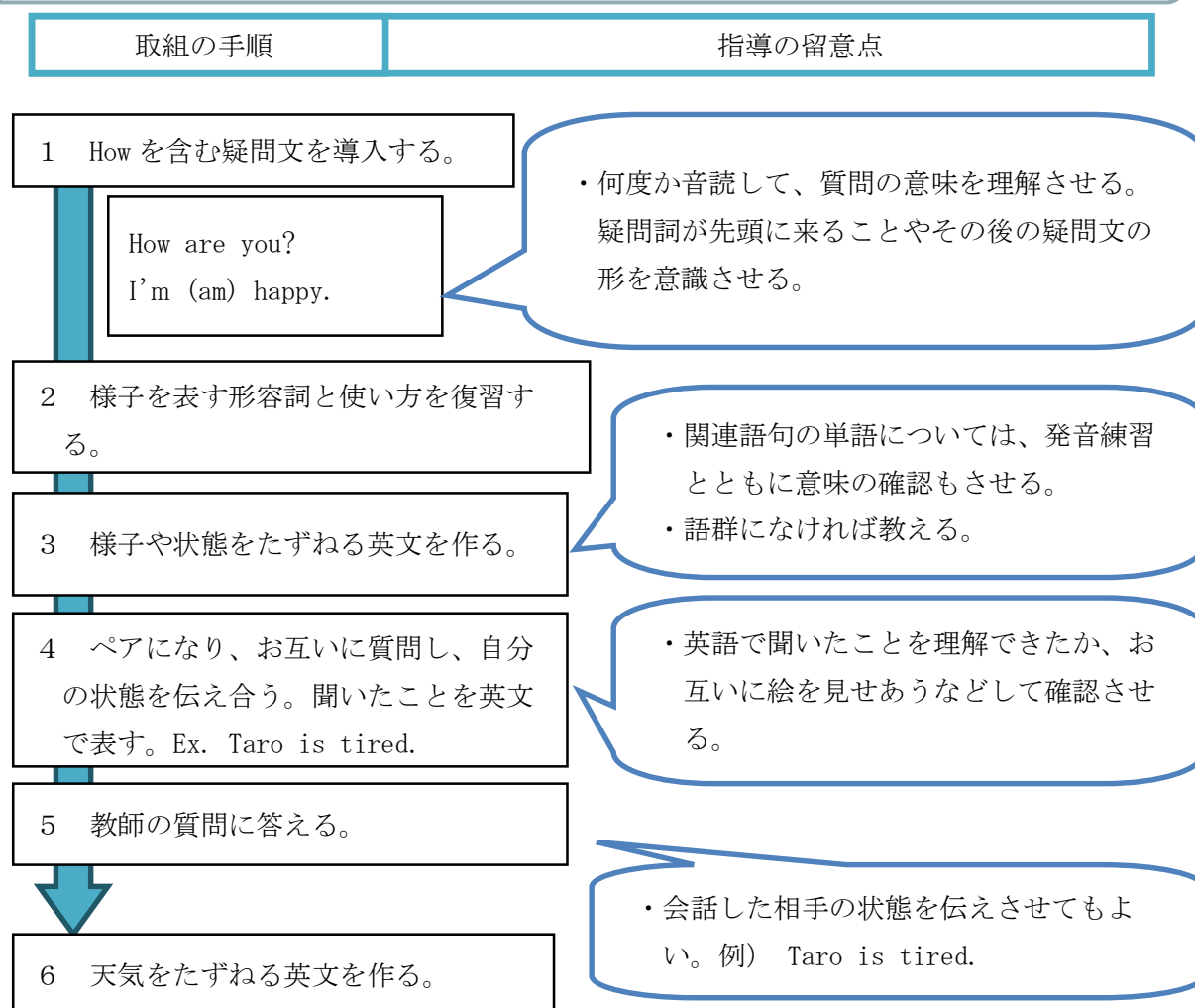
間違えやすいところから見るつまづきポイント

- 疑問詞を先頭に置き、それに疑問文が続くため、語順が混乱する。
- 答えの文ではどの形容詞を使うか、どのように使うかが定着しづらい。

指導のポイント

- ★ 疑問詞 How は文の先頭に置くことを押さえる。
- ★ How の後に続くのは疑問文で、be 動詞が主語の前に来ることを押さえる。
- ★ 答えるときは be 動詞の後に適切な形容詞を置くことを押さえる。

授業での活用例〔使用する場面〕今の気分や天気をたずねる場面



関連する項目

- ・ 「be 動詞【肯定文】 No. 5」
- ・ 「疑問詞【What is～?・When is～?・Where is～?】 No. 21, 23, 25」

27

疑問詞【How +be 動詞～?】

「どうですか？」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

覚えているかな？

I am happy. 「うれしいです。」

How are you? 「調子はどうですか。」

※How は文の先頭に置きます。



答えるとき

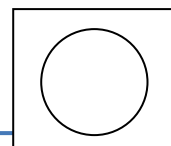
I am happy. 「うれしいです。」



「どうですか」と様子や状態をたずねるときは疑問詞 **How** を文の先頭に置きます。
 そのあとは **be** 動詞を主語の前にして、疑問文の形にします。
 答えるときは様子や状態を表す形容詞を使います。

- 1 下の語句を参考に次の質問に英語で答えよう。円の中にその表情を描こう。

How are you? _____



- 2 クラスメイトに質問しよう。聞いたことを書こう。

1

2

- 3 天気をたずねよう。今の天気を答えよう。

() is the weather? _____

関連語句 (様子や状態を表す形容詞)

fine (元気な), tired (疲れた), bored (退屈した), sleepy (眠い), sad (悲しい)
 hungry (お腹がすいた), full ((お腹が)いっぱい), hot (暑い), cold (寒い)
 angry (怒った), excited (興奮した)

疑問詞【How + be 動詞～?】

「どうですか?」②

氏名 ()

使用する場面：人の様子や天気などをたずねる場面

1 下の語を参考にして、疑問文の答えを書いてみましょう。

happy (うれしい)	fine (元気な)	tired (疲れた)	bored (退屈した)	sleepy (眠い)
hungry (お腹がすいた)	full (いっぱい)	sad (悲しい)	hot (暑い)	cold (寒い)

① How are you? _____

② How is your mother? _____

2 友人がはばタンの様子をたずねています。空欄に適切な語を書きましょう。

友人 : _____ is Habatan?

あなた : He is _____. (悲しんでいるよ。)



3 下の語を参考にして、次の英文に答えよう。

sunny (晴れた)	cloudy (曇った)	rainy (雨降りの)	windy (風が強い)	snowy (雪の降る)
-------------	--------------	--------------	--------------	--------------

① How is the weather today? _____

② How was the weather yesterday? _____

4 北海道にいる友人に電話で天気をたずねましょう。

あなた : _____ is the _____ in Hokkaido?

相手 : It's _____. (雪です。)

天気は英語で **weather**。天気を伝えるときは主語を **it** にします。

5 二人の電話での会話を読んで、質問に日本語で答えよう。

Kana: Hello, Mike. This is Kana.

Mike: Hi, Kana. How are you?

Kana: I'm fine, but It's hot.

I'm in my uncle's house in Okinawa now.

Mike: Oh, really? How is the weather there?

Kana: It's sunny. So I want ice cream now.

加奈さんはどんな様子ですか?

加奈さんが今どこにいて、その天気はどうですか?

No. 28 疑問詞【How do you～?】「どのように～しますか？」

間違えやすいところから見るつまづきポイント

- 疑問詞を先頭に起き、それに疑問文が続くため、語順が混乱する。
- 答えの文が多様なので、どう答えればいいのか戸惑いやすい。

指導のポイント

- ★ 疑問詞 How は文の先頭に置くことを押さえる。
- ★ How の後に続くのは疑問文で、do もしくは does が主語の前に来ることを押さえる。
- ★ 前置詞+道具という答え方や「～のように」と簡単な答え方を教える。

授業での活用例〔使用する場面〕勉強の仕方をたずねる場面

取組の手順	指導の留意点
1 How を含む疑問文を導入する。 When do you play tennis? How do you study English?	・ When や What など既習の疑問詞と一般動詞の疑問文を紹介し、違いを比較させる。 ・ 疑問詞が先頭に来ることやその後の疑問文の形を意識させる。
2 前置詞 on や with を用いたこたえ方を教える。	・ 答えの文の正しい語順を確認させ、英文をしっかり発音させる。
3 ペアで質問し合う。 生徒は該当する答えに○をつける。	
4 質問と答えを声に出して練習させる。	・ 英語で聞いたことを理解できたか、お互いに絵を見せあうなどして確認させる。
5 周りのクラスメイトに質問させて、該当する欄にその名前を書かせる。	・ 書いた文を発表させたり、会話した相手の方法を伝えさせてもよい。Ex. Taro studies English with his family.
6 友達の英文を聞き合う。	

関連する項目

- ・「一般動詞【疑問文・三人称単数現在形疑問文】No. 8, 11」
- ・「疑問詞【What do you～?・When do you～?・Where do you～?】No. 22, 24, 26」

必ず覚えておこう

覚えているかな？

When do you play tennis? 「あなたはいつテニスをしますか。」

How do you study English? 「どのように英語を勉強しますか。」

答えるとき

I study it with a computer. 「パソコンを使って勉強します。」

「どのように～するか」と手段や方法をたずねるときは、疑問詞 **How** を文の先頭に置きます。そのあとは **do** や **does** を主語の前にして、疑問文の形にします。

- 1 次の質問の答えに当てはまるものに○をつけよう。クラスメイトにも質問しよう。

質問 How do you study English?

方法	あなた	クラスメイト (名前)
I study it on the radio or with the TV.		
I study it with a dictionary.		
I study it with a computer.		
I study it with my friends.		
I study it with my family.		

- 2 クラスメイトに質問して、一番多かった回答を英文で表そう。

They study English _____.

関連語句 (よく使う表現)

by + 交通手段 例) by bike (自転車で)with + 道具など 例) with a computer (コンピュータを使って)

with + 人 (～と一緒に)

like ~ (～のように) like this ((お手本を見せて) このように)

使用する場面：手段、方法についてたずねる場面

- 1 普段の週末の楽しみ方をたずねましょう。

あなた： () do you enjoy weekends?

友人： I enjoy weekends (). (家族と楽しむよ。)

- 2 次の対話文を () 内の日本語参考にして、英語にしてみよう。

① A: _____ do you _____ ?

(あなたは普段どうやって学校へ来ますか。)

B: I _____ bus.

(私は学校へバスで来ます。)

② A: _____ do you _____ French fries?

(あなたたちはどうやってフライドポテトを食べますか。)

B: _____ French fries _____ ketchup.

(私たちはケチャップでフライドポテトを食べます。)

③ A: _____ your mother _____ apple pies?

(あなたのお母さんはどうやってアップルパイを作るのですか。)

B: _____ apple pies _____ the microwave oven.

(私はオーブンレンジでアップルパイを作ります。)

- 3 次の文を英文にしよう。(語句が書いてあるものは並べ替えて文を完成させます。)

① あなたはこの歌はどのように歌いますか。

② わたしの音楽の先生のように歌います。(my music teacher / sing / like / I / it).

③ あなたの名前のスペルはどうつづりますか。(spell / your / you / do / how / name)?

④ T O M とつづります。

No. 29 疑問詞 (How can I～?) 「どうすれば～できますか？」

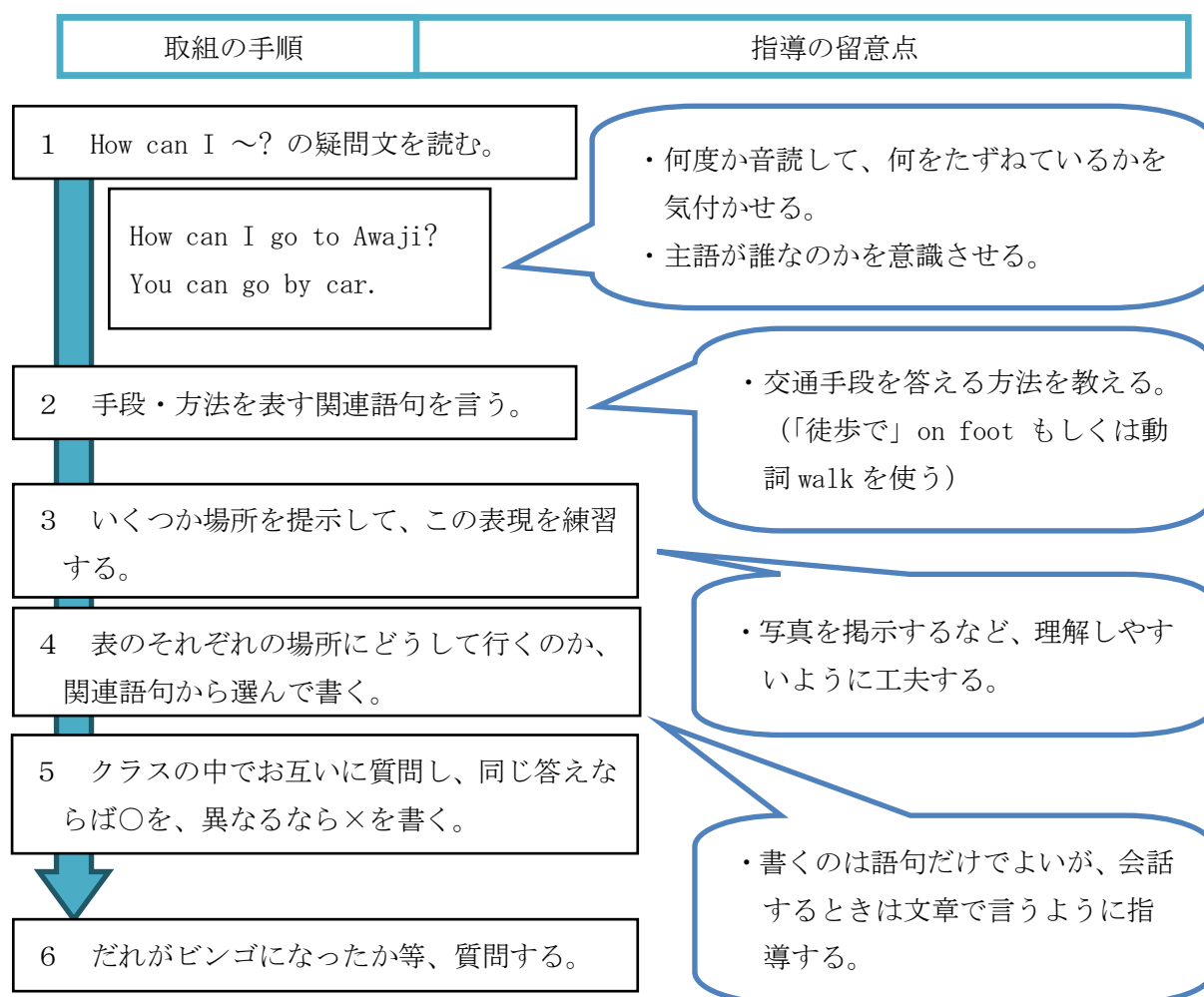
間違いやすいところから見るつまずきポイント

○一般動詞を使うことはできても、助動詞＋動詞の原型の can を用いる語順が理解できていない。

指導のポイント

- ★ 自分がどうやったら行けるのかを知りたがっている場面であることを押さえる。
- ★ ここでは交通手段を答える方法を学ばせる。
- ★ by の後に冠詞がいないことや「徒歩で」と言うときの表現を押さえる。

授業での活用例〔使用する場面〕行きたい場所への手段についてたずねる場面



関連する項目

- ・ 「疑問詞【How + be 動詞～?】 No. 27」
- ・ 「疑問詞【How + do you～?】 No. 28」

29

疑問詞【How can I ~?】

「どうすれば～できますか？」①

氏名 ()

必ず覚えておこう

覚えているかな？

Can I take a picture here? 「ここで写真を撮れますか。」

How can I go to Awaji? 「淡路にはどうすれば行けますか。」

答えるとき

You can go there by car. 「車で行けますよ。」

「どうすれば～できるか」と手段や方法をたずねるときは疑問詞 **how** を文の先頭に置きます。そのあとは助動詞 **can** を主語の前にして、疑問文の形にします。交通手段であれば、こたえるときは上の文のように前置詞 **by** 等を使います。

- 1 それぞれの場所にどの方法で行くかを下の関連語句から選んで書こう。

淡路	図書館	東京
USJ	学校	姫路城
スーパーマーケット	竹田城跡	沖縄

- 2 クラスメイトに質問しよう。同じ方法を選んでいたらその場所に○をつけよう。
異なる方法ならば×を書こう。いくつビンゴになるかな。

質問 How can I go to _____? 答え You can go _____.

関連語句（場所を表す前置詞）

by car（車で）、by bus（バスで）、by ship（船で）、by bike（自転車で）
by train（電車で）、by plane（飛行機で）、on foot（徒歩で）、by subway（地下鉄で）
by monorail（モノレールで）

29

疑問詞【How can I ~?】

「どうすれば～できますか？」②

氏名 ()

使用する場面：手段や方法についてたずねる場面

1 あなたは隣の町に新しくできた美術館に行こうとしています。空欄に適する語を書きなさい。

あなた： () can I go to the new museum?

友人： You can go () (). (バスで行けますよ。)

2 () 内の日本語を参考にして次の対話文を完成させましょう。

① A: _____ "Itadakimasu" in English?

(「いただきます」は英語ではどういえばいいですか。)

B: _____ "Let's eat".

(Let's eat と言います。)

② A: _____ this box?

(この箱はどうすれば開けることができますか。)

B: _____ it with this key.

(このかぎで開けることができます。)

③ A: _____ Minami Park?

(どうすれば南公園へ行けますか。)

B: _____ a train for Minami-machi and _____ at Minami Station.

(南町行きの電車に乗り、南駅で降りてください。)

3 次の文を英文にしよう。(語句が書いてあるものは並べ替えて文を完成させます。)

① あなたの学校へはどうすれば行けますか。

② この天気は英語でどういえばいいですか。(in / say / this weather / I / how / English / can)?

③ "cloudy"といます。(say / "cloudy" / you / can / .)

ここがポイント！

「どうすれば～できるか」と手段や方法をたずねるとき、疑問詞 how を文の先頭に置き、助動詞 can を主語の前にして、疑問文の形にします。

No. 30 疑問詞 (How+形容詞)「どのくらい～ですか？」

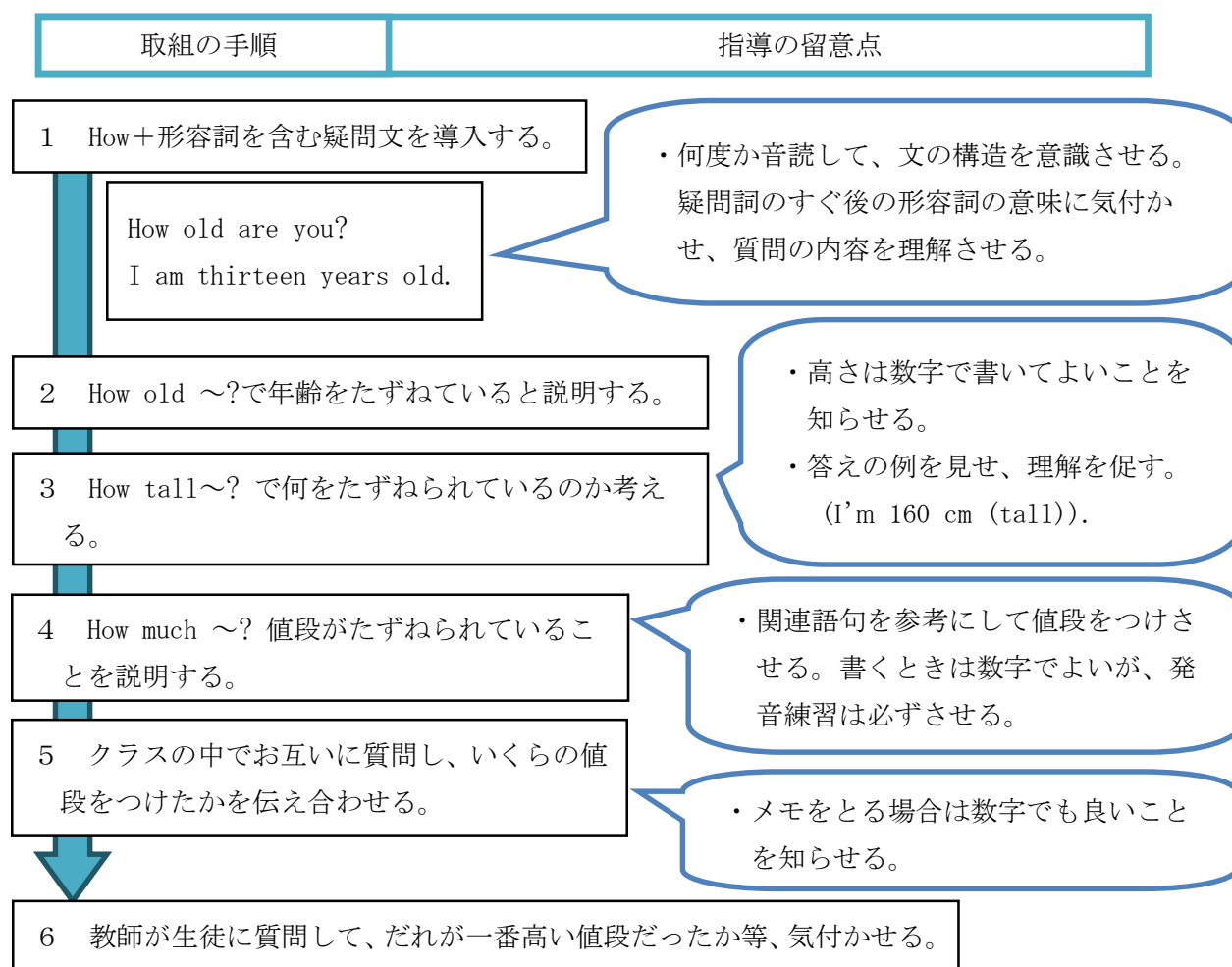
間違えやすいところから見るつまづきポイント

- What と同様に、疑問詞のすぐ後ろに形容詞や名詞がくる場合に、語順を誤りやすい。What season do you like?といった文でも season を文末に持ってくる誤りがよく見られる。
- 答える際は be 動詞の文は誤りが少ないが、一般動詞の文と混同する。

指導のポイント

- ★ 疑問詞 How を文の先頭に置き、そのすぐ後に形容詞や副詞を続けることを押さえる。
- ★ How+形容詞の後は疑問文で、be 動詞や do (does) が主語の前に来ることを押さえる。
- ★ 一般動詞を含む疑問文の答え方も押さえる。

授業での活用例〔使用する場面〕値段・年齢・身長・数・頻度をたずねる場面



関連する項目

- ・「疑問詞【How+be 動詞～?】 No. 27」
- ・「疑問詞【How do you～?】 No. 28」

必ず覚えておこう

覚えているかな？

How are you? 「調子はどうですか。」

How old are you? 「あなたは何歳ですか。」

答えるとき

I am thirteen years old. 「13歳です。」

疑問詞 **How** の後に形容詞（または副詞）をつけて「どのくらい～ですか」とたずねることができます。その後には疑問文が続きます。
数値や程度を表す語句を使って答えます。

- 1 次の質問に英語で答えよう。* cm (centimeter センチメートル)で答えよう。

How tall are you? _____

- 2 はばタンの絵に値段をつけよう。

How much is this picture? _____



- 3 クラスメイトがいくら値段をつけたか質問しよう。聞いたことをメモしよう。

名前					
値段					

関連語句（数字）

twenty (20) thirty (30) forty (40) fifty (50) sixty (60)
 one hundred (100) two hundred (200) one thousand (1,000)
 ten thousand (10,000) one hundred thousand (100,000)
 one million (1,000,000) ten million (1千万) one billion (10億)

使用する場面：値段・年齢・身長・数・頻度をたずねる場面

- 1 How と組み合わせる語句がいろいろあることを知ろう。

値段	How much ～？	量や値段についてたずねる (いくら？) How much is this bag? (このかばんはいくらですか。) → It's 20,000 yen. (2万円です。)
年齢	How old ～？	年齢についてたずねる (何歳ですか？) How old is your brother? (お兄さんは何歳ですか。) → He is twenty years old. (20歳です。)
身長	How tall ～？	背の高さをたずねる How tall are you? (あなたの背の高さはどのくらいですか。) → I'm 175 cm tall. (175 cmです。)
数	How many ～？	数についてたずねる (いくつの？) How many books do you have? (何冊本を持っていますか。) → I have five books. (5冊持っています。)
頻度	How often ～？	頻度についてたずねる (どのくらいの割合で？) How often do you go to the library? (あなたはどのくらいの割合で図書館に行きますか。) → I go to the library once a week. (週に一度行きます。)

- 2 次のカッコ内から適する語を選びなさい。

- ① あなたは毎日、何個の授業を受けますか。

How (many / long / old) lessons do you have every day?

- ② あなたはどのくらいの割合でパンを食べますか。

How (much / often / tall) do you eat bread?

- ③ あの車はいくらですか。 How (many / much / old) is that car?

- 3 次の質問に英語で答えよう。

- ① How tall is Tokyo Sky Tree?

- ② How many sisters do you have?

- 4 二人の会話を読んで、質問に日本語で答えよう。

Kana: Mike, how many brothers do you have?
Mike: I have one brother. His name is Ron.
Kana: How old is he?
Mike: He is twenty-three years old.
He lives in London.
Kana: Oh, I see. How often do you see him?
Mike: Um... Twice a year.

マイクの兄弟について分かったことを書きましょう。

No. 3 1 命令文「～しなさい・～しよう・～してはいけません。」

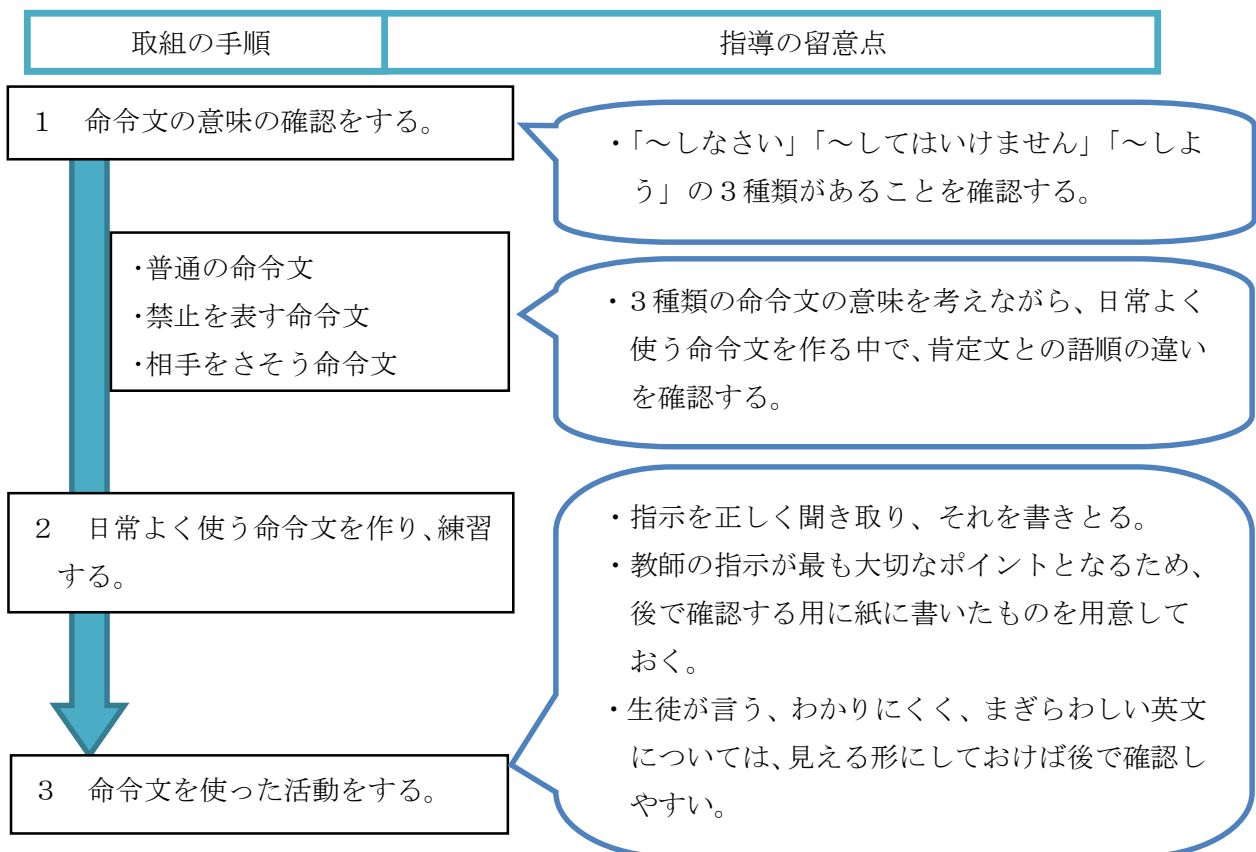
間違えやすいところから見るつまずきポイント

- 動詞の原形や Don't、また Let's ではじまる文は命令の意味（～しなさい・～してはいけない等）を持つ文であり、形の上でも一般的な文とは違うものの、「～する・～しない」という文と混乱する。
- 意味を正しく理解しておらず、「動詞の原形」の前に Don't、Let's、Please 等がつくと、使い方（語順や意味）を誤る。

指導のポイント

- ★ 命令文は「動詞の原形」で文を書き始めるため、意味の上では you がかかれているととらえさせる。

授業での活用例〔使用する場面〕相手に指示・提案をする場面



関連する項目

- ・「be 動詞【肯定文】 No. 3」
- ・「一般動詞【肯定文】 No. 6」

「～しなさい・～しよう～してはいけません。」① 氏名 ()

必ず覚えておこう

命令文

Use this pen. (このペンを使いなさい。) …命令文

Please use this pen. (このペンを使ってください。) …丁寧に言う場合

禁止を表す命令文

Don't run here. (ここで走ってはいけません。) …禁止を表す命令文

相手をさそう文

Let's watch this movie. (この映画を見よう。) …相手をさそう文

- ・「～しなさい」「～しよう」「～してください」と相手に言う文を命令文といいます。
- ・命令文は「動詞の原形」(-s や -es のつかない形) で文を書きはじめます。

日本語に合うように、英語を並べかえましょう。

- ① この ペンを 使いなさい。 this Use pen .
- ② テレビを 見ては いけません。 TV watch Don't .
- ③ 公園 へ 行き ましょう。 to go Let's the park .
- ④ この 本を 読んで ください。 this read Please book .

① _____

② _____

③ _____

④ _____

31

命令文

「～なさい・～しよう～してはいけません。」② 氏名 ()

使用する場面：相手の指示・提案を聞く、また相手に指示・提案をする場面

1 左の英文の続きに最も適するものを選び、英文を言いましょう。

1. My mother likes cooking. She says,()	• A: "Let's talk in English."
2. My music teacher says, ()	• B: "Please show me your ticket."
3. The bus driver says, ()	• C: "Don't drive here."
4. My friends say, ()	• D: "Play the piano."
5. A police officer says, ()	• E: "Don't use my pen."
6. My brother says, ()	• F: "Please help me in the kitchen."
7. My ALT says, ()	• G: "Let's play soccer in the park."

2 () 内の日本語に合うように、英文を完成させましょう。

① _____
(座りなさい。)

② _____ the library.
(図書館へ行きましょう。)

③ _____ Japanese.
(日本語を話してはいけません。)

④ _____
(ここに来なさい。)

⑤ _____ English.
(英語を勉強しましょう。)

⑥ _____ homework.
(宿題をきなさい。)

ここがポイント！

- ・相手に対して命令する文は、動詞の原形で文を書きはじめます。丁寧な言う場合は文の最初か最後に please をつけます。
- ・禁止を表す命令文は、Don't+動詞の原形で表します。
- ・「～しよう」と相手をさそう場合は、Let's+動詞の原形で表します。

No. 3 2 形容詞・副詞「修飾・叙述」

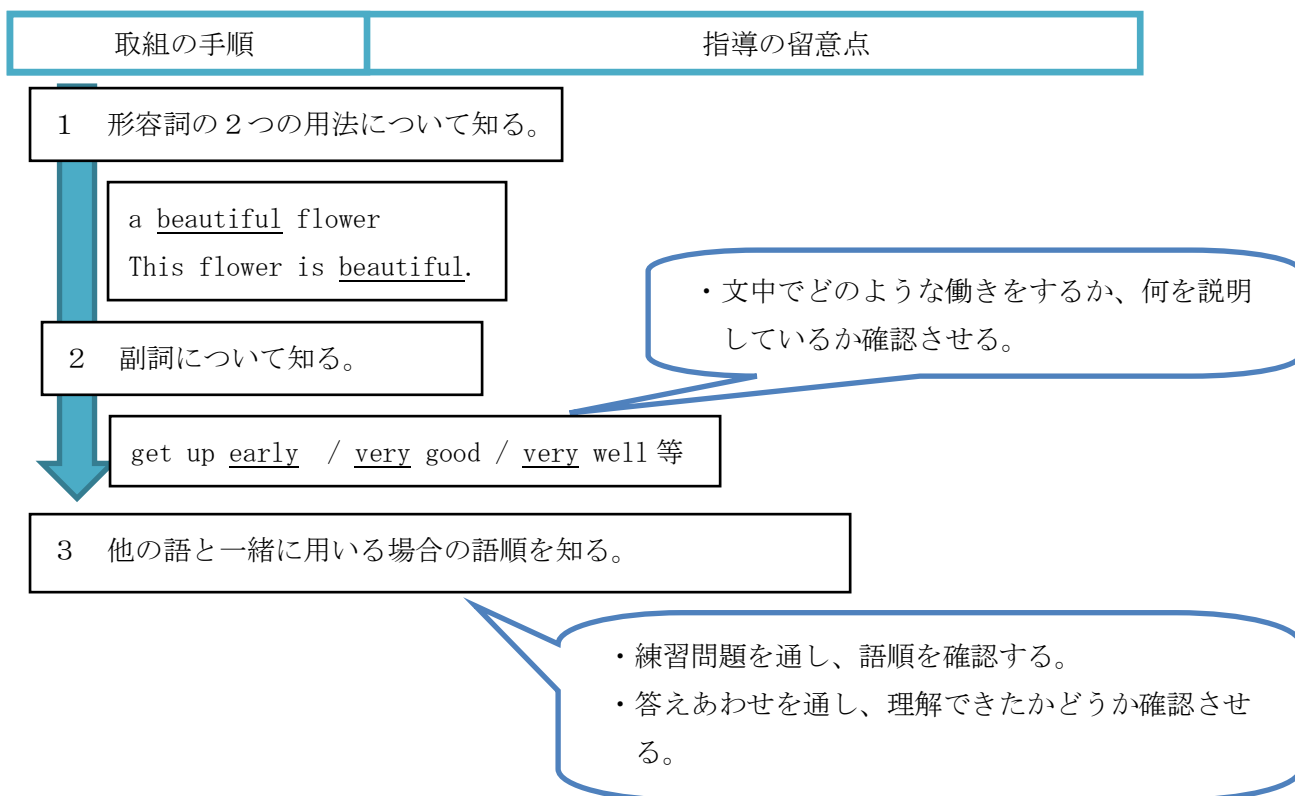
間違えやすいところから見るつまづきポイント

- 形容詞は名詞を、副詞は名詞以外の語を説明するが、この2つは働きの違いがわからない。
- 形容詞では、名詞の前について名詞を修飾する使い方と、be 動詞のあとにつけて主語を説明（叙述）する言い方の区別がつかない。
- 冠詞や代名詞と形容詞を一緒に用いる場合や、-thing で終わる語に形容詞がくっつく場合などの語順が理解できない。
- 頻度を表す副詞は、be 動詞と一般動詞で語順が異なり混乱する。

指導のポイント

- ★ 慣れてくれば、特に意識せずに使っている形容詞や副詞も、語順や文中で使われる場所が決まっている。例題や練習問題を通して、正しい使い方を身に付けさせる。
- ★ 形容詞では、同じ単語でも他の語を修飾する言い方と、be 動詞の後ろに置かれ、主語を説明（叙述）する言い方の2パターンあることを押さえない。この場合も例題や練習問題を通して、両方のパターンに慣れさせる。

授業での活用例〔使用する場面〕人やもの、また動作を説明したり詳しく述べる場面



必ず覚えておこう！

【形容詞】

- ・「どのようなものなのか」「どのような状態なのか」を表す語のことです。

(名詞の前につける場合)

a beautiful flower (美しい花)

(be 動詞のあとにくる場合)

This flower is beautiful. (この花は美しい。)

【副詞】

- ・「どのように」「どこで」「いつ」等、名詞以外を詳しく表す語を副詞といいます。

- ・副詞は動詞、形容詞、副詞と一緒に使います。

get up early (早く起きる)、very good (とても良い)、very well (とても上手に)

日本語に合うように、英語を並べかえましょう。

- ① 英語は 簡単 です。 easy English is .
- ② 国語は おもしろい です。 Japanese interesting is .
- ③ 私の 犬は 大きい です。 dog is My big .
- ④ 彼は ゆっくり 歩きます。 walks slowly He .
- ⑤ 彼らは いつも 疲れて います。 are They tired always .
- ⑥ 彼女は よく 図書館へ 行きます。 often goes to She the library .
- ⑦ この 机は 小さい です。 desk is small This .
- ⑧ 私は 早く 起きます。 get up early I .

- ① _____ ② _____
- ③ _____ ④ _____
- ⑤ _____ ⑥ _____
- ⑦ _____ ⑧ _____

使用する場面：人やもの、また動作を説明したり詳しく述べる場面

1 日本文に合う英文になるように、() にあてはまる語を□内から選ぼう。

- ① マイクは背が高い。Mike is () .
- ② これは古い本です。This is an () book.
- ③ 私は何か新しいものがほしい。I want something () .
- ④ あの小さなネコを見て。Look at that () cat.
- ⑤ 彼らはおなかがすいています。They are () .

hungry old new small tall

2 日本文に合う英文になるように、() にあてはまる語を□内から選ぼう。

- ① 彼女はいつもそのお店に行きます。She () goes to the store.
- ② あなたはときどき遅刻します。You are () late.
- ③ 静かにしてください。Please be () .
- ④ ケンはとても上手に英語を話します。Ken speaks English () well.
- ⑤ 彼は上手にピアノをひきます。He plays the piano () .

well quiet very always sometimes

3 日本語に合うように () 内の語を並べかえて書こう。

- ① この車は新しいです。(this / car / new / is / .)

- ② 私はあなたの大きなカバンが好きです。(your / bag / like / big / I / .)

ここがポイント！

always (いつも) や sometimes (時々) など、頻度を表す副詞は、ふつう be 動詞のあと、一般動詞の前に置きます。

例) He is always hungry. …be 動詞のあと

She sometimes plays tennis. …一般動詞の前

No. 33 場所を表す前置詞「場所を表す前置詞」

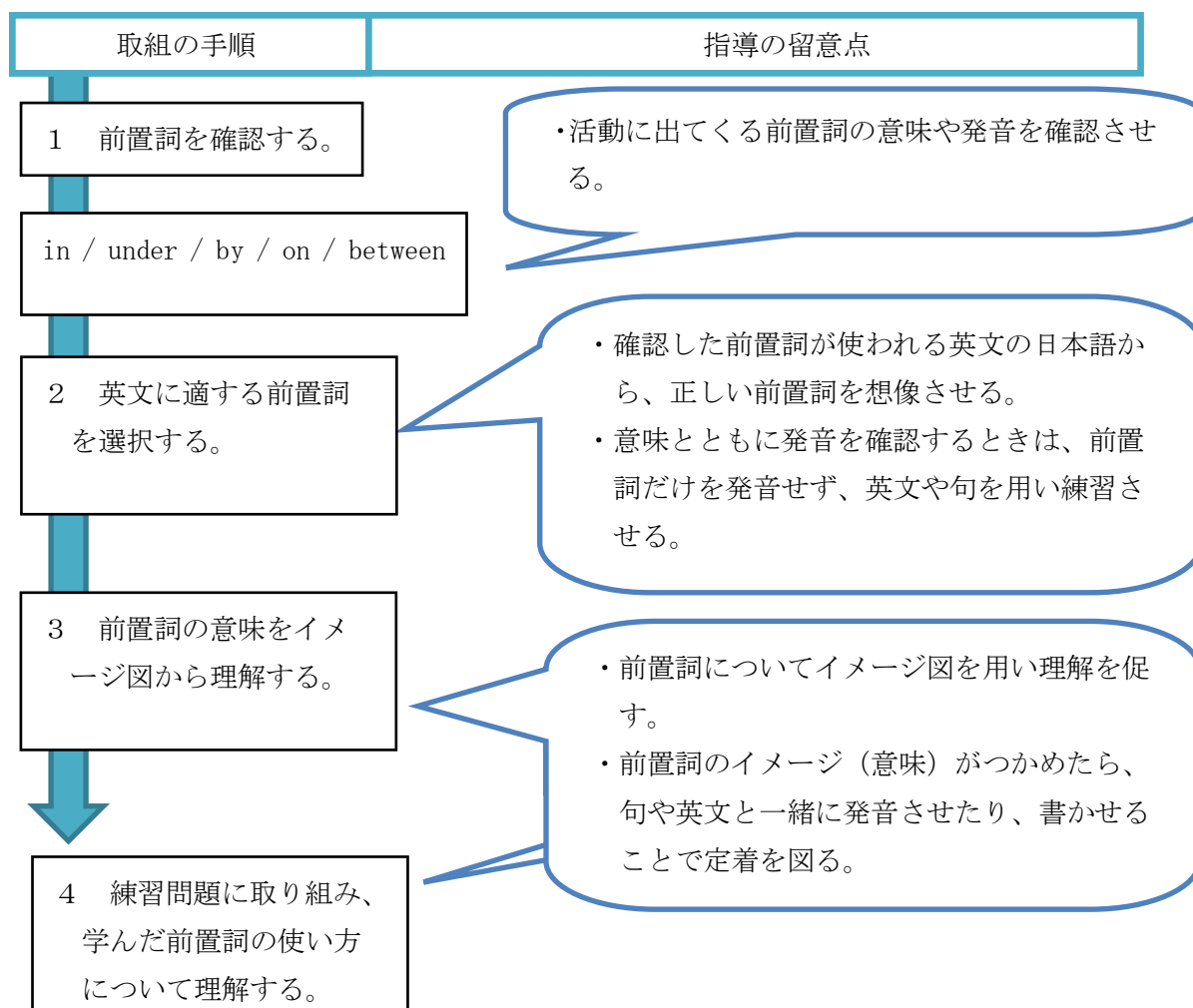
間違えやすいところから見るつまずきポイント

- 日本語にすれば同じ「～で」でも、英語では in や at 等、状況に応じて使い分けが必要となることから混乱する。
- 場所を表す前置詞は多数あるため。区別がしづらい。

指導のポイント

- ★ よく使う「場所を表す前置詞」の持つ意味と使い方を確認する。
- ★ 活動を通して、実際にその前置詞が示す場所を確認する。

授業での活用例〔使用する場面〕場所を表す語を使い、英語で表現する場面



関連する項目

- ・「疑問詞【Where is～?・Where do you～?】 No. 25, 26」

必ず覚えておこう!

in	「～に・で」「国や都市などの広い区域」を表す
at	「～に・で」・「比較的せまい地点」を表す

例) They are in the garden. (彼らは庭にいます。)He is at the bus stop. (彼はバス停にいます。)

on	「～の上に」・「表面に接していること」を表す
over	「～の上に」・「上方に (おおいかぶさるように)」
under	「～の下に」・「～の真下に (over の反対語)」

例) A book is on the desk. (本が机の上にあります。)An old bridge is over the river. (古い橋が川 (の上) にかかっています。)My dog is under the table. …犬がテーブルの下にいます。

near	「～の近くに」・「近辺」を表す
by	「～のそばに」・「近接していること」を表す

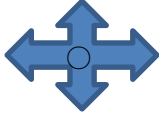
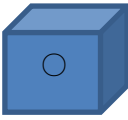
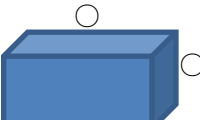
例) She lives near the store. (彼女はその店の近くに住んでいます。)Please sit by me. (私のそばにすわってください。)

日本語に合うように、() に適する英語を書きなさい。

- ① Yumi lives () Kobe. (ユミは神戸に住んでいます。)
- ② Look at the picture () the board. (黒板の写真を見てください。)
- ③ Ken is () the station. (ケンは駅にいます。)
- ④ My cat is () the door. (ネコがドアのそばにいます。)

使用する場面（活動）：場所を表す語を使う場面

【前置詞のイメージ例】

 near (近辺)	 by (近接)	 between (間に)	 over (上に)
 at (点で)	 in (空間の中に)	 on (接して)	 among (間に)

1 () 内の日本語に合うように英文を完成させましょう。

- ① There is a dog _____ the desk (机の下に犬がいます。)
- ② I met my uncle _____ the station. (私は駅でおじさんに会いました。)
- ③ A beautiful picture is _____ the wall. (美しい絵が壁にかかっています。)
- ④ The plane is flying _____ the sea. (飛行機が海の上を飛んでいます。)
- ⑤ He lives _____ my house. (彼は私の家の近くに住んでいます。)

2 次の () 内に適する前置詞を入れて英文を完成させましょう。

※答えは1つではない場合もあります。

- ① My dog is sleeping _____ the roof.
- ② She lives _____ Sapporo _____ Hokkaido.
- ③ My key is _____ the desk.

ここがポイント！

- ・前置詞とは、名詞の前におくことばのことで、場所を表す他に時や期間を表すこともできます。